

ぐんま柔道

縮刷版

昭和46年9月15日(創刊号)

~平成5年10月30日(第70号)

群馬県柔道連盟

「ぐんま柔道」縮刷版の刊行にあたって



群馬県柔道連盟会長 大 林 宥 範

この度、各位のご努力により「ぐんま柔道」の縮刷版を刊行できますことは、誠にご同慶にたえません。

群馬県柔道連盟に広報部ができましたのは、昭和四十六年でございます。当時の連盟会長は元県医師会長、故八段関口林五郎氏でした。爾来、版を重ねて七〇号、足掛け二十四年になりました。この間に連盟会長は故八段関口恆五郎氏、八段関口孝義氏とかわり、現在にいたっております。

「ぐんま柔道」は当初は年四回発行しておりましたが、現在は諸般の事情により不定期の刊行になっております。県内の柔道関係行事を細大もろさず網羅するつもりでてがけておりますが、ところどころに思わぬアナも空いております。素人集団でありますし、連盟内の態勢の弱点でもあります。

この小紙に登場する人々は数千に達すると思えます。チビッコ選手として登場した人が、厳しい修練をへて立派な社会人として、ましてや連盟の指導者として活躍しているのを見るにつけ、時代の移り変わりの早さを痛感いたします。

「ぐんま柔道」を通読しますと、本県の対外的な成績が、昭和五十八年の「あかぎ国体」の総合優勝を機に、急激に上昇しているのがわかります。全国教員大会の一、二、三位入賞、全国高校選手権大会女子個人戦の一、二、三位入賞。そして一昨年の国体総合四位入賞。平成五年度は全国警察少年柔道大会における準優勝、全国高校総体女子団体三位と大試合における入賞が枚挙にいとまがありません。

小紙の発刊を機に、群馬県柔道連盟の昭和四十年代以降の発展の跡をたどり、さらにまた大きく充実してゆく糧になることを念じて、ご挨拶いたします。

平成六年五月

目次

刊行のごとば 群馬県柔道連盟会長 大林宥範

昭和四十六年 九月十五日 (創刊号)	1
昭和四十六年十二月十五日 (第二号)	5
昭和四十七年 四月 一日 (第三号)	9
昭和四十七年 七月 一日 (第四号)	13
昭和四十七年 十月 一日 (第五号)	17
昭和四十七年十二月二十日 (第六号)	21
昭和四十八年 四月 一日 (第七号)	25
昭和四十八年 九月二十日 (第八号)	29
昭和四十八年十二月十日 (第九号)	33
昭和四十九年 六月十五日 (第十号)	37
昭和四十九年 九月十五日 (第二号)	41
昭和四十九年十二月二十日 (第三号)	45
昭和五十年 六月二五日 (第三号)	49
昭和五十年 九月二五日 (第一号)	53
昭和五十年十二月二十日 (第二号)	57

昭和五十一年 六月十五日 (第二号)	61
昭和五十一年 九月二十日 (第一号)	65
昭和五十一年十二月一日 (第八号)	69
昭和五十二年 五月三十日 (第一号)	73
昭和五十二年 九月十五日 (第二号)	79
昭和五十二年十二月十五日 (第三号)	83
昭和五十三年 五月十五日 (第三号)	87
昭和五十三年 九月十五日 (第二号)	91
昭和五十三年十二月十五日 (第四号)	95
昭和五十四年 四月十五日 (第五号)	99
昭和五十四年 八月十日 (第二号)	105
昭和五十四年十二月一日 (第二号)	109
昭和五十五年 三月十五日 (第六号)	113
昭和五十五年 六月一日 (第二号)	117
昭和五十五年 九月一日 (第三号)	121
昭和五十五年十二月十五日 (第三号)	125
昭和五十六年 六月一日 (第三号)	129
昭和五十六年 九月一日 (第三号)	133

昭和五十六年十一月三日(第四号)
 昭和五十七年三月三十日(第三号)
 昭和五十七年七月二十四日(第六号)
 昭和五十七年十二月八日(第五号)
 昭和五十八年四月二十四日(第六号)
 昭和五十八年七月十七日(第五号)
 昭和五十八年十月十五日(第四号)
 昭和五十八年十二月二十五日(第四号)
 昭和五十九年五月十五日(第四号)
 昭和五十九年十二月二十五日(第四号)
 昭和六十年三月二日(第四号)
 昭和六十年七月二十日(第四号)
 昭和六十年十二月二日(第四号)
 昭和六十一年四月二十日(第四号)
 昭和六十一年九月二八日(第六号)
 昭和六十一年十二月二日(第四号)
 昭和六十二年四月三十日(第五号)
 昭和六十二年八月二日(第五号)
 昭和六十二年十二月二日(第五号)
 昭和六十三年六月三十日(第五号)

229 225 221 217 213 207 203 195 189 185 179 175 171 165 161 157 151 145 141 137

昭和六十三年十二月二日(第四号)
 平成 一年六月三十日(第五号)
 平成 一年十月十五日(第六号)
 平成 二年一月二十日(第五号)
 平成 二年六月三十日(第六号)
 平成 二年十月二十五日(第五号)
 平成 三年一月二十九日(第六号)
 平成 三年六月三十日(第六号)
 平成 三年九月二十日(第六号)
 平成 四年一月二十日(第六号)
 平成 四年四月三十日(第四号)
 平成 四年六月二十日(第六号)
 平成 四年十月二十五日(第六号)
 平成 五年一月二日(第六号)
 平成 五年四月二十日(第六号)
 平成 五年七月十日(第六号)
 平成 五年十月三十日(第七号)
 群馬県体育史(第一卷)
 群馬県体育史(第二卷)
 群馬県体育史(第三卷)

316 313 305 301 297 293 289 285 281 277 273 269 265 261 257 253 249 245 239 235

発行人
群馬県柔道連盟
編集室
前橋市文京町二丁目14-12
(柳谷勝之宅)
TEL (2) 5409

ぐんま柔道

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し、斯道の神髄を体得する事である。さうして是によつて己を補強するが柔道修業の究極の目的である。



左から永井、樺沢、高徳、倉林、平井の各選手

	埼玉	栃木	千葉	神奈川	茨城	群馬	山梨
埼玉	△	②	△	②	②	②	△
栃木	③	△	③	②	③	③	②
千葉	△	△	△	△	△	③	△
神奈川	③	△	③	△	△	②	①
茨城	②	△	②	②	△	②	△
群馬	②	△	△	△	△	△	△
山梨	④	△	④	①	④	③	△
勝率	3/2	0/6	5/1	2/3	2/3	5/0	1/4
得点	16	4	16	7	11	15	3
順位	3	7	2	5	4	1	6

○は勝ち 中の数字は得点
□は引分け △は敗け

第26回国民体育大会の高校の部、関東ブロック予選は、八月十二日に甲府市の県立体育館で開かれた。この予選は山梨県を含めた関東七県の選手で構成された。先づこの予選で勝者を決定し、本県勢は大会に出場できる。本県からは先鋒高徳(利根)と、次鋒平井(前橋)、中堅倉林(前橋)の三人が出場した。団体戦では、高徳は先鋒として、平井は中堅として、倉林は後衛として出場した。結果、高徳は先鋒として、平井は中堅として、倉林は後衛として出場した。結果、高徳は先鋒として、平井は中堅として、倉林は後衛として出場した。

千葉をおさえ 関東初優勝 平井選手ら大いに健闘する

動力は平井選手です。彼を次鋒として、高徳は先鋒として、倉林は後衛として出場した。結果、高徳は先鋒として、平井は中堅として、倉林は後衛として出場した。

創刊を祝う



この度、本連盟から機関紙「ぐんま柔道」が創刊されるに際し、本連盟として、先の中は、むかし柔道をし、人望をたかめておられる方々、今年の大目標を「普及」にたどるが、現任はまた、この新聞に寄る期待は大いにあります。しかし、残念な事に、この新聞に寄る期待は大いにあります。しかし、残念な事に、この新聞に寄る期待は大いにあります。

レベルアップにひと役

県柔道連盟 長 関口林五郎

ブロック	群馬	山梨	長野	新潟	富山	石川	福井	岐阜	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	徳島	香川	高松	愛媛	高知	福岡	佐賀	熊本	大分	鹿児島	沖縄
Aブロック	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Bブロック	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Cブロック	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎



関口大杯はCブロック

群馬支部が総合優勝

群馬県柔道連盟、関口大杯先、県武蔵館で行なわれた。関口大杯はCブロック。群馬支部が総合優勝した。これは、群馬支部の選手たちが、各ブロックの最上位と最上位を連続に取ったことによる。これは、Aブロックの優勝とCブロックの最上位を同時に達成した。これは、群馬支部の選手たちが、各ブロックの最上位と最上位を連続に取ったことによる。

祝 創刊 関口病院

院長 関口恒五郎
渋川市辰巳町1703番地
TEL (2) 2378・1647
院長 自宅 (2) 0716

祝 創刊 関口整形外科病院

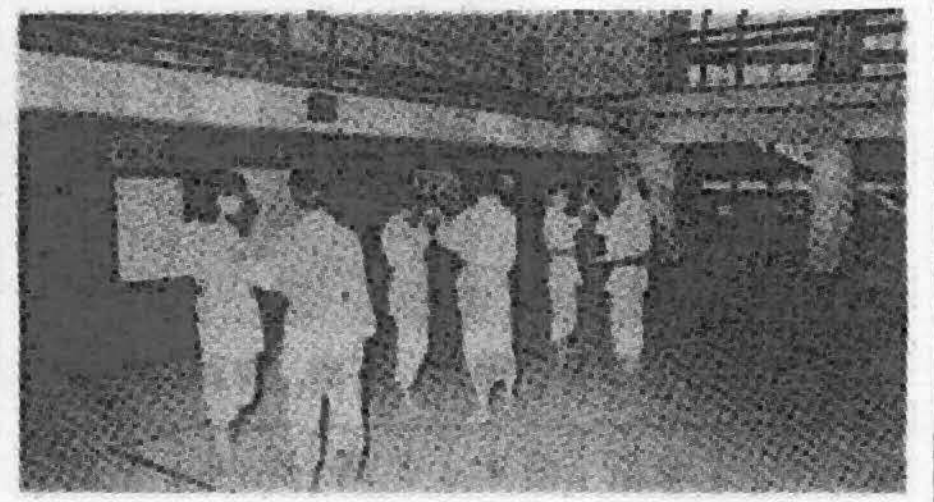
院長 関口林五郎
前橋市千代田町2丁目1番
TEL 病院 代表 (2) 8871
自宅 (2) 6150

暑中稽古復活する

70人を越える盛況



群馬連の暑中稽古は、ここ数年と変わりがなく、今年度は最重点目標を「強化」におき、強化委員会の発案で復活した。少年部、女子部、青年部、年輩部と分けて八月九日から十五日までの一週間毎日午後五時から七時まで県武道館において行われた。五歳の少年から七十歳をこえる年輩者までが、毎多武館の青畳の上で「イン、ヤン」と気合いをかけ、女子部では高崎市から女子高生が三人連日参加した。また十三日から十五日までは講道館から当代会場へ段と十六とりの跳ね腰を使い分けるといわれる高田勝七段を迎えて、技の攻防、連続変化の指導を受けた。同時に県内の一般、高校の団体選手の間も練習も行ない参加者は連日七十人をこえる盛況だった。



感激も新らたに……

高崎支部 桜井 弘

暑中稽古に参加して、どうやら七日間をこなした。稽古場は熱心な指導の高田先生もいる。なかでも切味のいい体落をもつ技(わき)土東原伝一日中で忙しい時間である。指導を頼む若い先生に毎日気がひけた。八月九日の初日から暑い日だった。とにかく稽古衣を身に着けるだけで汗がにじみ出た。しかし、県内各地より高段者の諸先生から小学生まで大勢集まり、毎日盛況だった。

そして五日目の十三日より最終日まで、東京より指導のため大沢高田先生がお見えになりました。おまへ、千年前、当時中学生だった私は大沢先生が、高崎体育館で稽古の精鋭十人を選ばれた。稽古場には稽古の精鋭十人を選ばれた。稽古場には稽古の精鋭十人を選ばれた。

に投げたはしたのをほっきりと記憶しております。今回、今年若丸と男名をとった大沢先生の動きの速い技を自分の当りにみることで大きな感動でした。また外国の柔道指導者生活二十一年余という高田先生の熱心な指導も、稽古場には稽古の精鋭十人を選ばれた。稽古場には稽古の精鋭十人を選ばれた。

第二十二回県下高校柔道選手権大会兼第20回全国高校柔道大会県予選(団体戦)の結果は、前商が圧倒的な強さを誇り、六連勝を飾った。これは、前商が前回の大会から連続して六連勝を飾ったことによる。これは、前商が前回の大会から連続して六連勝を飾ったことによる。

圧倒的な強さを誇る前商 全国高校大会予選 大型選手が大暴れ

第二十二回県下高校柔道選手権大会兼第20回全国高校柔道大会県予選(団体戦)の結果は、前商が圧倒的な強さを誇り、六連勝を飾った。これは、前商が前回の大会から連続して六連勝を飾ったことによる。これは、前商が前回の大会から連続して六連勝を飾ったことによる。



第22回県下高校柔道選手権大会兼第20回全国高校柔道大会県予選(団体戦)

1	5	3	23	高井	5
2	4	3	24	松井	4
3	0	3	25	大安	0
4	5	4	26	板橋	5
5	0	4	27	佐前	0
6	7	1	28	太田	7
7	0	4	29	勢	0
8	3	4	30	伊勢	3
9	4	0	31	高野	4
10	2	1	32	上野	2
11	0	1	33	長瀬	0
12	0	5	34	利根	0
13	0	2	35	名	0
14	5	3	36	田	5
15	0	0	37	高	0
16	1	0	38	高	1
17	3	0	39	高	3
18	2	2	40	高	2
19	2	2	41	高	2
20	1	0	42	高	1
21	1	0	43	高	1
22	5	5	44	高	5

前商、六連勝を飾る。第六回県高校総体。過去五回の大会は前商が連続して六連勝を飾り、圧倒的な強さをみせていたが、今年には中量級に人材が乏しく、六連勝は難しいと思われていた。これに対して利根も重級に入がややや、前商と対戦するにこの級の勝敗が鍵であった。前商は重級の権威、平井の二人が奮闘し、点をあげて六連勝を飾った。個人戦では、選手が順当に勝ちをおさめた。この結果、六回、個人三人が代表として関東大会に出場した。

祝 創刊
関口整形外科医院
院長 関口義五郎
高崎市鍛冶町 5 番地の 4
TEL (22) 4 4 7 0

祝 創刊
参議院議員
丸 茂 重 貞

平井堂々三位に入賞

全国高校大会 高德も五位に

第21回全国高校柔道大会は八月十日から十四日まで新築された愛媛県武道館で開催され、各県代表五十三チームと個人戦代表四百四十四人の精鋭が詰め合った。各県代表は四回戦まで行ない、持ち点の残った選手同士で決勝トーナメントを行なった。この結果、平井(前橋)が三位、高德(前橋)が五位に入賞した。

個人戦の上位入賞は三十九年石沢(山形)が中量級で二位、三十九年平井(前橋)が三位、四十年平井(前橋)が四位、四十年高德(前橋)が五位に入賞した。



高德 君 平井 君

水上中が初優勝

第六回県中総体

県中学校総合体育大会は八月三十一日から四日にかけて県武道館で開催された。この大会で水上中学校が初優勝した。これは県中総体の歴史で初めてのことであり、選手も非常に頑張った。

個人戦でも水上中のポイントがトップで安定した試合運びで優勝した。

【団体戦】①水上②水戸③板倉④安中

【個人戦】①飯沼(水上)②堀江(水戸)③藤野(水戸)④川北(水戸)⑤高田(水戸)⑥高橋(前橋)

- 予選リーグ二位
- 予選リーグ一位
- 予選リーグ三位
- 予選リーグ四位
- 予選リーグ五位
- 予選リーグ六位
- 予選リーグ七位
- 予選リーグ八位
- 予選リーグ九位
- 予選リーグ十位
- 予選リーグ十一位
- 予選リーグ十二位
- 予選リーグ十三位
- 予選リーグ十四位
- 予選リーグ十五位
- 予選リーグ十六位
- 予選リーグ十七位
- 予選リーグ十八位
- 予選リーグ十九位
- 予選リーグ二十位

私と柔道

小島友治郎



柔道は、私にとって特別な存在である。幼少から柔道に打ち込み、それが私の人生を形作るようになった。柔道を通じて学んだことは、決して柔道の技術ばかりではない。むしろ、そこから得た精神力や不屈の意志が、私の人生を大きく変えた。

柔道は、私にとって特別な存在である。幼少から柔道に打ち込み、それが私の人生を形作るようになった。柔道を通じて学んだことは、決して柔道の技術ばかりではない。むしろ、そこから得た精神力や不屈の意志が、私の人生を大きく変えた。



柔道選手二人の対戦シーン

柔道は、私にとって特別な存在である。幼少から柔道に打ち込み、それが私の人生を形作るようになった。柔道を通じて学んだことは、決して柔道の技術ばかりではない。むしろ、そこから得た精神力や不屈の意志が、私の人生を大きく変えた。

柔道は、私にとって特別な存在である。幼少から柔道に打ち込み、それが私の人生を形作るようになった。柔道を通じて学んだことは、決して柔道の技術ばかりではない。むしろ、そこから得た精神力や不屈の意志が、私の人生を大きく変えた。

虚弱児と柔道の出会い

すべてが鍛練...

柔道は、私にとって特別な存在である。幼少から柔道に打ち込み、それが私の人生を形作るようになった。柔道を通じて学んだことは、決して柔道の技術ばかりではない。むしろ、そこから得た精神力や不屈の意志が、私の人生を大きく変えた。

柔道は、私にとって特別な存在である。幼少から柔道に打ち込み、それが私の人生を形作るようになった。柔道を通じて学んだことは、決して柔道の技術ばかりではない。むしろ、そこから得た精神力や不屈の意志が、私の人生を大きく変えた。

祝 創刊

群馬県接骨師会

会長 永井寿雄
副会長 湯浅林五郎
専務理事 牛込久雄
常任理事 細野嘉晴
常任理事 田中健重
常任理事 猪俣高美
常任理事 大島由安
常任理事 関口洋五郎
常任理事 関口孝義
常任理事 佐藤義光
常任理事 武藤富雄
常任理事 森英樹
常任理事 糸井照寿
監事 北爪隆雄

祝 創刊

湯浅接骨院

湯浅林太郎

高崎市柳川町18
TEL (22) 5870

祝 創刊

湯浅道場

湯浅林太郎

高崎市柳川町18
TEL (22) 5870

ぐんま柔道

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由って身体精神を鍛錬修業し、斯道の神髄を体得する事である。さうして是によって己を補益するが柔道修業の究極の目的である。

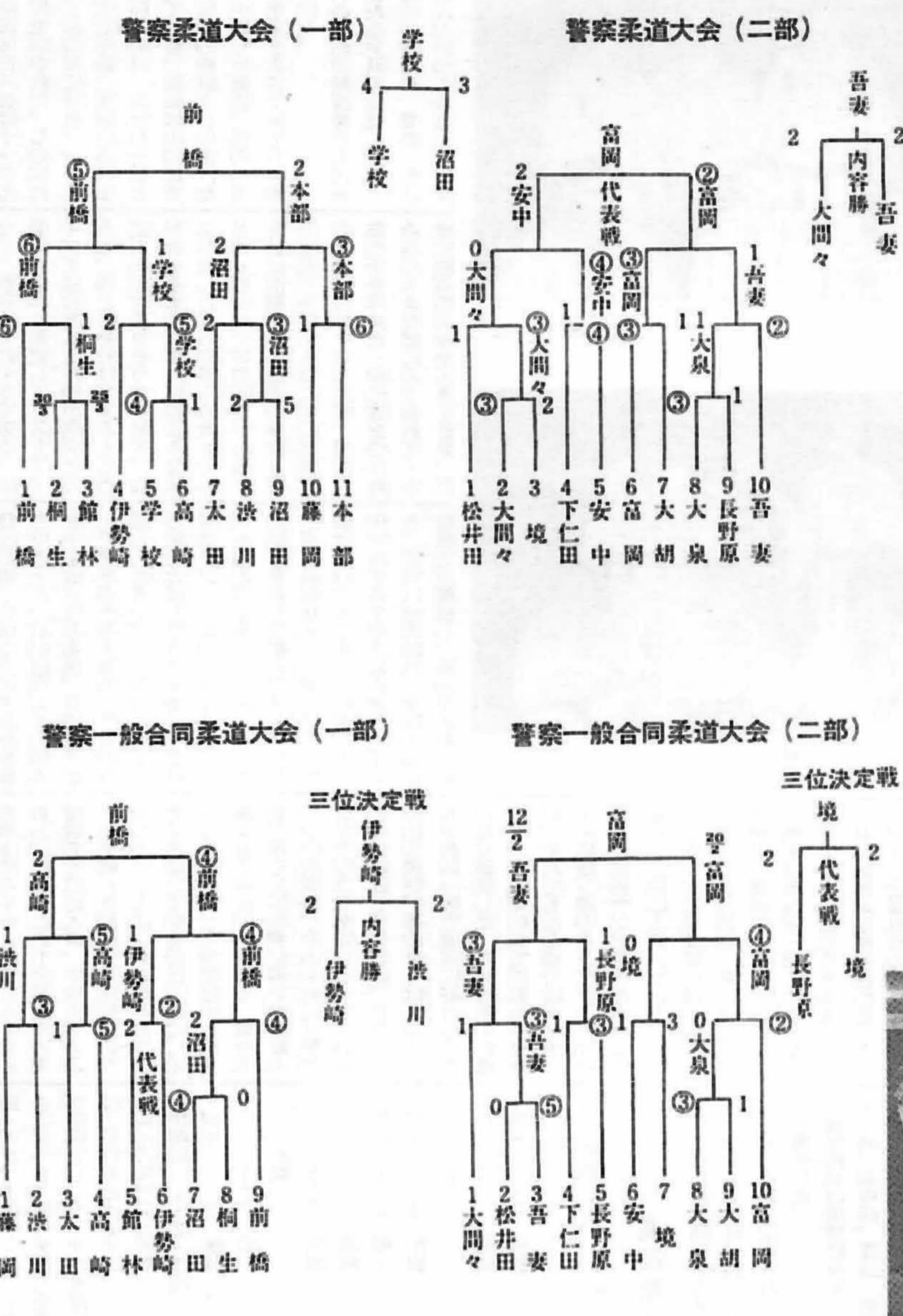
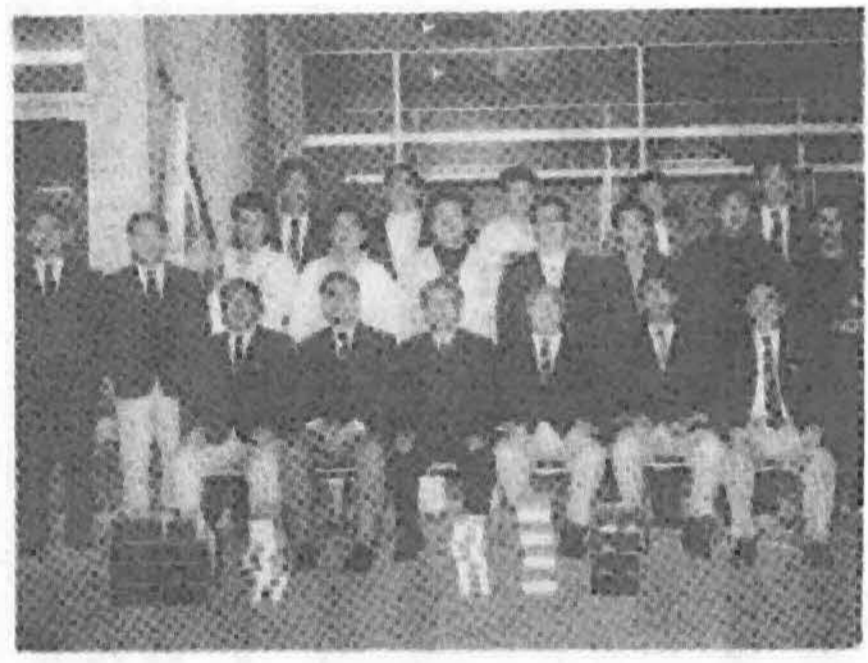
前橋(一部)富岡(一部)二部門に優勝

警察署、警察一般合同各大会で

第十九回警察柔道大会と第十三回警察一般合同柔道大会は、十月六日武道館において、各警察署の管内の人口の多少により一部と二部に分けて行われた。この結果一部は前橋署、二部は富岡署がそれぞれ優勝を飾り、一般合同大会においても前橋、富岡チームが各部門の優勝をさらい、圧倒的な姿を見せた。

大会概要 優勝の前橋署は第四回から五回、六回、九回、十回、十二回、十四回、十六回、十八回、十九回と通算十度の栄光に輝いた。とくに活躍の目まざましかったのは前橋出身で、四回連続で前橋を三位にみちびいた糸井三郎(三郎)の高橋。三戦三勝すべて堂々たる一本勝ちでその素質、将来性、度々の優勝であり、この四年間連勝の同点であったが内容は対二部の一歩の差があった。吾妻は毎年同様に二部優勝した。吾妻は毎年同様に二部優勝した。吾妻は毎年同様に二部優勝した。

警察一般合同大会では優勝の前橋チームは第二回以来、三、五、六、十、十一、十二、十三回と八回連続して優勝を飾り、二部優勝の富岡署は一度目の栄光に輝いた。吾妻チームも対二部の一歩の差があった。吾妻は毎年同様に二部優勝した。吾妻は毎年同様に二部優勝した。吾妻は毎年同様に二部優勝した。



関口理事長、世界選手権へ

チームの原動力として



去る九月二、三、四日西ドイツのルドルフウィグスハーフェンで開催された第七回世界柔道選手権大会へ日本選手団の顧問として参加した。理事長の関口恒五郎氏は、柔道連盟の発展のためと、口を絶えず「チームドクター」的な任務をこなして、世界中の柔道選手が顔面を認識する。

- 【警察一般合同柔道大会】
 一部 前橋 4-2 高崎
 二部 前橋 5-2 本部
- 【警察柔道大会決勝戦】
 一部 前橋 4-2 高崎
 二部 前橋 5-2 本部

- 湯浅 林太郎
 湯浅 岩尾
 小坂 芳五郎
 鈴木 行正
 鈴木 茂
 小坂 芳五郎
 鈴木 行正
 鈴木 茂
- 高崎・群馬支部
 高橋 弘子
 岡田 芳五郎
 岸 俱美
 清水 雄三
 須藤 至崇
 富田 興基
 戸所 芳男
 田島 達枝
 野口 洋
 新藤 彰二
 桜井 四郎
 桜井 弘
 牛達 祥浩

外務大臣
福田 赳夫
 事務所 高崎市高松町14-1
 TEL (0273) 25129(代)

平井・榎沢(前商)とも一位に

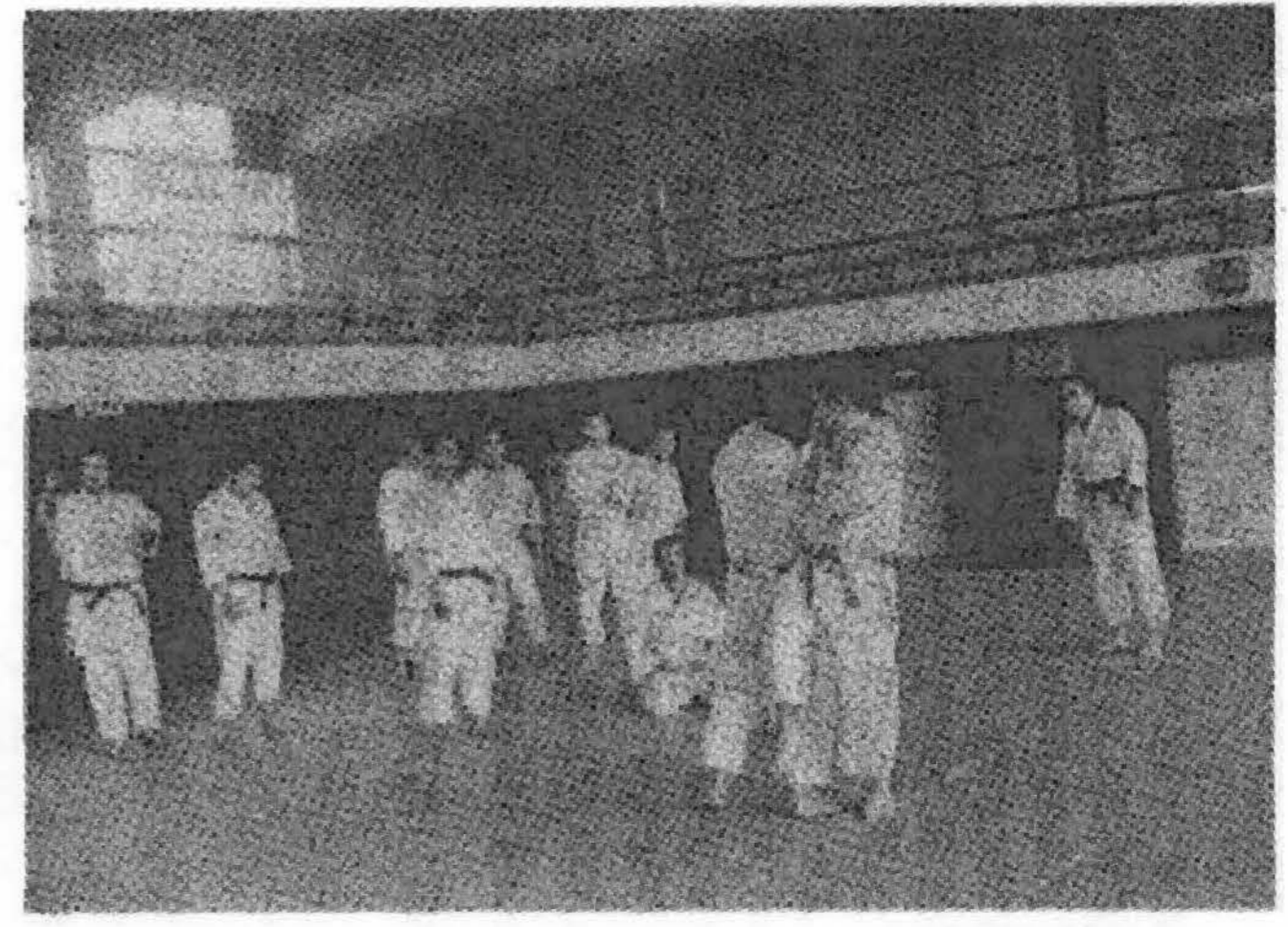
全日本新人体重別関東予選

【成積】
平井 敬一 二勝一敗
榎沢 健之 一勝二敗
榎沢 健之 一勝二敗

勢多郡民衆大会は十月十七日
第十中学校体育館で開かれ、黒
保根村が不参加だったが北橋村が

井上(中量)は個人で四位 団体は予選リーグ二位

指導者講習会開く



県教委と県柔道協会の共催で、中学校と高校の指導者の講習会(比較初級)が、前橋市立第一中学校で開かれた。これは柔道講習会の効果的指導法と安全指導を徹底するために企画されたもので、講師には群馬大学の黒田教授が出席した。講習内容は技の指導法、審判法、審判法、審判法は黒田教授が担当され、黒田教授は講習会に参加し一人が熱心に受講した。参加者の一人はこの講習会に参加して多くの指導者に出会った。講習の機会も是非参加して勉強したい。もっとも講習の先がたが結構的に参加して貰いたい。」と語っていた。

【指導者講習会】
指導者講習会(県教委・県柔道協会)が、前橋市立第一中学校で開かれた。講師には群馬大学の黒田教授が出席した。講習内容は技の指導法、審判法、審判法、審判法は黒田教授が担当され、黒田教授は講習会に参加し一人が熱心に受講した。参加者の一人はこの講習会に参加して多くの指導者に出会った。講習の機会も是非参加して勉強したい。もっとも講習の先がたが結構的に参加して貰いたい。」と語っていた。

関東警察柔道大会
四十六年度関東警察大会は九
日(二十日)日本武道館で行な
れた。この大会は一部に警察予
選予選、榎沢、千葉の四チームが
出場し、二部に群馬、豊後、栃木
群馬、豊後、千葉の四チームが
群馬、豊後、千葉の四チームが
群馬、豊後、千葉の四チームが

個人戦
榎沢 敬一 予選で敗退
榎沢 健之 予選で敗退
中量級 井上 四位

百三十八人参加して

第三回全日本新人体重別選手権
大会の関東予選は八月十六日に深
道館で行なわれた。本県からは榎
沢健之、榎沢敬一、榎沢健之、榎
沢敬一、榎沢健之の選手が
(いずれも前商三年)の選手が
出場した。参加者は榎沢健之が五
人、中量級が四人でそれぞれリ
グ戦を行ない各級の優勝者が出場
することになる。平井敬一、榎
沢健之、榎沢敬一、榎沢健之、榎
沢敬一、榎沢健之の選手が
勝したが、榎沢健之の自衛選手に大
外刈りで敗れ関東代表の座をゆ
ずった。榎沢健之は一位になっ
た。

富岡チームが優勝

県青年祭に奮起を

第十六回群馬県青年祭柔道大会
は十月三日県武道館で開かれ、出
場チームは三市四郡の七チームで
これを三ブロックに分けてリーグ
戦を行ない、さらにリーグの二
位で優勝戦を、三位で三位決定戦
を行なった。

【結果】
A組 一位 高岡 二勝
二位 甘葉 一勝一敗
三位 沼田 一敗
B組 一位 佐渡 一勝二敗
二位 利根 一勝二敗
三位 前橋 一勝一敗
四位 群馬 一勝一敗
三位決定戦
利根 3-2 甘葉

富岡チームは中量の欠場で四人
で戦ったが、西川三郎、佐藤三郎
の活躍により優勝できた。青年
祭は年々盛んになりつつある。
しかし申込みが十二チームもあつ
たのに出場したのは七チームとは
情ない。青年チームは年輪的に
一番活躍できる年なのに得意技を
持っている人がほとんどいない。
基本的なわざや柔道人としての
高岡チームは中量の欠場で四人
で戦ったが、西川三郎、佐藤三郎
の活躍により優勝できた。青年
祭は年々盛んになりつつある。
しかし申込みが十二チームもあつ
たのに出場したのは七チームとは
情ない。青年チームは年輪的に
一番活躍できる年なのに得意技を
持っている人がほとんどいない。
基本的なわざや柔道人としての

九選手が奮闘
四十六年度関東警察大会
は、十月十日に神奈川県立武道館
において五段六十二人、六段三十
三人が参加して開かれ、本県から
は次の七選手が参加した。戦績次
の通り。

【結果】
▽五段の部
田島謙隆 合せ技 高橋國雄
(群馬) (千葉)
榎谷勝之 袈裟固め 須坂春樹
(群馬) (群馬)

新井次郎 引分け 後藤孝雄
(群馬) (神奈川)
宮沢 引分け 清原洋
(群馬) (神奈川)
榎沢光雄 引分け 菅原弘毅
(群馬) (神奈川)
田島謙隆 上四方固め小林武夫
(群馬) (神奈川)
石倉昌幸 優勢勝ち 榎沢栄一
(群馬) (神奈川)
鈴木元一 引分け 宮本隆
(群馬) (神奈川)

私と柔道

富所寛一郎

最初は柔道の思ひ出に纏る機
会を手に入れたことを厚
くお礼申し上げます。柔道を始め
た動機は一向に思ひあたりま
せん。近所(道場)があったから
でしょうか。これは親戚の勧め
で長年、近所の道場へ出掛けた
もので、近所の青少年が多
数集まってきました。稽古によ
る汗の喜びは柔道への愛着を深
めていきました。昭和十九
めはかりで遂に大正九年半身
年に練習するまで講習館に寄食
して三、四年過ぎました。稽古
は、稽古の時に死別。農家の
三男坊の私に父は三言三語
つて来たものでした。稽古
初に本県出身で柔道に道場を開
いた田中先生のお世話にな
り、後に田中先生の勧めで京橋
の相模町に道場を持つ榎本伊勢
吉先生に師事。この人は講習館
の生手引と言われる人で、柔道技
術としては第一号であつ



県警の柔道技官第一号

技磨きに講道館へ
おりました。当時の友人高
野君氏がいます。柔道もさ
だに思っていました。これに引
きかかるとかかるとかかるとか
この大將は群馬県警で技官
試合の思い出も多々ありますが
相手と思ひ出を語り合ふなら
ま知らず、勝った試合を語れば
自慢話になり、負けた試合は話
にならなかつた。有難うでした。

現住所 群馬前橋台 三三九
年 七〇歳
八段昇段 三十四年五月
当時の得意技 払い腰、横掃身
家族 妻、娘夫婦に孫三人
職業 無職

前橋公園 スポーツマンの御宿泊・お食事!!

旅館 水園

前橋市民プール前 TEL(0272)313519
313713
313323
県営スポーツセンター隣

◎順道館 富澤道場 澤接骨院
前橋市朝日町二丁目10-14
TEL 0272244601番

◎順道館 富沢整形外科医院
前橋市朝日町四丁目17-2
TEL 0272243955番

院長 富澤 政 信
館長 富澤 貞 一

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

ぐんま柔道

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し、斯道の神髄を体得する事である。さうして是によって己を補益するが柔道修業の究極の目的である。

四十七年を迎えて



輝かしい昭和四十七年を迎え、会員各位にはますますご健勝のことと拝察いたします。

本年は札幌オリンピックで幕が開き、いよいよ八月末からはミュンヘンオリンピックが開催されます。

心強い少年の柔道熱

県柔道連盟 会長 関口 恒五郎
 副会長 関口 林五郎

今年それをさらに発展し、団体得点できるまで伸ばしたいと思っております。県内の各種大会もひとところに比べて参加者も増進してまいりました。道場対抗にみる少年柔道の熱は頼もしいかぎりです。

愛好者が増すということは何にしましても第一条件です。地方で修業している皆さんは陸路も多いかと思っております。それを皆さんが英智と熱意で克服して下さいます。連盟としてもできるかぎり

強化の短期計画と長期計画とがうまく組合わされてこそ日本の優位性は水続されるものと考えます。しかしこの計画にも陸路はさげられない。それは施設の不完全と不足であり、よき指導者の貧困と不足である。現状公立高校ですら柔道場の大小を問わず設置されているのは群馬県で五・五%（全国第五位）、福岡県は一〇七校中二〇二校（九五・三%）であり（全国平均三六・一%）、中学校ではさらに大巾に下まわるものと思われ。群馬県の諸先生にも現状を重視して当局と密接な連携の上に、数少ない施設を充分に活用し、すぐれた指導者の養成と学生、生徒の正しい柔道の指導に一層の力を尽していただきたいと思っております。

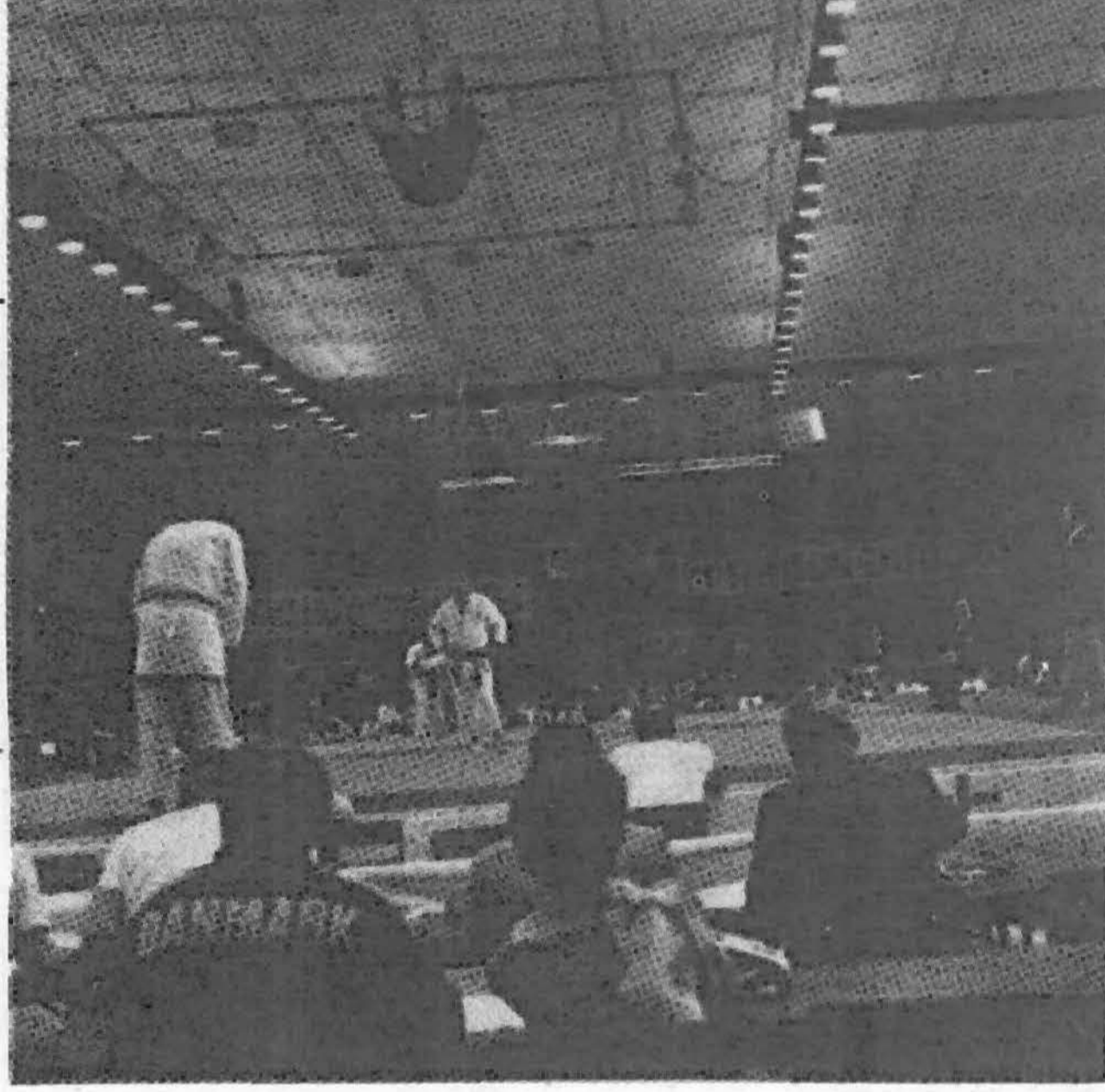
世界選手権を観て考える

県柔道連盟 会長 関口 恒五郎

西独の学都で有名なハイデルベルヒの街からライン川の本流を隔てた人口約十八万の化学の地方都市、ルドヴィヒハーフで一九七一年度世界柔道選手権大会が九月の二、三、四日の三日間開催された。あくまで若く晴れわたつた九月初旬の中東ドイツの空の下、ゴールテンプランの表徴としての立派な体育館の中で北米から、南米から、東洋、アフリカ、欧州の各国から集った精鋭が火花を散らして自己の、自国の名譽のために戦った。戦況、戦績はすでに新聞等により明らかなので省略する。

ヨーロッパでは各国ともに柔道が盛んで、重量級はオランダのルスカ、西独のグライン、ソ連のクズネツォフ等日本の一線級の選手が活躍し、後につづく者として身長一メートル以上、体重百三、四十キロ以上の巨漢の養成に力をつけている。ヨーロッパ圏では将来そうとう長期に亘って重量級では日本勢と太刀打ちできないが近い将来重量級、無差別級だけは是非ともヨーロッパ圏で世界選手権を獲得したいとの意向は充分にくみとれる。日本が全階級の選手権を獲得するためには、一部の強

重量級だけをねらうヨーロッパ



中学生に正しい柔道を

い選手だけ集めて強化する形の短期計画のみによつてはいつの口か夢が無様に散られることがあろう。短期計画も勿論大切であるが、一方全国的に柔道の底辺を拡大確立して中学生の時から正しい柔道を指導して身につけさせることが最も大事なことと考えられる。正しい柔道とはどこまでも伸びる可能性があるが自己流の、また変則的な柔道の伸びには限界のあることは明白である。このような考え方から後者を長期計画として強化委員会、普及委員会を取りあげて具体的な一歩をふみだした。

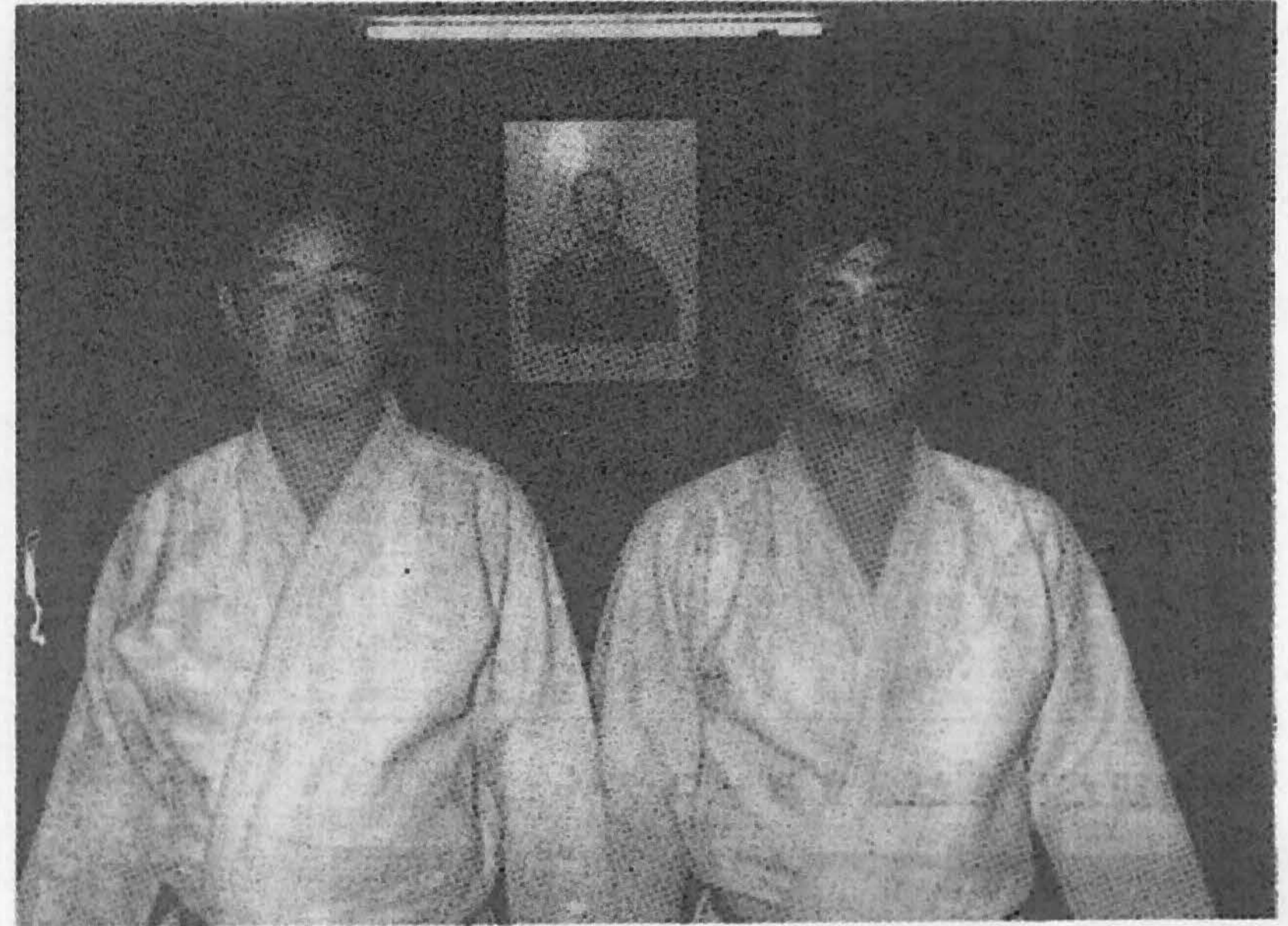
創業安政元年
 現代の刀鍛治 田口行慶
 シャッター・サッシ・SS雨戸 戸締まりの総合メーカー
有限会社 中屋熊五郎商店
 桐生市本町3丁目5の3 ☎(22)3783

群馬連北群馬渋川支部
 支部長 関久一
 副支部長 石田昭三
 小竹恒夫
 横内正晴
 総務部長 阿部正市
 事務所 渋川市半田 一一〇八ノ二
 柴崎洋行 ☎(2)二〇八五

町田が初優勝

群馬県柔道選手権大会

町田・大藤が関東選手権に出場



○右から大藤三段・町田三段

昭和四十七年の群馬県柔道選手権大会は三月十二日、県武道館において行われた。当日は県警の選手が勤務のためわずか三八しか出場できず、一般の参加も少なかった。試合は町田、大藤、越塚の三選手が順当に予選を勝ち残り決勝リーグの結果、町田が初優勝した。この結果町田三段と大藤三段が四月二日に本県武道館で行われる関東柔道選手権大会兼全日本柔道選手権大会関東地区予選に県代表として出場することがきまつた。

予選リーグ
Aブロック
一位 町田三段 二勝
二位 樺沢一段 一勝一敗
三位 北沢三段 二敗
Bブロック
一位 大藤三段 二勝一引分け

Cブロック
一位 越塚四段 一勝一引分け
二位 齋藤五段 一引分け
三位 松本三段 一引分け一敗
決勝リーグ
町田 引分け 大藤
○大藤 優勝勝ち 越塚
○町田 うしろけさ固め 越塚
町田保則三段 県警機動隊
二五才、一七八センチ、八九キロ
四六年重量級の団体出場、四七年県別選手権大会三段の部二位 桐生卒。

関東柔道選手権大会

兼全日本選手権大会関東地区予選

全日本柔道選手権大会 関東予選

主催 関東柔道連合会
主管 群馬県柔道連盟
後援 群馬県教育委員会

前橋市
時 四月一日 午前九時より
所 群馬県武道館
入場無料



盛大に連盟新年会



各界の名士 若き頃を語る

群馬県柔道連盟は一月二十三日午前橋市の「富久屋」で恒例の新年会を行なった。会に先だって一月九日の講道館の鏡開き式で昇段した本県関係者の氏名が発表された。昇段者は六段に八木岩次郎氏以下五名、五段十二名、四段八名、三段十七名、二段十一名、初段十一名の計六十四名。(別に掲載)昇段者を代表して北爪隆雄六段が「これを機に、心を新たに修業し、柔道発展のために微力ではあるが尽したい。」と謝辞を述べた。引き続き新年会にうつり、最初に関口林五郎会長の「昨年よりな



おいつその発展を願う。」と力づよい挨拶があり、続いて本連盟顧問の小島友治郎氏、伊藤順彦氏、藤生高休連合会長の挨拶があり、宮所寛一郎八段の乾杯の音頭で盛大に開かれた。

途中、丸茂重貞参議院議員、羽生田進郎医師会長の若い頃の柔道の思い出話などの披露があり、和気あいあいのうちに終了した。

講道館鏡開式昇段氏名

- 講道館鏡開き式昇段者名
- 六段 五名
八木岩次郎 洪 北爪隆雄 勢
吉沢義雄 伊 宮沢勲 前
柳谷勝之 前
五段 十二名
今泉 茂 洪 後藤雅雄 洪
小林祐次郎 洪 神宮七郎 洪
田中 武 伊 小屋康治 前
新後園雅太郎 高 山本健司 高
中里佐一 色 石井大宜 色
橋岡弥寿雄 賢 真下定吉 高
四段 八名
奥沢一郎 太 岩瀬安春 太
- 吉沢良三 前 北沢庄司 前
星野 融 伊 中里良雄 高
久保田健一 高 須藤仁一 勢
参段 十七名
岸 八一 洪 外山重喜 洪
山田吉次 洪 長岡孝次 伊
櫻井良衛 伊 栗原貞夫 伊
山本一男 桐 石原三郎 桐
横田正之 一 雄 小能国夫 吾
野沢健一 吾 福島松一 吾
鯉登富雄 前 狩野桂次郎 前
掛川昌一 高 岩崎五天 勢
入沢他美男 勢
武段 十一名
- 戸谷嘉男 吾 武田真人 前
藤子島正男 前 高瀬博吉 勢
須田 繁 洪 富田常雄 洪
田中正男 洪 田中 肇 洪
福田 好 洪 高橋充郎 洪
高橋良一 高
初段 十一名
狩野賢三 洪 真下英男 洪
小池忠孝 吾 南波春海 吾
狩野正明 高 角田久男 高
佐藤重太郎 高 藤原義男 高
野村進一 高 金子 明 高
亀井 功 高

鉄筋・鉄骨加工組立
第一商事株式会社

渋川市有馬 ☎(2)4124・(2)1370

スレート製造・瓦葺工事
上毛万年瓦製造株式会社

社長 真下玄永

渋川市大崎 ☎(2)0047

自民党県連政務調査会長
群馬県議会議員

腰塚治男

桐生市西久方町1の2の55 ☎0277(2)3849

石倉(五段の部)六連勝

福田・大藤・永鉢・金谷が優勝

県下段別選手権

昭和四十七年度県下段別選手権大会は、二月二十三日、県武道館で開かれた。これは各支部から推せんされた初段から五段までの選手で初段一〇名、二段十名、三段一五名、四段三名、五段二名の四十名が参加した。初段は高校生が多く、三段には警察官が六名参加した。五段の部は三十七才の柴崎選手(渋谷支部)が出場したが練習の質、量ともに勝る石倉選手には抗することができなかった。石倉選手はこれで六年連続五段の県選手権者になつたわけである。各段の優勝者は三月二十日に講道館で行われる関東近県段別選手権大会に代表として出場する。

別大会では一年の部で優勝、二年では三位、金谷は二年で優勝、福田は三年で優勝、大藤は四年で優勝、永鉢は五年で優勝、石倉は六年で優勝だが、今年はいくつか、往年の攻撃力は見られない。同年の佐藤五段(利根商校)は今年からは一線を退いた感がある。過去数年この二人が群馬を代表する選手だった。若手の有職者の中にも大学や実業団で活躍した者が数人いるが今大会には出場しなかった。早急に石倉五段の地位をおびやかす意欲を持った選手の出現が望まれる。



右から 石倉五段、大藤三段、福田四段、金谷初段、永鉢二段

初段の部は沼高の巨漢、一年生の金谷が前年二年の柏倉を返し技に敗って初優勝した。柏倉は学年

- 県下段別選手権大会予選成績
- 初段Aリーグ
一位 柏倉 二勝一引分
二位 竹田 二勝一引分
三位 福田 一勝三引分
四位 広瀬 一勝一引分
五位 川上 四敗
- 初段Bリーグ
一位 金谷 四勝
二位 藤原 二勝一引分
三位 高橋 一勝一引分
四位 原島 一敗一引分
五位 倉林 四敗
- 二段Aリーグ
一位 小林 四勝
二位 井上 三勝一引分
三位 伊藤 一勝一引分
四位 伊勢川 一勝一引分
五位 小崎 一敗一引分
- 二段Bリーグ
一位 水鉢 三勝一引分
- 三段Aリーグ
一位 周東 一勝一引分
二位 佐藤 一勝一引分
三位 三浦 一勝一引分
四位 市川 一勝一引分
五位 馬場 一敗一引分
- 三段Bリーグ
一位 大藤 三勝一引分
二位 原沢 二勝一引分
三位 田代 二勝一引分
四位 前原 一勝一引分
五位 青木 四敗
- 三段Cリーグ
一位 町田 四勝
二位 新井 三勝一引分
三位 北沢 二勝一引分
四位 須田 一勝一引分
五位 真下 四敗
- 四段
一位 福田 一勝一引分
二位 越塚 一勝一引分
三位 上原 二敗

私と柔道

田中良三

それは明治と大正のかわり目の年でした。私は高崎中学校に入学して初めて稽古を身につけました。中学二年の時、専門外の先生の指導を受け、一年からは初段の小島先生の指導を受けました。三年生の秋に高(現高崎高校)で、宮川一貫五段のデモンストラーションが行われました。県内の初段、二段を相手としての稽古の立派さ、技の見事さに私はすっかり感激し、すっかり柔道のとりこにされてしまいました。当時、県内には二段は一人もいませんでした。

私は、大正五年二月、高中学卒業しました。長男である私は家を離れるわけに行かず、柔道は家業の認可についてひとことふれ、当時の、初段でも、講道館の試合に出ずにはとることができなりました。

柔道を始めたのは旧制中学一年生の時であった。黒帯を締め、上級生の身体が数倍にも大きく見え、もみあげの太さが印象的であった。十六歳で初段になった時の嬉しさは忘れられない。小柄で、技も滑りず、思はぬ限りだった。が、いまもって最高の思い出である。

三段の頃がどうやら身体も動けて稽古や試合が楽しかった。四、五段に進むにつれ技が落ちた。試合も思惟に運べなくなったが、身にも余る光栄で、帯が重く感じる。

北沢広司 四段

この度、諸先生、諸先輩のお蔭で四段に昇進させて戴き、本当に身に余る光栄で、帯が重く感じます。今後このボンゴツ車は、よたよたではありませんが、決して止らず走り続けて行く所存でありますので、宜しく御指導の程、お願い申し上げます。

全日本選手権(専門成年前期)で二位

大正十三年には明治神宮体育大会が始められ、東京以外の関東七県が「プロック」として、十月初めに浦和高校において、予選会が開かれ、選手三名が決められることになりました。壮年、青年、少年、各一名計三名というわけでした。群馬からは、壮年佐藤信作(四段(富中教師))、青年田中良三(四段(高教師・私))、少年藤野(初段(前中生徒))が出場しました。予選の結果は、少年・藤野の笠原(六段)と、青年・藤野の笠原(六段)と、壮年・佐藤の笠原(六段)と、二度にわたって、第三区予選をパスして、全日本試合に出場しました。部門は専門・成年前期というところですが、そして実に幸いなことに、第八回本試合では、決勝まで進むことができました。時移り、昭和二十年終戦に当り、中学校の柔道が課目から除外されたことと、家庭の関係とで十一月に高市を退職しました。

その後今日に至るまで、自宅で飯茶百種をつづけております。以上、経歴を雑然と記しましたが、同好の士の何等かの参考になれば幸いです。八段 七十四才 現住所 安中市市宿

良い施設—良い指導—早い合格
群馬県公安委員会指定
渋川自動車教習所
理事長 須田寿三郎 専務理事 石田昭三
渋川市上ノ原2963 ☎(2)3274・3275

宇野 ゆずる
宇野産業株式会社
桐生市仲町3丁目10

東北柔専 に辛勝

恒例の全群馬対東北柔道専門学校の対抗戦は、十五日、県武道館で開催された。各軍二〇人ずつの専手を出して争われたが、群馬は中盤までに五点を挙げ、終盤の劣勢を補い辛うじて一点差で勝った。この五点は当然勝つべくして勝ったという感じで、前半の高校生の中には地力に勝っているが、攻撃技術の甘さから逃げられた者もめだち、この面での研究もいそがれる。

- 東北柔専 4-5 全群馬
- 2 佐藤 引分け 1 柏倉
 - 2 成田 " 1 平井
 - 2 藤原 内股 1 横沢
 - 2 菊地 引分け 1 倉林
 - 2 高橋 " 1 高徳
 - 2 佐々木 " 1 水井
 - 2 金子 大外刈り 2 新井
 - 2 岩崎 引分け 2 井上
 - 2 伊藤 " 2 水林
 - 2 吉原 " 3 高尾
 - 2 大淵 優勢勝ち 3 市川
 - 3 滝沢 " 3 周東
 - 3 富田 小内刈り 3 原沢
 - 3 小野 引分け 3 浜田
 - 3 矢木 優勢勝ち 3 町田
 - 3 奈良岡 体落し 3 佐藤
 - 3 白土 引分け 3 大藤
 - 3 白鳥 上四方固 4 藤田
 - 4 秋山 内股 4 堀川
 - 4 青藤 引分け 4 石沢

四十七年 月例練習会予定表

部別	少年部	青年部	成人部	女子部
1. 20	投技の基本	投技の連絡	固の形	投技の基本
2. 17	"	固技の連絡	極の形	固技の基本
3. 16	固技の基本	乱取練習	"	乱取練習
4. 20	乱取練習	点取試合	審判法研修会	護身術
5. 18	"	試合技	古式の形	"
6. 15	試合練習	乱取練習	"	"
7. 20	投技の基本	試合の研究	高段者試合	乱取練習
8. 17	"	乱取練習	互の形	投の形
9. 21	固技の基本	紅白試合	審判法研修会	"
10. 19	乱取練習	乱取練習	活法	柔の形
11. 16	"	投の形	投の形	"
12. 21	試合練習	固の形	固の形	"

毎月第二木曜日 午後6時~8時



この度ソ連サンボ連盟の招待によりサンボの国際トーナメント大会に参加しました。この大会は毎年ソ連で行われ、今回で四回めです。日本も毎回参加し優秀な成績をあげています。今回は中央アジアのウズベク共和国のタシケントで開催されました。私は86キロ級に出場し、予選リーグを二位で通過し、準決勝でソ連のパリヤコフに敗れ三位にとどまりました。日本選手は成績は二位一名、三位四名、入賞外一名でした。

他の種目も積極的に練習するサンボ選手

国際サンボ大会に参加して 佐藤勇夫

体をなしたのはソ連の諸民族が長年築きあげてきた民族格闘技が基礎となつています。その民族格闘技とソ連以外の格闘技とをミックスしたものがサンボです。もちろん柔道がサンボに与えた影響も非常に大であり、このルールが柔道にそれに類似していることから各地を転戦し六対一、五対一、四対一と日本が圧倒しました。東京オリンピックにはソ連からは重量級二名が参加し、軽重とも四名が三位に入賞しました。その後も、九六七年には〇名の選手が来日し、六対一、七対一、四対一、五対一と日本が勝つていきます。翌年の訪ソでは六対一、七対一と日本が大勝しました。他に

どんなに見事に投げても一本にならないため、一本とれる関節技を好んで練習します。初来日の折原田選手(後全日本一位)がシュリツツに十字固めでとられたり、東京で白崎選手がシュリツツの巧妙な十字固め攻めで何もしず引分けたり、また奥田、伊藤(当時天理大)がソ連遠征で不覚を喫したこともあり、一九六七年の来日戦では全日本選手権の岡野選手がソ連の一流のミシチェンコの巴投げからの十字固めで敗れるというショッキングな事態も起りました。このように見てくると全体的には日本が勝つかげにも大変苦戦、惨敗した例もあります。これはサンボが直線的な動きに対し、柔道が円的動きであるという根本的なちがいに由来すること、この動きにともない彼らの腕力まかせの技に引つかかると敗れるケースが多いのだと思えます。この動きに慣ればそれほど苦戦することはないと思えます。

「ぐんま柔道」の一号は中学校長会、高校校長会、二号は中学校校長会、高校事務長会を通じて県内の全公立中学校、高校の柔道部へ配布するようお願いしてあります。会が開かれるのは、定期的ではないから柔道部の皆さんの手にとどくのは発行日からかなりたつているかも知れません。もし、まだ未着の学校がありましたら柔道部の顧問の先生を通じておたずね下さい。一般の方には各支部長を通じて配布することになっていますが、直接郵送を希望される方は年額(四回分)二百円を編集室へお送り下さい。

団体旅行の御用命は!!
群馬観光自動車株式会社
高崎市柳川町1番地
☎ 22-5005
23-1112
23-8736

訂正
前号の「私と柔道」富沢寛一郎氏とありましたのは富所寛一郎氏の誤りでした。また文中に「橋本」先生とありましたのは「橋本」上げます。

熱帯魚とペット動物 たねと園芸の店
桐生ガーデンセンター
清水芳雄
桐生市中央ビル ☎ 0277 (45) 2568

茂木1級建築士事務所
茂木不動産開発
有限会社 **茂木建設**
渋川市 石原175 ☎ (02792) 2-0600・0610
出張所 渋川市半田 ☎ (02792) 2-2923

ぐんま柔道

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である
 その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し斯道の神髄を体得する事である。さうして是によつて己を補益するが柔道修業の究竟の目的である。

嘉納師範道訓

高崎支部が初優勝

関口大循は多野・藤岡支部

支部対抗

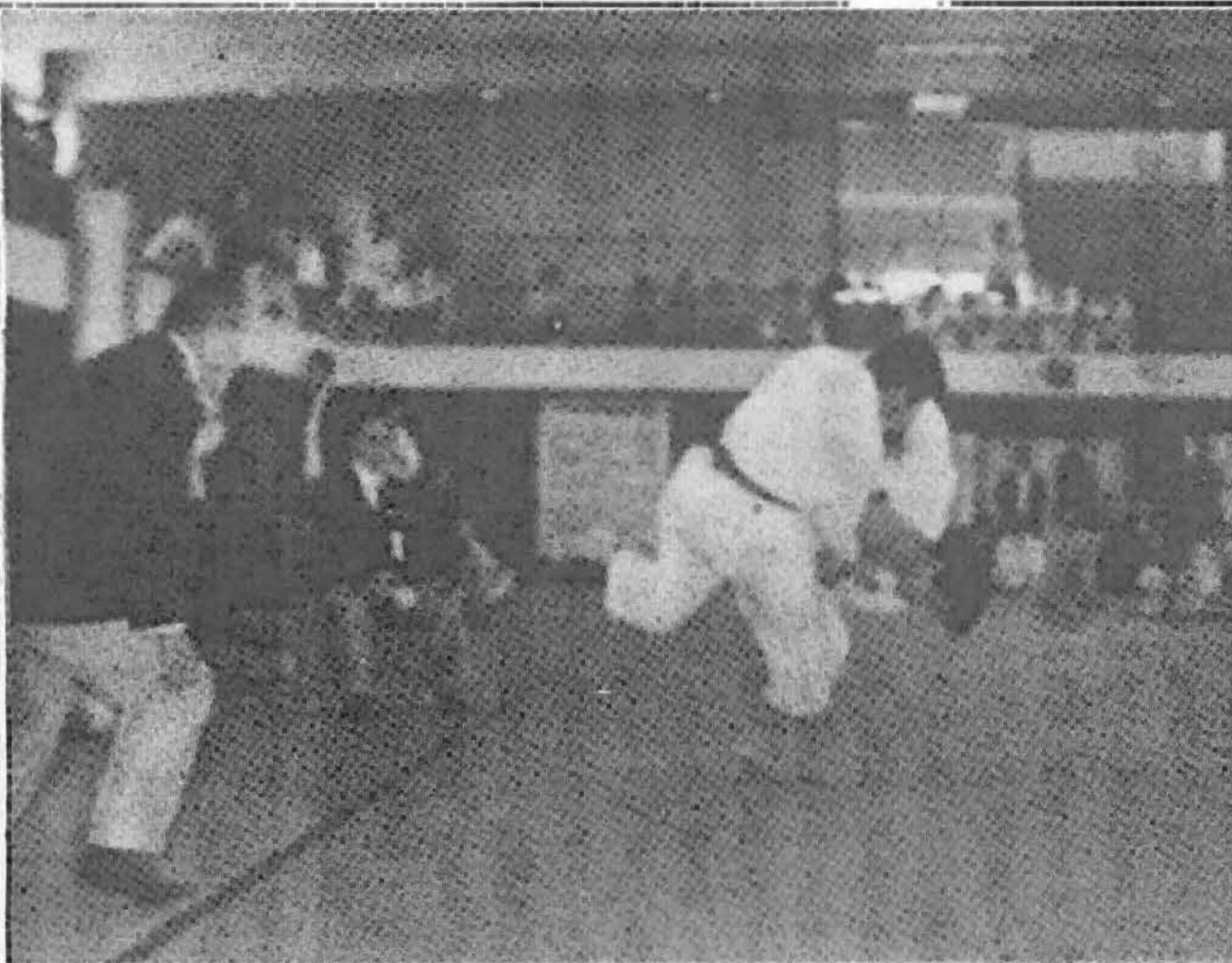
群馬県柔道連盟、関口考五郎先生顕彰保存会主催の第六回関口支部対抗大会は四月十六日県武道館において盛大に挙行政された。恒例により選手、役員一同道徳碑に拝礼したあと熱戦の火が切られた。

大会の焦点は昨年A組で優勝した利根、沼田支部がA組で二連勝できるか、古豪新鋭をそろえた前橋、北群馬、渋川がこれを阻むことができるか、A組からB組へ転落した高崎がB組優勝の上に総合優勝を飾れるかにしほられた。

結果は予想通りA組からB組落し持渡部・新井(前橋OB)、大すぎた選手も出場していたが、まだだ元気で若菜に得点していた。これらの選手が引退する理由は、何も無く、むしろ若手選手の攻撃目標にもなる。群馬を代表する選手として引き続き積極的に活躍してもらいたい。

結果は予想通りA組からB組落し持渡部・新井(前橋OB)、大すぎた選手も出場していたが、まだだ元気で若菜に得点していた。これらの選手が引退する理由は、何も無く、むしろ若手選手の攻撃目標にもなる。群馬を代表する選手として引き続き積極的に活躍してもらいたい。

総合優勝の高崎支部、総合準優勝の多野・藤岡支部はそれぞれ昨年のA組・B組の最下位で今年下位一〇八点をあげ、前橋、利根、沼田を大きく引きはなした。B組はA組においては上位から落ちた昨年は大量に得点し優勝できる可能性があるが、A組においては実力が接近している一〇〇点を越えるのは至難である。関口病院の選手の中では金田(前)、井上(高)等三十才を



支部名	A組得点	B組得点	順位
前橋	140	50	1
高崎	108	30	2
多野	97	30	3
利根	80	20	4
沼田	54	17	5
藤岡	117	11	6

第7回県高校総体

農大二校の順当勝ち

個人は金谷

第七回県高校総体は関東大会の子連を兼ねて五月二十、二十一日に県武道館で開かれた。二十日は団体戦で開かれた。二十一日は個人戦で開かれた。二十一日の団体戦は体重別で、二十四校が参加した。過去六回の県総体は前橋が六連勝したが今年も前橋ははずとチームが小型化し、準々決勝で富岡高と対戦し、対一で敗れ七連覇を逃した。高崎も優勝候補の一角だったが、二回戦で早くも利根と対戦し、大将福田が利根商一年の堀江(二年の部優勝)に引分けられ、二対一で敗れたのは残念。高崎は敗者復活戦でも前橋に敗れ関東大会の出場権を逃した。これに對して中之条高校は敗者復活戦で二連に恵まれ、関東大会への初出場権を得た。

個人戦結果表

個人戦結果	上段が勝ち
一回戦	渋川 5-0 新島



農大二校は昨年の新人戦で優勝して以来地方を駆け、重量級の原典が得意に得点して危なげなく勝ち進んだ。二位の高崎は金谷のワンマンチームだが、失点が少なく、よく金谷の得点を生かして二位に勝ち残ったのは賞讃される。この結果準決勝に勝ち残った四チームと敗者復活戦で浮かび上がった前橋、中之条高の合計六チームが六月十一、十二日千葉県館山市で行なわれる関東大会に出場することになった。個人は上記、名が関東大会に出場する。

- △団体戦結果 上段が勝ち
- ▽一回戦 渋川 5-0 新島
- △個人戦
- ▽決勝戦
 - 農大二 5-0 沼田
 - 前橋 2-1 大間々
 - 館林 4-0 万場
 - 中条 3-2 佐波農
 - 中之条 1-1 利根農
 - (代表戦で中之条の勝ち)
- ▽準決勝戦
 - 農大二 4-1 長野原
 - 前橋 4-1 中央
 - 館林 4-1 松井田
 - 中之条 2-1 藤岡
 - (内容で沼田の勝ち)
- ▽四回戦
 - 農大二 5-0 館林
 - 利根商 3-0 中之条
 - 沼田 2-2 樹徳
 - 富岡 2-1 前商
- ▽一位者リーグ
 - 原 引き分け 高橋
 - 金谷 大外刈り 高橋
 - 金谷 引き分け 原
 - 三位決定戦
 - 高橋 優勢勝ち 柏合
- ▽二位者リーグ
 - 永井 引き分け 木戸
 - 柏合 引き分け 木戸
 - 福田 引き分け 木戸
 - 引分け 木戸
- ▽三位者リーグ
 - 佐藤 引き分け 利根商高三二一才
 - 今泉 八段四段 農大二高三二一才
 - 江原 陸超四段 高々 三十才
 - 藤田 正明四段 樹徳高 二二才
 - 中島 五夫四段 上武一高三三才
 - 松本 邦夫三段 前商高 二二才
 - 高橋
 - 原 一初段 農大二高 三年
 - 齋藤 利明初段 高崎商 二年
 - 高橋 敬一初段 高崎商 三年
 - 高橋 慎一初段 高崎商 三年
 - 柏合 保夫初段 前橋商 三年
 - 木村 勝三初段 利根商 三年
 - 木戸 弘志初段 太田工 三年
 - 金谷 雅男初段 沼田高 三年

指定選手 きまると

県柔道連は六月十八日に強化委員会を開き、指定選手団に関する要綱ならびに強化指定選手団を決定した。選手は一般九人、教員六人、高校八人の二十三選手で中学生七人は後日中学校総体の結果で選考する。

指定選手 (抜粋)

- 選手団は群馬県柔道連盟員であつて優秀選手若干名と指導員をもって構成する。
- 選手の指定は次のうちから強化委員会が選考して決定する。
 - ①前年度各種大会において優秀な成績をおさめた者
 - ②各支部長の推薦する優秀者
 - ③中学校、高校、大学の体育連盟柔道部長ならびに警察柔道部責任者の推薦する者
- 選手の指定および解除は毎年三月中に決定する。
- 選手団は原則として毎月一回以上練習会を行なうこととする。
- 対外選手の選考は原則として指定選手の中から選考し、その

他の優勝者がある場合は指定選手以外の選手選考会を行ない、若干名を選び、さらに指定選手と合わせて最終選考会を行ない決定する。

指定選手には別に定めるマークをつけさせる。指定選手

- △一位者リーグ
 - 原 引き分け 高橋
 - 金谷 大外刈り 高橋
 - 金谷 引き分け 原
 - 三位決定戦
 - 高橋 優勢勝ち 柏合
- ▽二位者リーグ
 - 永井 引き分け 木戸
 - 柏合 引き分け 木戸
 - 福田 引き分け 木戸
 - 引分け 木戸
- ▽三位者リーグ
 - 佐藤 引き分け 利根商高三二一才
 - 今泉 八段四段 農大二高三二一才
 - 江原 陸超四段 高々 三十才
 - 藤田 正明四段 樹徳高 二二才
 - 中島 五夫四段 上武一高三三才
 - 松本 邦夫三段 前商高 二二才
 - 高橋
 - 原 一初段 農大二高 三年
 - 齋藤 利明初段 高崎商 二年
 - 高橋 敬一初段 高崎商 三年
 - 高橋 慎一初段 高崎商 三年
 - 柏合 保夫初段 前橋商 三年
 - 木村 勝三初段 利根商 三年
 - 木戸 弘志初段 太田工 三年
 - 金谷 雅男初段 沼田高 三年

安全設計の鉄骨フレーム
 住宅・事務所・工場・倉庫・農舎・畜舎
 総合建設業

町田工業株式会社

代表取締役 町田 丞

群馬県新田郡新田町木崎一七六五の一
 電話02765-⑥-1271

木暮史人	木暮得雄	剣持和彦	松島明	渡辺光男	小沢博	大沢威彦	荻野武夫	間庭重雄	木村茂
木暮隆	正田利男	内田嘉史	正田正巳	松島宗晴	栗原賢治	奥沢二郎	関口清	木村茂	木村茂

群馬県接骨師会
 太田新田支部

昭和47年度 行事表

Table with columns for month, date, event name, and venue. Lists various judo tournaments from July to December.

関東で 総合三位

高橋(高商)は個人三位に 沼田高はベスト8

関東高校大会



写真は高橋啓二選手

第十二回三笠記念関東新人人体重制柔道選手権大会は五月二十八日、横須賀学院体育館で開催された。試合は二十才未満の選手で...

関東新人 体重制 選手権

第十二回三笠記念関東新人人体重制柔道選手権大会は五月二十八日、横須賀学院体育館で開催された。...

石倉・剣持・吉田 は準優勝

鈴木六段は技能賞に 東京近県柔道大会

第二十五回東京近県柔道大会は三月二十日、講道館大道にて行われた。試合は小学校五年生から中学校二年までの学年別試合と初段から五段までの段別試合、六段以上の六段者試合に分れて行われた。...

大盛況審査会

吾妻支部を見て

風おおる五月二十八日、青葉若葉にかこまれた中之条町、関口道場において吾妻支部の昇段審査会が行われた。関口孝義支部長が審査会を主宰し、田島副会長とともに審査会を見守られた。...

大藤は予選リーグ二位

関東柔道選手権

昭和四十七年度関東柔道選手権大会兼全日本柔道選手権大会関東予選は四月二十日、本県武道館において行われた。本県からは町田保則三段(県警)、大藤忠昭三段(県警)の二名が参加した。...

暑中御見舞

田中源太郎

県議会議員 田中源太郎 自宅 佐波郡玉村町 電話 〇二七〇六五二二五二六

Advertisement for 'Akagi Health Center' (赤城ヘルスセンター) featuring a dance hall and entertainment.

Advertisement for 'Milk Candy' (名糖牛乳) by Nippon Milk Co., Ltd.

丹羽七段技能賞を受賞

四月二十八日、全日本選手権大会の前日に恒例の全国高段者大会が講道館で開かれた。本県からは例の三十四人が出場した。なおこの大会で丹羽文男七段が美事な巴技で東京の高橋七段を敗り輝く技能賞を獲得した。

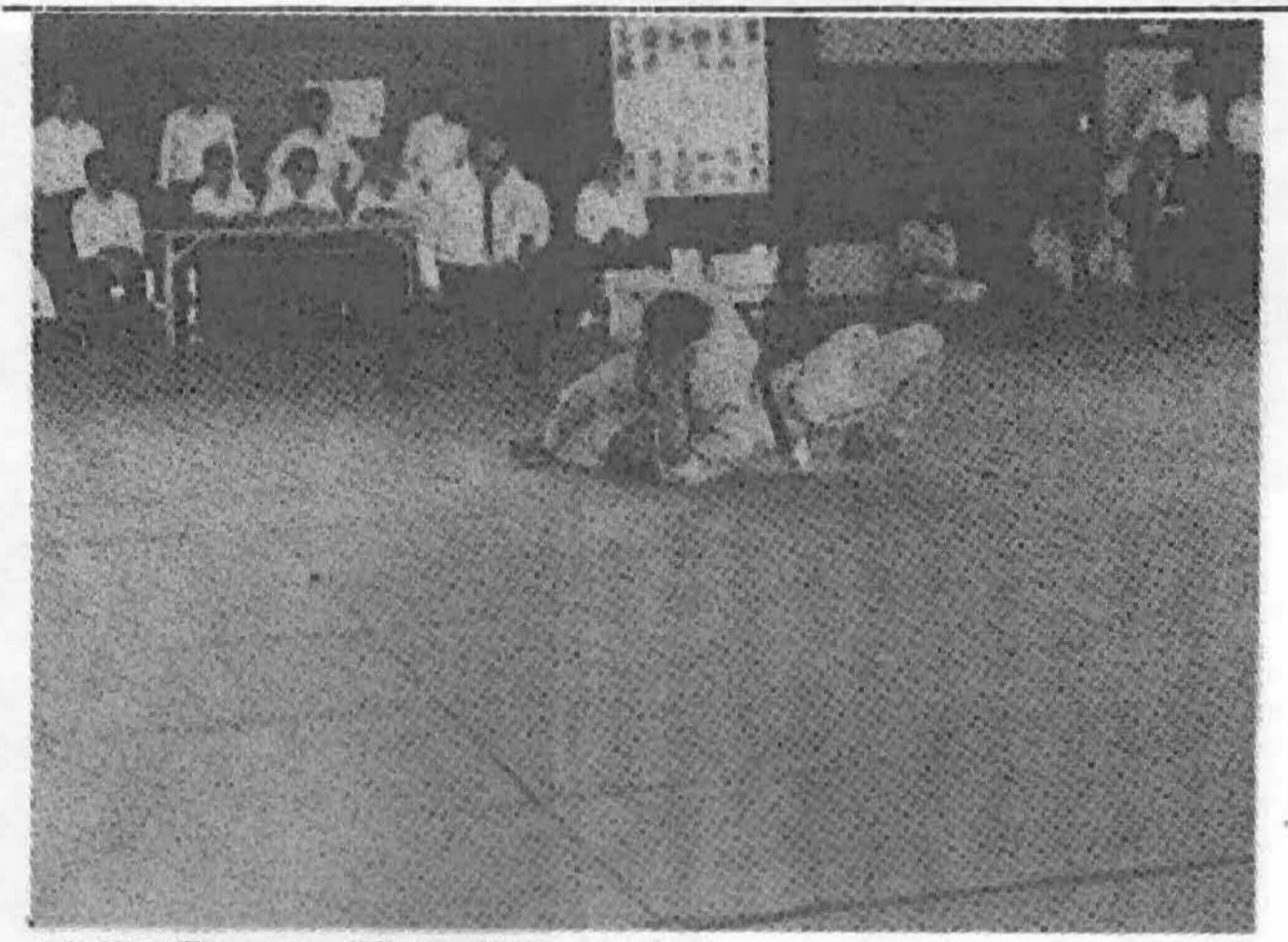
▽五段の部 上段が勝ち
佐藤勇夫 引分け 江口・東京
石倉貞幸 引分け 芳賀・茨城
井出昌明 引分け 石川・東京
上西・福井 大外 櫻井 弘
田島隆雄 引分け久保田・静岡
兵藤・愛媛 大外刈 彦坂信行
堀野・山形 不戦勝 樺沢光雄
上原・東京 送懸絞 角田長司
新井礼太郎 大外 武藤・東京
鈴木・埼玉 合技 柴崎洋行
土井田・福岡 釣込腰 佐々木庄
市原・埼玉 玉づばの返 武井義典
小竹恒夫 引分け 平川・東京
平岡・長野 横四方固 関久一
藤森・長野 内股 加藤嘉美
征矢・長野 優勝 安部正市

○中島・東京 体落し 島田教雄
○大島・千葉 送足 田中武
三橋佑吉 引分け 広井・新潟
進藤文雄 優勝 木村・茨城
○運見・埼玉 大外刈 小杉茂夫
神宮七郎 引分け 駒形・茨城

▽六段の部
○金谷・東京 優勝 鈴木元一
今井孝造 引分け 観崎・福井
中島淳吉 引分け 武山・愛知
○行友・広島 不戦勝 高山明
○石口・愛媛 不戦勝 荒井國義
○森本・静岡 不戦勝 近藤文雄
○須藤次男 不戦勝 藤原・神奈
松本大九郎 引分け高下・石川
佐藤準太郎 引分け津田・山梨
○北爪降雄 合技 金子・長野
○千葉・東京 合技 関口孝義
○新倉・東京 内股 光山武嘉
○松島一郎 不戦勝 齊藤・神奈
○角田・東京 横四方新井共代治
○住吉・熊本 合技 柴崎松太郎
○丹羽文雄 巴技 高橋・東京

農大三高 代表戦で勝つ

個人は金谷・山田・平賀



代表戦で原・福田を体落して攻める

昭和四十七年の群馬県高校柔道選手権大会は六月十八日、五日の両日県武道館で開かれた。道大会選手権は六月十八日、五日の両日県武道館で開かれた。八日の団体戦には四校が参加し、二日目の個人戦には二七選手が出場した。団体戦においては前商、富岡の関東大会出場がみは早くに姿を消し、太田工業が健闘しよく三位に食いこんだ。

優勝は子息通り農大三高が勝ち残ったが内容は一重で準決勝では利根商と一対一で代表まで戦い、決勝では高商と一対一の代表戦で農大三高が福田を体落しの技で得意で代表の座をつかんだ。個人では金谷(沼田)・山田(利根商)・平賀(利根商)が順当に優勝した。農大三高と個人の各級代表は八月二、三、四日に中城城

▽団体戦 準々決勝 上段が勝ち
農大三 5-0 桐工
利根商 3-1 勢多農
太田工 2-1 沼田
高商 3-0 渋川
準決勝
農大三 1-1 利根商
第一代表で勝つ
高商 4-1 太田工
決勝
農大三 1-1 高商
代表戦で勝つ

▽個人戦 上段が勝ち
重賞級
金谷(沼田) 抱え投げ 藤原・農二
山田(利根商) 平賀(利根商) 抱え投げ 藤原・農二
植倉(前商) 優勝 藤原・農二



右から金谷・山田・平賀選手

金谷・丸山一連勝を飾る

高校学年別 個人選手権

県高体連主催の県下高校学年別個人選手権大会は五月二日に県武道館で開催。本年の特徴は上位に勝ち残った者は一年は大型選手が多く、二年は二位の斎藤選手を除いてみな小型選手だった。

年々選手の体位は向上して行くが今年ほどその傾向がめだつて珍しくなく、百キロを超えると思われる選手も数人いた。一年の部で優勝した堀江は長身で伸び伸びした技をかけ内股を得意としていたが先行き楽しんである。

年の部の優勝の丸山は六五キロの小柄だが百キロの斎藤選手に堂々判定勝ちをとり、昨年に続いて、

運勝したのは立派である。三年の優勝の金谷は一回戦から決勝まで全部一本勝ちで抜群の強みを見せている。二〇キロの大兵に似ず俊敏な内股・跳腰を見せ、これも昨年に続いて二連勝した。

上段が勝ち

○一年の部 準々決勝
松井 優勝 高橋
(前商)

○二年の部 準々決勝
堀江 送り絞絞め 田中
(利根商)

○三年の部 準々決勝
丸山 優勝 斎藤
金谷 優勝 木戸
(太工)

○四年の部 準々決勝
金谷 優勝 木戸
(沼田)

○五年の部 準々決勝
金谷 優勝 木戸
(沼田)

○六年の部 準々決勝
金谷 優勝 木戸
(沼田)

○七年の部 準々決勝
金谷 優勝 木戸
(沼田)

○八年の部 準々決勝
金谷 優勝 木戸
(沼田)

○九年の部 準々決勝
金谷 優勝 木戸
(沼田)

○十年の部 準々決勝
金谷 優勝 木戸
(沼田)

右から金谷・丸山堀江選手

私と柔道

天覧試合の代表選手に

問庭美治



私は明治四十五年十九才の時、子爵重光先生の塾生となりました。午前中は接骨術見習い、午後は柔道の稽古で二年六月修業中業父の病のため帰宅し、まもなく亡く受けました。週に三日稽古を始めた。農大三は休みのなくなり、大正五年自宅にて武徳会群馬支部の稽古が四・九柔道場を建設、指導を始めました。大正七年紅白試合に六人抜いて抜く。大正八年四月、大正十三年四月に進み、昭和四年五月天皇御即位記念武道天覧試合に本県代表選手として出場、試合中もつれて共倒れして右肩を突き肩関節脱臼にて不幸にも試合続行不能にて負傷負けとなりました。大正三年より級制度が出来まして無級から一級までありました。大正三年四月武徳会群馬支部大会に私は一級で高段試合に出場しました。幸い高段で本部より賞状に短刀一振り受賞しました。昭和七年五月五段に昇段しました。昭和九年武徳会本部より教士の称号を授けられました。昭和十七年四月本県出身の柔道と整復師田録もないので雑然と記しました。

●田島行一氏 副会長に追任
●新設広報部は 新井・柳谷氏

群馬県柔道連盟は三月二十六日に群馬県接骨師会館において総会を開催したが席上会則の一部を更し、従来一名であった副会長を二名にし、また従来の五部(庶務部、会計部、審判部、指導部、普及部)に新たに広報部を加えることにした。

新役員は次の通り
副会長 田島行一 六九才
前橋市東町 接骨師
広報部長 新井礼太郎 三五才
勢多農林高校教諭
広報副部長 柳谷勝之 三四才
前橋市文京町 接骨師

大小宴会に、商談及び御宿泊もどうぞ

菊 家 割 烹 有 限 公 司
小林正雄
太田市浜町20-1 電話2567番

パン・洋菓子・学校給食指定工場

尾島製菓有限会社
代表取締役 大塩照三郎
新田郡尾島町大字前島71-1
TEL 02765-2-0922
" 2-2288

こんにちは!! 弘道館

嘉納師範の命名

多くの人材を育てる

弘道館の歴史は群馬県スポーツセンターにある同氏の顕徳碑の裏面の碑文により紹介しよう。

弘道館の歴史は群馬県スポーツセンターにある同氏の顕徳碑の裏面の碑文により紹介しよう。

弘道館の歴史は群馬県スポーツセンターにある同氏の顕徳碑の裏面の碑文により紹介しよう。

桐生少年団 講道館を訪問



桐生少年団桐生第一分団(桐生道士館)は、清水芳雄支部長、鈴木忠忠団長以下約六十名で、去る六月四日、講道館見学を行った。講道館の厚意により、女子部道場を借りて約一時間半、元氣一杯講道習熟の上で汗を流した。又、一般青年部の稽古を行う大道場を見学し、嘉納治五郎先生の銅像の前で記念撮影を行った。その他、帰途には東京タワー及び羽田空港でジャンボ機の飛び立つのを見学し大喜びで帰朝した。



桐生少年団桐生第一分団(桐生道士館)のメンバーと指導者たち。

びっくりする柔道熱

＝マレーシアを指導して＝

岩木昭太郎

セラングールジュウドウクラブで生徒約一〇〇名、月曜日から土曜日まで毎日一時間半の練習です。マレーシアは国際柔道に加盟していませんので事務局長である武蔵さんという中国人とわれわれで昇段の推せんをすることができました。

現在、現役の有段者は二段が最高で最近かなり有段者もふえています。各州大会は毎年一回行なわれます。これは日本の団体と同じで二年に一度シニアゲーム(シンガポール、タイ、ラオス、ベトナム、ビルマ、マレーシア)



小生、日本青年海外協力隊の一員として昭和四五年三月二日に出発し、昭和四七年三月二日現在まで柔道指導中である。四月十日で柔道指導中である。四月十日で柔道指導中である。

マレーシアは柔道のそばで一年中夏の間(日本の夏と似たような気候)なので初めは柔道衣を着ただけで汗がだらだらと、これで二年間指導ができたのかと自分を疑ったくらいです。全マレーシア人口が東京とは同じで十三州から成り立っています。マレーシアではどこへ行っても日本人と見ると柔道を教えてくれと言われるほど柔道熱の高い国です。反面指導者がいないということです。各州には必ず道場があり、毎日練習に励んでおります。中でも大きいのは首都クアラルンプールの

暑中御見舞

衆議院議員
久保田円次

自宅 伊勢崎市宗高町127
電 0270 (25) 0201・0420

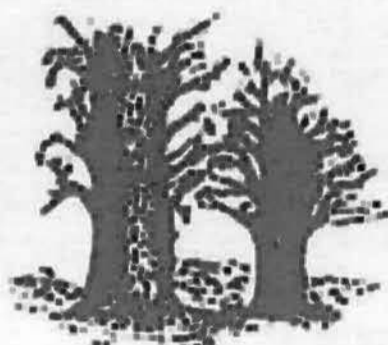
柔界消息

昭和四十七年度群馬県公立学校教員の人事移動により次の各氏が転勤した。

今井孝造・高崎高校→富岡高校
江原隆起・沼田高校→高崎高校
木村善良・富岡高校→沼田高校
勢多支部長の後任者は北爪隆雄氏に決定

編集後記

四号は多分から記事を読んだいて全部を載せるのに苦労をして、うれしい悲鳴をあげた。今号からは「私と柔道」のほかにシリーズものとして「こんにちは弘道館」を連載することにしました。地区別に訪問する予定である。おおたの二期待をこころ。



内科・外科・整形外科

鶴谷病院

佐波郡境町大字百々 421
TEL 4-0670

福島病院

(伊勢崎)

伊勢崎市大手町18-10
電0270 (25) 3456

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

ぐんま柔道

嘉納師範道訓
 柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦を練り出すこと、身体精神を鍛錬し、道徳の神髄を体得することである。そして是によって己を涵養するが柔道修業の究竟の目的である。

国体選手決まる

軽量三階級は昨年どおり

昭和四十七年の国体選手選考試合は八月二日に県武道館で開かれた。高校の部は七月一六日に行われた第一次選考の結果残った八人でさらに二次選考を行ない、上位五人が代表の座をつかんだ。常勝金谷は精彩なく、決勝戦で二年の齋藤にすかさず「技あり」をとられ、二位に甘んじた。前商三年の柏倉は地力を持ちながら七位に落ち、代って二年の千明がくじ運に恵まれて三位にはいった。一般の部は年々予選出場者がふえる傾向にある。今年は軽量級八人、軽中量級一人、中量級九人、重量級九人の合計三五人が出場した。代表選手は、軽量級の糸井、軽中量級の周東、中量級の石沢は昨年どおりで、この三人の王座は当分続きそう。重量級では昨年一位の大藤が優勝、二位には二年間マレーシアを指導して帰ったばかりの岩本が繰り出し、重量級と無差別級を大差と分けあつた。

教員の部は七月二日に予選を行なった。教員は国体に教員の部が設けられたばかりの昭和四十四、五五年には予選が行なわれたが以後は人材に乏しく、五人の選手団を組むのに苦慮したが、この数年は選手もいれかわり、新人が多くなつてきたため今年から予選を開くことのできるようになった。高校の部と教員の部は、八月六、七日に関東プロテクト予選が行なわれ、高校は上位五チーム、教員は、チームが関東代表として、本大会に参加することができる。一般の部
予選リーグ(上から勝率順)
軽量級
一組 糸井、富沢、相馬
二組 茂木、角田、成田



上段 岩木、鈴木監督、糸井各選手 一般の部 下段右から石沢、大藤、周東

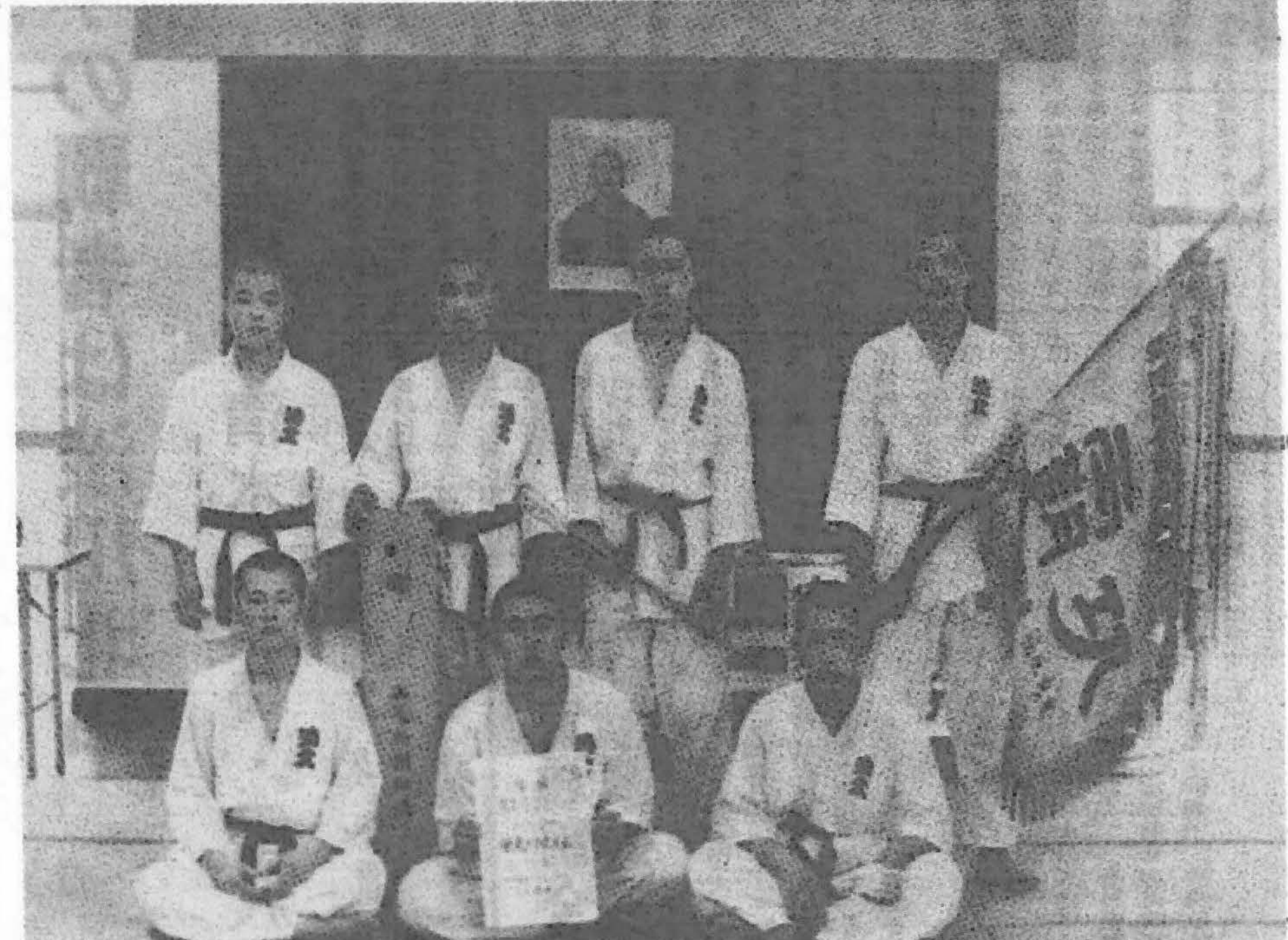


高校の部 右から齋藤、金谷、千明、高橋、原の各選手

- ▽ 軽中量級
 - 一組 周東、北沢、渡部
 - 二組 大島、永幹、桃川、田中
 - 三組 井上、佐藤、佐藤、相馬
- ▽ 中量級
 - 一組 村尾、原沢、越塚
 - 二組 福田、三浦、古城
 - 三組 石沢、深代、高橋
- ▽ 重量級
 - 一組 岩本、佐藤、高岸
 - 二組 大藤、新井と市川は同率二位
 - 三組 宮原、大竹、大河
- ▽ 決勝リーグ成績
 - 一位 糸井 二段(県警機)
 - 二位 富沢
 - 三位 高橋
- ▽ 軽中量級
 - 一位 周東 正三段(県警機)
 - 二位 井上、三位 大島
 - 中量級
 - 一位 石沢 一段(沼田)
 - 二位 福田、三位 村尾
 - 重量級(無差別を除く)
 - 一位 大藤 忠昭 三段(県警機)
 - 二位 岩本 昭太郎 二段()
 - 三位 宮原
- ▽ 高校の部(全員初段)
 - 一位 齋藤 利明 農大、三年
 - 二位 金谷 雅男 沼田、二年
 - 三位 千明 正樹 前商、二年
 - 四位 高橋 敏、高商、二年
 - 五位 原 栄一郎 農大、三年
 - 六位 木村 勝三 利根商、三年
 - 七位 柏倉 保夫 前商、三年
 - 八位 広瀬 清夫 太田工、二年
- ▽ 教員の部
 - 佐藤 勇夫 五段、利根商、予選
 - 江原 隆起 五段、高々、なし
 - 一位 藤田 正明 四段、樹徳高
 - 二位 中島 寛夫 四段、上武一高
 - 三位 碓井 良、下段、仁田東中

渋川北中大活躍

全国大会で第五位



健闘した渋川北中のメンバー

第三回全国中学校柔道大会は八月十五日、講道館において全国代表四八校が参加して盛大に開催された。県代表予選において洗練した試合運びでゆうゆう県代表になった渋川北中は、全国大会でも大奮闘し、みごと準決勝に進出した。準決勝戦では大会の優勝校、第一回以来連続三回優勝の強豪熊本県藤岡中学と対戦し、三対〇で惜敗した。

▽ 予選リーグ
 渋川北中 3-1 諸富中・佐賀
 " 2-1 射北中・富山

▽ 決勝トーナメント
 一回戦
 渋川北中 3-1 磯崎中・京都
 準々決勝戦
 渋川北中 0-3 藤岡中・熊本
 1 田中 理 引分 2 原口 謙一
 1 茂原 健一 引分 2 鶴田 三三男
 1 岡崎 引分 1 前崎 宏明
 1 加藤 順一 背負技有 1 石塚 正治
 1 岸 相男 内また 2 山下 裕樹

館林市体育協会

会長 岩上 泰治
 副会長 木村 純夫
 " 渡辺 利三郎
 " 谷田部 光太郎
 常務理事 河内 隼一
 柔道部長 松島 一郎

お菓子と喫茶とお食事の店

(株) 荒木屋

須田 信夫

沼田市上之町 840 TEL 本 店(2) 2034
 売 店(2) 4665
 レストラン(3) 2370

高校は関東で二位 教員は三位

国体関東ブロック予選

昭和四七年の国体関東ブロック予選は八月二六、七日に栃木県立体育館において開催された。高校の部は東京を除き山梨をいれた七県リーグで上位五県、教員の部は東京も加えて一部七県で優勝チームのみが代表権を得る。昨年は大活躍で高校が優勝、教員が二位になった。今年も高校は平均九〇キロを越す大形チームで昨年の優勝に力を得て奮闘したが惜しくも優勝を千葉にゆずり二位に甘んじた。教員の部は今年も久しぶりにお子選を行ない、すつかり若返り新進気鋭で臨んだが、さらに若手をそろえた茨城県に準決勝で対戦し三対二で敗れた。決勝

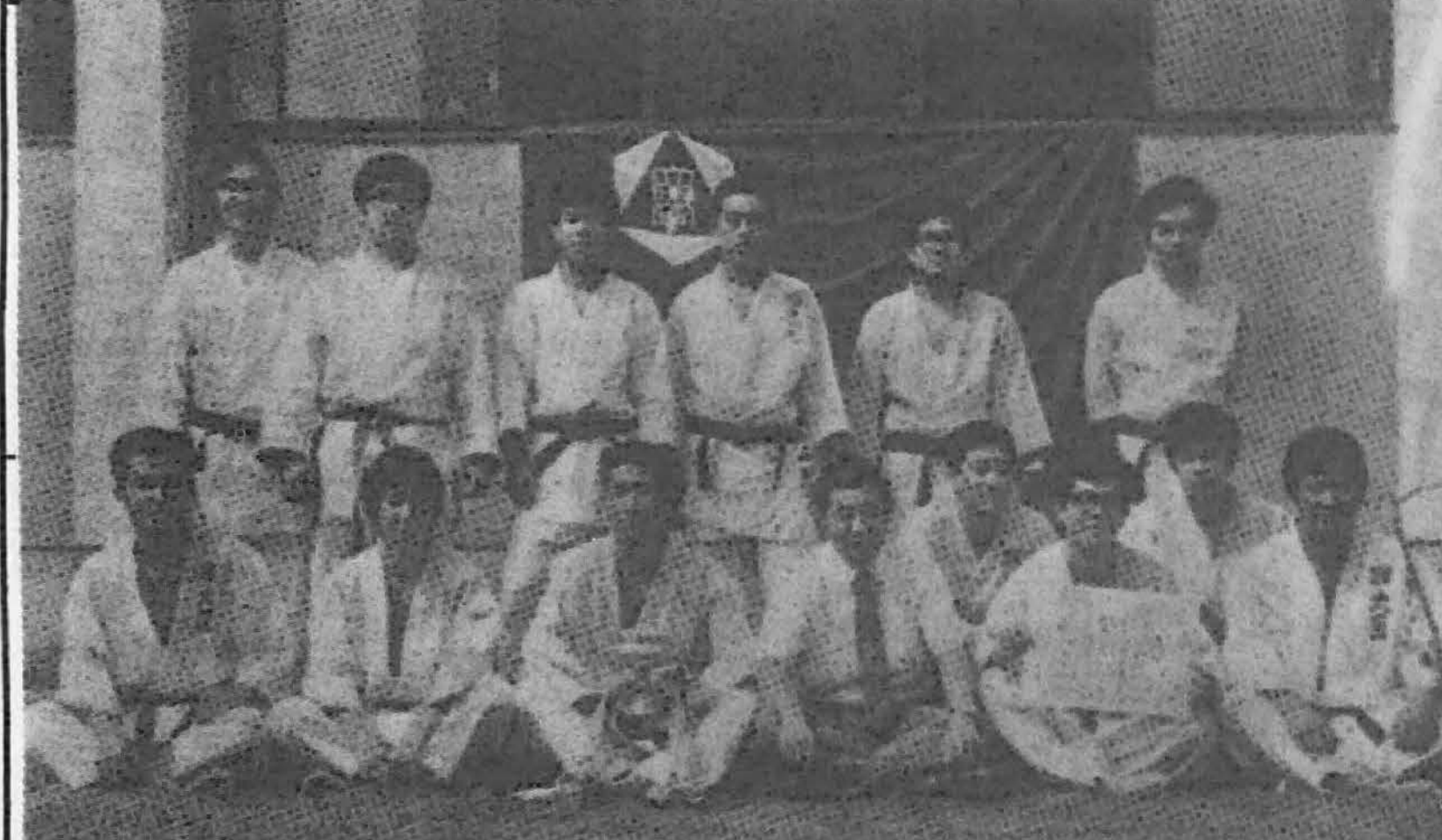
	千葉	山梨	群馬	神奈川	埼玉	茨城	栃木
千葉	△	△	△	△	△	△	△
山梨	⑤	△	△	△	△	△	△
群馬	④	△	△	△	△	△	△
神奈川	①	△	△	△	△	△	△
埼玉	②	△	△	△	△	△	△
茨城	③	△	△	△	△	△	△
栃木	③	△	△	△	△	△	△
勝率	5	0	4	2	3	3	1
得点	18	1	13	10	13	10	7
順位	1	7	2	5	3	4	6

群大初優勝なる

関東甲信越大学大会

関東甲信越大学体育大会は八月八、九、十日の三日間新潟県立教育体育館で開催された。この大会は関東甲信越地区の公立大学の大会で群大は過去に二位になったことはあるが優勝は初めて。水泳、高球、鬼形らが善戦して初優勝を飾った。個人戦でもこれらの選手が上位に入賞した。

- 個人戦
- 群大 ④ 1 千葉大
 - 群大 ⑥ 0 宇大
 - 群大 ② 1 山梨大
 - 群大 ② 2 信州大
 - 準決勝 ② 0 茨城大
 - 決勝戦 ① 1 信州大
- 第一部
- 二位 高屋誠章
 - 三位 鬼形実
 - 三位 水泳 敏明
 - 三位 浜田昭三
- 第二部 (団体戦不出場者)
- 優勝 小川正行



第7回県中学総体

中学の覇者は渋川北中

県教委、県中体連主催の第七回の県下中学校総体大会は八月二、三日に沼津市の観音堂に於いて県武道館で盛大に開催された。各都市予選を勝ちすすんだ代表が団体戦に二チーム、個人戦に二六人参加し、各校の応援も観望席にあふれるほど集まり、實りい、声とどろく異様な熱気の中で熱戦をくりひろげた。毎年のことながら中学の大会は応援の数がすさまじく、まったく耳をうるほどである。

初日の団体戦では渋川北中が洗練された試合運びで確実な得点し決勝戦でも三対二と得点差こそ少なかったが内容は危なげなく、堂々と初優勝を飾った。その試合ぶりからは今大会出場校中で抜群の練習量を持っていると思われる。これが最大の勝因であろう。

個人戦

- 一位 渋川・北中
- 二位 高崎・四中
- 三位 利根・利根中
- 三位 北群馬・吉岡中

団体戦

- 一位 清水一彦 高崎・塚沢中
- 二位 吉原成哲 高崎・四中
- 三位 大沢哲夫 北群馬・吉岡中

定通制全国高校大会

第三回定通制全国大会は八月十二日に津波館において開かれた。本県代表は鳥取県に金勝したが強豪岐阜に敗れ、惜しくも決勝トーナメントに勝ち残ることができなかった。

- 群馬 510 鳥取
- 群馬 014 岐阜

本県代表は次の五選手

- 鈴木裕 (前工)、小林康郎 (大間々)、山田徳男 (高商)、大林正文 (桐商)、湯浅敏秋 (高工)

農大二高の健闘及ばず

全国高校柔道大会

第二回全国高校柔道大会は八月二、三、四日の三日間、山形県鶴岡市において全国四十七都道府県代表五十二チームと個人戦参加選手一四四人を集めて開催された。本県からは団体戦に農大二高が参加したが全国の強豪は多く、ことごとく大会の一の強豪で今大会の優勝校と理高と予選リーグで組むという不運もあって予選を勝ち残れなかった。個人戦期待の金谷も予選で敗れ決勝トーナメントに進めなかった。

団体戦 予選リーグ

- 農大二高 1-3 天理高・奈良



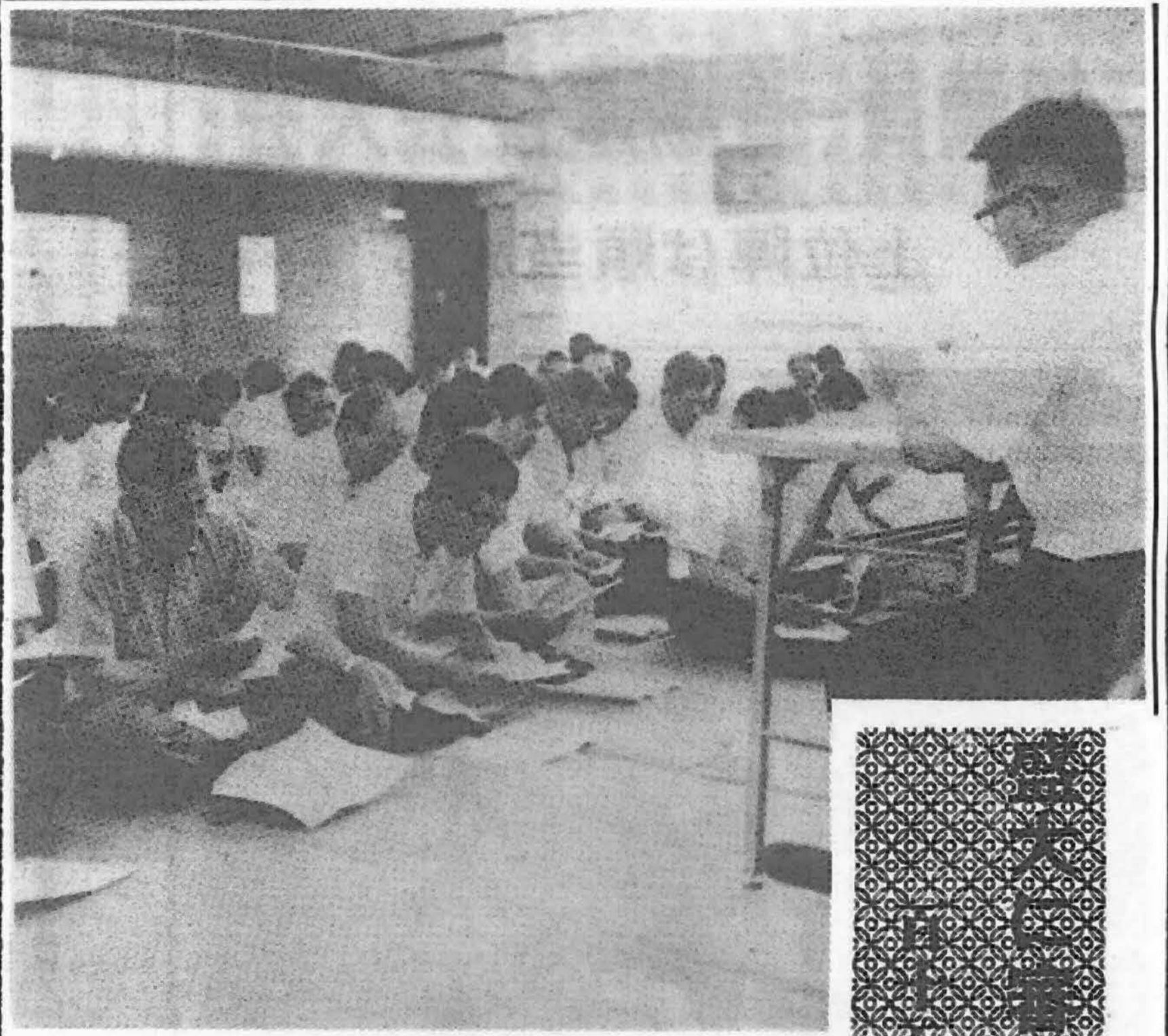
井浦接骨院

柔道整復師 井浦康彦

利根郡月夜野町
電話027862 (月夜野) - 6048

邑楽館林柔道連盟

会長	正田文男
副会長	関口啓次
指導部長	中里伍一
"	松島一郎
"	原口市



柔道部員と指導者ら

本連盟主催の審判講習会は七月九日に県武道館で開かれた。現審判法は昭和四十三年に改定されたものだが、その後講習を受ける機会がなかった者や新たに昇段し審判をすることになった人たちのあいだから希望があり、指導部長の大林有徳氏を中心に指導部の中島淳吉、関口清、佐々木庄二郎氏と強化委員長の鈴木元一氏の五氏が講師となって行われた。久びきの講習会で受講者の段位を制限しなかったこともあって全県下から百一十五名が参加し、まると日熱心に受講した。

桜井道場二度めの全国優勝

全国少年武道練成大会

田島道場は第三位

第四回全日本少年武道練成大会柔道の部は七月二十九日午前九時から東京、日本武道館で開催された。二回戦は小学生の部と中学生の部に分け、小学生の部は福岡、秋田等全国各地から百二十四チームが参加した。これを四会場に分け、それぞれの会場ごとに優勝争いが行われたが第五会場に出場した桜井道場は好調に勝ち抜き決勝戦で東京井上道場を四対一の大差で破り、一回について二度目の全国優勝を飾った。昨年中学生部の三位になった田島道場(前橋)は今年も小学生の部第七会場での三位になり敢闘賞を受賞した。中学生の部に出場した前橋富沢道場も五位に入賞した。



左から荒川、内田、清水、高橋、木村の各選手

大盛況 暑中稽古!

皆出席者は26人

県柔道連盟主催の暑中稽古は八月十四日から十九日までの六日間、前橋市の県武道館で行われた。昨年の男女少年部、少年部、一般と分け、女子部と少年部は午後六時から七時まで、一般の部は午後七時から九時までの練習時間とした。今年も指定選手団が発足し、中学生の指定選手も決定したので参加者も多く、遠く沼田、高岡、桐生

からも練習には参加し、多い日には百名にも及ぶことがあった。練習内容は乱取りのほか女子部は柔の形、一般は投げの形、高段者には備前の形の練習が行われた。十七日には指定選手団の結団式が行われ、連盟の大井指導部長から一人ひとりにマーカーが手渡された。今年の皆出席者は次の二十六名で十九日に連盟の山岸副

理事長から皆勤賞を渡された。丹羽文雄、佐藤幸次郎、北爪隆雄、鈴木元一、宮沢勲、新井礼次郎、北沢広司、中村風昭、大島克巳、大藤忠昭、松本邦夫、高橋敬二、千明正樹、大崎良一、井上晃水島明、大沢哲、大沢均、小川高則、藤井俊英、宮沢文彦、宮沢孝之、鈴木大輔、鈴木順也、新井知

せたことや、関口先生のお伴をして巡査派出所や武道館の武徳殿で代稽古をしたことも懐かしい思い出である。

二、東京高師時代 大正九年、五月の紅白試合で七人抜き即日二段となり、翌年三段となる。当時高師の柔道部指導者は、嘉納師範をはじめ水岡秀一、村上邦夫、桜庭武、金田彦一の諸先生、先輩には岡部平太、飯岡高等の諸氏、上級生には橋本正次郎、工藤三三等の諸氏が名人大家が活躍するのように入居並ぶ黄金時代であった。それだけに稽古も厳しく、落伍者も少なくなかった。同十一年柔道界刷新の意図から高師柔道部が中心となり、東大柔道部の協

同部大先輩を中心に講義柔道部の同志相計り、講義館に試合を申しこんだが残念ながら辞退されたので警視庁に申しこむ。これも辞退されたので三転して学生連盟に申しこんだところ快諾されたので

私と柔道

伊藤頭道

一、弘道館時代 私は少年時代に強い人間になりたいという素朴な考えから弘道館入門、館長関口孝五郎先生から直接懇切な指導を受けることになった。翌五年群馬師範に入学、こゝでも関口先生のご指導を仰いだ。ただ、上級生で私を蹴ってくる実力者がいなくなったことは不幸なことであった。同七年講義館入門、翌八年講義館紅白試合で六人抜き即日初段となったが、当時中学校の生徒で有段者は全国的にも稀少であった。その後、弘道館に時折道場破りが去来、これを退散させたいと、右背負い投げで連勝四、五本とったことがあるが不可解な

力を得て段位進級運動を起す。同志二、三人で組んで白帯で講義館に乗り込み、顔の知られていない地方の高段者を次々に投げ倒したのもその頃のことだ。今にして反省すると汗顔の極みである。最上級であったが講義館から招聘され、朝野経由で満州大陸に約一カ月の武者修業に出た。これが学生軍大陸遠征の軍分けとなる。同十三年講義館の暑中稽古で当時唯一の実力者、徳三軍先鋒に稽古を願ひ、右背負い投げで連勝四、五本とったことがあるが不可解な

と相闘りその統一の実現に精力を注いで来た。かくして群馬県柔道連盟が誕生した。四、参議院議員時代 昭和三年各方面から推されて参院選挙に立候補初当選、爾来四年七月まで二期二年間の振興に精力を尽した。(一) 参議の国会議員柔道連盟を結成して常任監事となる。(二) 三九年東京オリンピックでは当初柔道の試合は水泳場のプールで行なうという国技道を重視した計画であった。幸い、当時私はオリンピック特別委員であったので、国会の場でこの計画に強く反対し、独立した柔道場の建設を同志と共に強力に要求してきた結果、好余曲折を経て柔道の大敵

株式会社 石沢商店

石沢頼之助

群馬県沼田市1024番地
電話(02782) 2237番

貴方の愛車の相談役に

モータール石油株式会社
住友ゴム工業株式会社 代理店
大成火災海上保険株式会社
各種自動車整備・駐車場経営

株式会社 正田卯平商店

代表取締役 正田文男

館林市本町3丁目1-7
02767-2-2216代

こんにちは!! 湯浅道場

率先垂範「精力善用・自他共栄」

今回は高崎市柳川町の湯浅道場におたすねした。田高崎城北門に於ける。師範は現群馬県柔道連盟副会長の湯浅林太郎八段。今年十一月の高校である。

昭和十七年七月に道場開きをこころから、今年でちょうど満二十五年になる。この間門下生は二千五百名を超える。この中から多くの名選手が輩出した。宮川支部長、大林県指導部長は本道場の重鎮として大活躍し、市川三郎は現役選手として大活躍し、今年も高校の部で原部一郎初段が団体選手に選出された。昭和十九年、三十年高校の部で二年連続団体出場をした金井孝四君は日本卒業後西ドイツで二年間柔道教師として生活した。湯浅先生が会長をつとめる群馬県柔道連盟の大会も年々盛んになり、今年も十九回、参加者も五百名を超えた。この大会でも毎年上位入賞者を輩出している。小学二年の四方田君は昨年優勝した。

勝て今年も二位、中学三年の部の高橋君は昨年引退したが今年も二位、共に将来が楽しみである。湯浅師範は大正十四、五年に神宮大会(現在の国民体育大会)に県代表として出場、講道館の紅白試合にも五段まで出場していた。五十代の七段当時には高段者大会にも五回出場した。したがって五十代の頃は二、三段の現役と格古するにあまり苦労はなかった。右腕、支釣込み足に力をつけて、大活躍し、今年も高校の部で原部一郎初段が団体選手に選出された。昭和十九年、三十年高校の部で二年連続団体出場をした金井孝四君は日本卒業後西ドイツで二年間柔道教師として生活した。湯浅先生が会長をつとめる群馬県柔道連盟の大会も年々盛んになり、今年も十九回、参加者も五百名を超えた。この大会でも毎年上位入賞者を輩出している。小学二年の四方田君は昨年優勝した。

超満員 道場連合会大会

上位陣は順当勝ち



群馬県柔道連合会、群馬県柔道少年団主催の第一九回柔道大会は九月二十日正午より、県武道館で行われた。県内一四の町道場の選手が五、二百人参加し、さしもの広い道場も超満員。小学生も参加するとあって家族ぐるみの応援で観戦もあふれるほど。会場はたいへん熱気につつまれた。

試合に先だって開会式では大沢晋夫選手(吉岡少年団)が全日本柔道少年団の綱領を読みあげ、特別選手(栄崎道場)が全参加者を代表して選手宣誓をした。またこの日は全日本柔道少年団の和田礼義事務局長、飯田憲二常任理事もご出席になり、終始熱心に観覧された。

試合は少年部は小学二年から中学三年までで学年別に、一般部は初段から三段までが段別で行な



結果は中学三年の部で清水が八月の県中総体に続いては九月、〇日正午より、県武道館で行われた。一般の初段では原が高校の選手で、二、三段の部では今年東北柔道を卒業した大沢が元氣なところを見せた。三段の部は中級級の団体選手周東が村尾を延長戦で出足払いのポイントで降した。

- ▽小学二年の部
- 一位 村田昌幸(前橋・田島)
 - 二位 倉沢伸二(桐生・石原)
 - 三位 志田 登(高崎・桜井)
 - 四位 齋藤 賢(高崎・桜井)
- ▽小学三年の部
- 一位 藤本俊幸(桐生道士館)
 - 二位 四方田勉(高崎・湯浅)
 - 三位 岡田 茂(高崎・桜井)
 - 四位 山田一秀(前橋・富沢)

- ▽小学四年の部
- 一位 狩野真司(渋川・柴崎)
 - 二位 土屋 敦(富岡・新井)
 - 三位 佐藤美樹(桐生道士館)
 - 四位 寺田勝義(前橋・富沢)
- ▽小学五年の部
- 一位 岸 健治(前橋・田島)
 - 二位 本田博之(高崎・湯浅)
 - 三位 長沼昭彦(高崎・桜井)
 - 四位 高野敏雄(渋川・関)
- ▽小学六年の部
- 一位 吉田直樹(前橋・田島)
 - 二位 狩野 学(渋川・柴崎)
 - 三位 荒川 修(高崎・桜井)
 - 四位 内田憲宏(高崎・桜井)
- ▽中学校一年の部
- 一位 大淵康法(中之条関口)
 - 二位 小平孝正()
 - 三位 住吉昌次(前橋・永井)
 - 四位 小久保勇次(北群・吉岡)
- ▽中学校二年の部
- 一位 五十嵐正(北群・吉岡)
 - 二位 田子義信()

指定選手一部いれかえ

第四号「ぐんま柔道」で発表された指定選手のうち、本人のつこうで辞退したり、その後の試合成績で追加した者が一部をいれかえた。

教員の部、今泉八彦氏に代えて 磯井良一、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

沼田柔道教室 恒例の講道館夏季稽古

東京としては雲一つない、さわやかな日だった。八月十三日、本年稽古は短時間とは云え汗は流れるごとく出、かなりきつい稽古だったが元氣一ぱい頑張り思い出し出た。稽古は夢にまで見たと云う五百登の背登の上での稽古は短時間とは云え汗は流れるごとく出、かなりきつい稽古だったが元氣一ぱい頑張り思い出し出た。稽古は夢にまで見たと云う五百登の背登の上での稽古は短時間とは云え汗は流れるごとく出、かなりきつい稽古だったが元氣一ぱい頑張り思い出し出た。

- ▽初段の部
- 一位 原部一郎(高崎・湯浅)
 - 二位 柏倉保夫(前橋・永井)
 - 三位 亀岡敏弘(前橋・富沢)
 - 四位 堀川和宣(伊勢崎松島)
- ▽二段の部
- 一位 大淵 裕(前橋・富沢)
 - 二位 茂木義行(前橋・田島)
 - 三位 藤 正俊()
 - 四位 岡 知巳()
- ▽三段の部
- 一位 周東正夫(前橋・田島)
 - 二位 村尾則行(渋川行道館)
 - 三位 佐藤 隆(富岡・新井)
 - 四位 市川正人(高崎・湯浅)

沼田東が優勝 県下スポーツ少年団大会

群馬県、同教委主催の県下スポーツ少年団大会は八月二十日、県武道館で開かれた。

男子一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

石原得重氏 おくやみ

群馬県柔道連盟理事 七段 八月六日、県立前橋病院でガンのため死去。

大正十一年群馬県師範学校卒業、大正十五年県立桐生中学校教諭、昭和九年、群馬県師範学校教諭、昭和十五年柔道場「知道館」及び「接骨院」開設。

著書「小学校柔道指導指針」明治三十三年五月十七日生七二才、桐生市錦町一丁目三六一

編集後記

八月から群馬連広報部につぎの二名が退任され、「ぐんま柔道」も担当することになった。

石井清一 群馬高校講師 33才
半達祥治 高崎市接骨師 34才

邑楽郡体育振興会

会長 岩瀬清平

副会長 田嶋武治

事務局長 岩瀬弥市

柔道部長 金井加市

小島森次

製氷・蒟蒻・食堂

野村商店

有限会社 代表 野村秀夫

沼田市下の町872番地 電2-2375・3-3151

発行所 群馬県柔道連盟
発行人 関口 恒五郎
編集室
前橋市文京町二丁目14-12
柳谷勝之宅
電話 0272-21-5409

ぐんま柔道

嘉納師範遺訓
柔道は心身の力を最も有効に使用する道である...



前橋警察署



大胡警察署

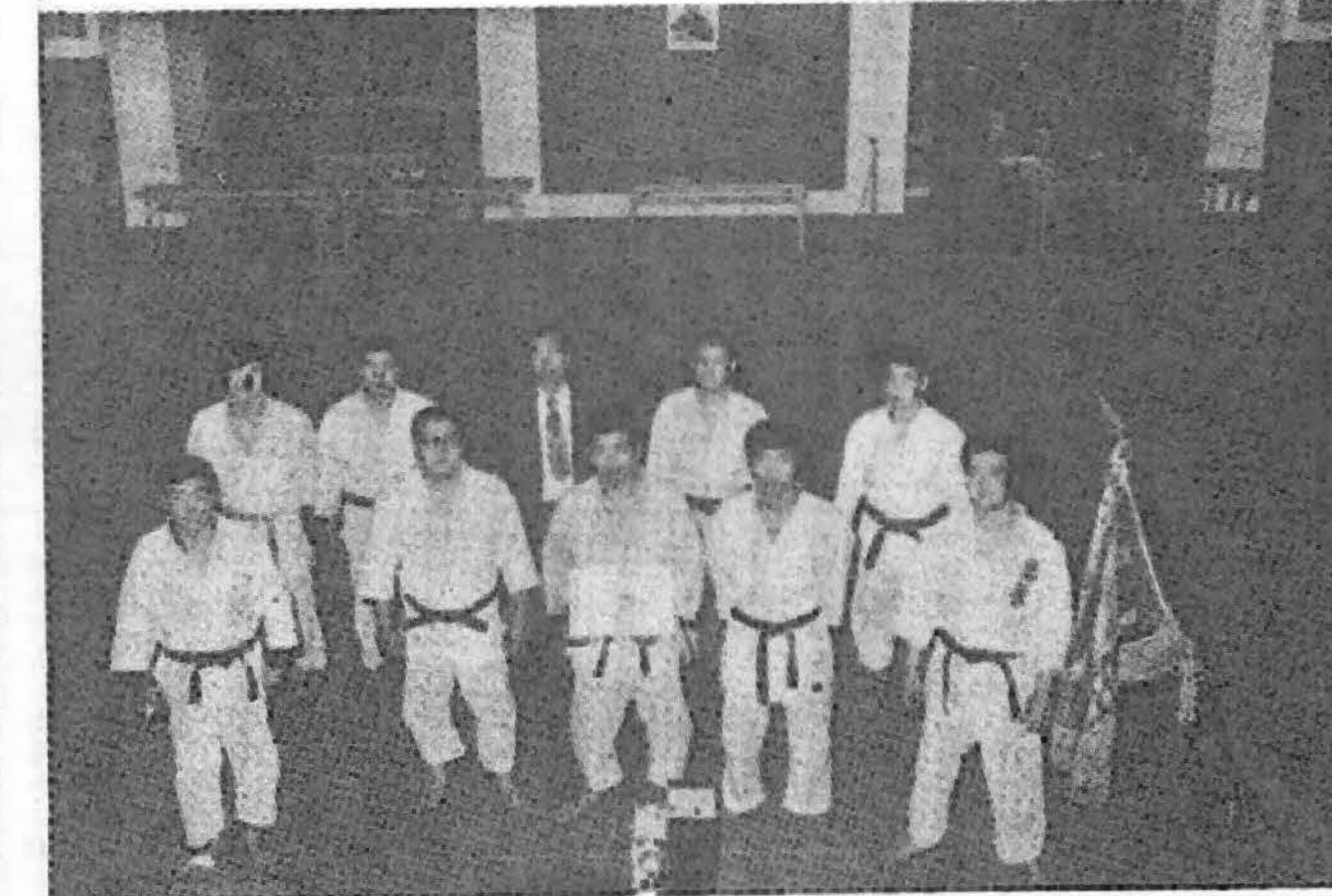
昭和四十七年度県下警察署対抗柔道大会は十月二十一日、県武道館において盛大に開かれた。警察署対抗は、一部で前橋が三連勝、二部では大胡が初優勝した。...

署対抗は前橋・大胡
合同大会は前橋・富岡
警察署対抗
一般警察合同
柔道大会

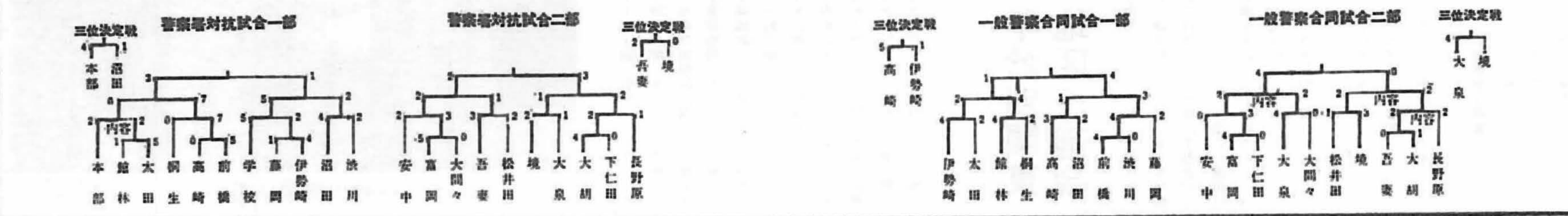
岡三段(警)、永井二段(一般)の全勝獲得が優勝の原動力である。水泳三段も小兵であるが優れた技術の持ち主である。...



富岡チーム



前橋チーム



建築・設計・施工
佐藤産業株式会社
本社 富岡市富岡1769 ☎02746-2-3351(代)
営業所 高崎市本町 136 ☎0273-23-1291・26-3021

群馬県接骨師会
藤岡多野支部
支部長 庭山 喜久男
副支部長 関口 洋五郎

利根郡破竹の九連勝

市の部は高崎 = 第10回県民大会 =

第十回県民体育大会は十一月五日県武道館で、市、二郡の代表選手を集めて行われた。部の部では、高崎が破竹の九連勝を挙げた。市の部では、高崎が破竹の九連勝を挙げた。市の部では、高崎が破竹の九連勝を挙げた。



高崎市チーム

今年、群馬県柔道連盟最重点目標である選手強化のために、指定選手制度を設けた。群馬県柔道連盟強化委員会指定選手団に関する要綱を本年六月一日から発布させ、県連盟としての選手を指定し、毎月二回以上の合同練習日をつくらせ、選手強化を行ってきた。

選手強化委員会
 第三木曜日から午後八時まで、県武道館
 八時まで、県武道館
 二、団体選手を中心とした強化練習
 八月三十一日から十月十二日まで、毎日午前九時から午後四時まで、県武道館
 三、その他特別強化練習
 1 八月十四日から八月十九日まで、毎日午後六時から午後九時まで、県武道館
 4 九月二十六日から九月二十九日まで、毎日午前九時から午後四時まで、県武道館
 5 十月一日午後二時から午後四時まで、沼田高校(柔友会と合同練習)
 など、常時練習とあわせて特別練習会も多く行なう。



一般の部国体選手

鉛 亜 邦 東 亞
 安中製錬所
 常務取締役所長 久保邦彦
 所在地 群馬県安中市宿1443番地
 TEL (0273) 81-0551(代)

二回戦、高崎と対戦した。高崎は先鋒大兵が引分け、頼みの大藤も高崎新井三段にうまにかわされて引分け、最後の岩木に望みを託したが逆に村尾に寝技に引きこまれて敗れた。前橋はどでも得点できなかった。昨年、高崎の岩木が引分けした。昨年、高崎の岩木が引分けした。昨年、高崎の岩木が引分けした。

大会運営の面で大会役員が審判員と競技係しかおらず、トラブルが起きたときの責任の所在がはっきりせず、責任をたすおそれが多かった。今後大会主催者の県教委と柔道競技を主管する県柔道連との間で充分話し合いを遂行していただきたい。



利根郡チーム

第二十七回国民体育大会は十月二十二、四、五日に本州の最南端鹿児島県で行われた。本県からは一般の部と高校の部が参加した。柔道の試合は鹿児島市から約百キロ離れた本県寄りの出水市で行われた。

高校の部は一回戦不戦勝で二回戦に山形県と対戦した。今年の本県選手は五人の平均体重が一〇五キロと巨漢ぞろい。関東予選でも準優勝している。期待されてきたが、二対一で惜しくも敗れた。山形は今年インターハイ開催で強化練習をじゅうぶんしているのがうかがえた。しかし何となくも高校の場合は練習不足がもっとも大きな原因だろう。積極的な攻めがなかった。

新井接骨院・柔道館
 柔道整復師 新井喜代司
 富岡市公園地 電話02746(2)3635

- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎
- 高崎 2-1 高崎

- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田
- 高崎 1-0 沼田

善戦およばず
 第二十七回国民体育大会
 本年度全国警察柔道選手権大会、はじまりは先手、先手と攻めたがやや力の差があり、一分五十八秒、内股で一本。

年齢別関東地区予選会
 十月二十九日(日)午前九時から、講堂において、全日本年齢別柔道選手権関東地区予選会が行われ、本県から出場した選手は成績は次のとおりであった。

- 1千明正樹 引分 1渡辺正勝
- 1原崇一郎 1西島一
- 1斉藤利明 四方園 ①工藤圭司
- ①金谷雅男 ①加藤訓
- 1高橋敏二 弘巻込 ②斉藤芳才
- 一般の部
- 3糸井謙一 内股技有 ③荒木光夫
- 3周東正夫 引分 4松山猛
- 4石沢祥市 合せ技 ④水上直喜
- 4岩本昭太郎 内股 ⑤堀口憲一
- 3大藤忠昭 内股 ⑥坂本昭正

前商王座を奪還

県下高校新人戦

第二回県下高校新人柔道大会は十一月二十六日、県武道館において県下の四十二校の一、二年生を集めて開かれた。今年の優勝候補は農大二高、高商、利根商、前商の四校に選ばれていたが、毎年のことながら新人戦は各校の戦力が正確にはわからず、詳細な予想は立てにくい。農大二高は三回戦で富岡高と対戦、二対二の同点であるが内容差で敗れた。昨年の新人戦で優勝、今年度インターハイ出場の農大二高はこのあとしばらく農大二高時代が続くかと思われたがわずか一年で王座が潰れてしまった。来春の再起を期待する。利根商はよく健闘し利根商に食いついたが大将戦でふりかざされた。中之条は同志あふれた試合態度で高商と接戦し、初の三位以内入賞を思わせたが大将戦の拙戦で二対二の内容差に涙をのんだ。富岡高も昨年、今年とよく上位入賞を確保している。決勝戦は前商と利根商の対戦で、この対戦新人戦、県総体、全国大会予戦とあらゆる大会で過去に何回となく争われた仲だが昨年の新人戦で両者が敗れて以来互いにふるわず決勝進出できずにいて、まる一年ぶりの対戦である。利根商は故障で正選手二人を欠いていたが決勝戦では精彩がなかった。利根商丸山は一年、二年と学年別大会で優勝し、この試合も積極的な好試合をしていて決勝戦の予明に対しては守勢一方であった。千明は二年で国体選手に選ばれたと急に自信をつけたようである。総じて今回の新人戦では各校ともスケールがいちだんと小型化した感じで個人的にも農二の斎藤、前商千明、利根商

- 九山以外にはめだつた選手はいなかった。現在の陣容ではどの学校がインターハイに出場しても予選リーグでの苦戦は免れない。全国的にこの冬のいつその奮起が望まれる。
- 決勝戦
前商 2-1 利根商
千明正樹 引分け 丸山一文
○亀岡敏弘 背負投 山岸一弘
青木計夫 引分け 真下健
○佐藤俊男 内股返し角田能宏
高橋辰夫 合せ技 藤井猛司
▽一、二回戦
太田3-1藤岡 上武3-0勢多
多慶、洪川5-0松井田、利根農3-2桐工、育英2-1武尊、彦根3-1安中、高崎②-2桐生
前工5-0新島、桐商5-0藤工
伊商3-2佐渡農、農二4-0藤前
- ▽三回戦
富岡②-2農大、樹徳3-0洪高、利根農3-1甘楽農、利根商5-0大岡々、前商4-0太工
高工3-1前工、中之条4-0桐商、高商②-2大泉
▽準々決勝
富岡2-0樹徳、利商2-1利根前商3-1高工、高商②-2中条
▽準決勝
利根商2-1富岡
前商 3-1高商



前商チーム

東北柔専に大勝

対東北柔専対抗

年末恒例の対東北柔専対抗試合は十一月十日午後一時から県武道館において行われた。東北柔専は関東各地を歴戦し、群馬県が最終の地でいささか疲れがたかこの日は精彩なく、前半で七対二と大きく水をあげてしまった。県勢は団体選手を中心に奮闘し得点を重ね大勝九点をあげ快勝した。飛騨選手も奮闘したが、欠場者が多く、今年唯一の全国的な対外試合なのにベストメンバーと時おには遅く、高校、一般で十名いる団体選手三名しか出場しなかったのはさみしい。

群馬 9-6 柔専
木村(利) 引分け 西尾
○柏倉(前) 合せ技 酒井
藤崎(一) 横車 真

その前に私は明らかにして置きたいことがある。それは(1)私は柔道を職業とせず健康と趣味に終始したアマチュア修業者であり、柔道の定義が何であろうと利害関係は全然ないこと。(2)修業の時期が講道館柔道の理論、組織、形等が時日と共に順次整備して行く過程と同時であり、詳細無陶を受けたこと。(3)しばしば時の経過を忘れ師範と懇話したり、講演に随行し、時には演技の相手を仰付かったこと。(4)アマチュアの気やすさから専門

その前に私は明らかにして置きたいことがある。それは(1)私は柔道を職業とせず健康と趣味に終始したアマチュア修業者であり、柔道の定義が何であろうと利害関係は全然ないこと。(2)修業の時期が講道館柔道の理論、組織、形等が時日と共に順次整備して行く過程と同時であり、詳細無陶を受けたこと。(3)しばしば時の経過を忘れ師範と懇話したり、講演に随行し、時には演技の相手を仰付かったこと。(4)アマチュアの気やすさから専門

その前に私は明らかにして置きたいことがある。それは(1)私は柔道を職業とせず健康と趣味に終始したアマチュア修業者であり、柔道の定義が何であろうと利害関係は全然ないこと。(2)修業の時期が講道館柔道の理論、組織、形等が時日と共に順次整備して行く過程と同時であり、詳細無陶を受けたこと。(3)しばしば時の経過を忘れ師範と懇話したり、講演に随行し、時には演技の相手を仰付かったこと。(4)アマチュアの気やすさから専門

その前に私は明らかにして置きたいことがある。それは(1)私は柔道を職業とせず健康と趣味に終始したアマチュア修業者であり、柔道の定義が何であろうと利害関係は全然ないこと。(2)修業の時期が講道館柔道の理論、組織、形等が時日と共に順次整備して行く過程と同時であり、詳細無陶を受けたこと。(3)しばしば時の経過を忘れ師範と懇話したり、講演に随行し、時には演技の相手を仰付かったこと。(4)アマチュアの気やすさから専門

柔道の変遷にひと言

「オリンピック参加」

家、学生達と師範との意志疎通の役割を演じたこと。等々から治五郎師範が説かれた処を基として以下述べていくことである。

順序として先づ治五郎師範が説かれた柔道の定義を掲げる。師範は諸君もご承知の通り三段階に柔道の定義を説かれた。

第一段 柔道は柔の道に擬い、攻撃及び防禦の方法を講ずるものである。之は技術の最も優れた特徴を掲げられたものであるが、全部ではない。

第二段 柔道は精力(精神、身体

家、学生達と師範との意志疎通の役割を演じたこと。等々から治五郎師範が説かれた処を基として以下述べていくことである。

順序として先づ治五郎師範が説かれた柔道の定義を掲げる。師範は諸君もご承知の通り三段階に柔道の定義を説かれた。

第一段 柔道は柔の道に擬い、攻撃及び防禦の方法を講ずるものである。之は技術の最も優れた特徴を掲げられたものであるが、全部ではない。

第二段 柔道は精力(精神、身体

家、学生達と師範との意志疎通の役割を演じたこと。等々から治五郎師範が説かれた処を基として以下述べていくことである。

順序として先づ治五郎師範が説かれた柔道の定義を掲げる。師範は諸君もご承知の通り三段階に柔道の定義を説かれた。

第一段 柔道は柔の道に擬い、攻撃及び防禦の方法を講ずるものである。之は技術の最も優れた特徴を掲げられたものであるが、全部ではない。

第二段 柔道は精力(精神、身体

家、学生達と師範との意志疎通の役割を演じたこと。等々から治五郎師範が説かれた処を基として以下述べていくことである。

順序として先づ治五郎師範が説かれた柔道の定義を掲げる。師範は諸君もご承知の通り三段階に柔道の定義を説かれた。

第一段 柔道は柔の道に擬い、攻撃及び防禦の方法を講ずるものである。之は技術の最も優れた特徴を掲げられたものであるが、全部ではない。

第二段 柔道は精力(精神、身体

「スポーツ柔道」と喧伝され、不不誠の裡に柔道は師範が説かれた第二段、即ち勝負の方法を講ずるものと変ぼうしたのである。

治五郎師範は早くかオIOCの日本委員になって居られたが柔道に単なるスポーツでない、「道」であるとしてオリンピックの競技種目に柔道を加えたことを強く否定されたことを知るや知らずや、師範の死後オリンピック競技種目に加えることに努力し、之に成功して歡喜したのである。茲に柔道は手段が本體となつたもので、その

江原時計・メガネ店

藤岡市5丁目 TEL 2-0446

木暮接骨院

柔道整復師 木暮弘元

甘楽郡下仁田町大字下仁田 386-2
電話02748 自宅2-2139・治療室2-4128

こんにちは新井柔道館

戦後柔道の草分け—青少年の気風に活

富岡市の町中心部からややはずれた所、市役所の南、消防署の西側に新井柔道館は建っている。待合室を通り抜けると、まっ白いキャンパスでおおった二十坪の道場が現れている。

新井柔道館が現在地へ移ったのは昭和三十六年だ。それまでは七日市にあった。昭和三十年十月に建てたものである。四十坪のまわりに一間の板場があり、当時としては相当広かった。

戦後、ようやく柔道が解禁された頃、巷に遊戯施設はほとんどなく、若者は日本古来の柔道にとびついた。しかし道場がなく、唯一の練習場が警察にあった。新井館長はここで若者の練習のめんどうをみていた。しかし警察という場所の持つ固苦しさから愛好者の足が遠のき始めた。そこでどうして町道場の必要性を痛感した。当時甘栗、富岡支部の支部長をしていたことであって、故郷原会長

らにすすめられて七日市に前記新井柔道館を建てた。これを契機にこの地区の柔道熱は再燃して近郷近在から集まった愛好者は百名を超えた。小学生、中学生、一般、女子と四つに分けなければ危険なほどだった。富岡高校の全盛期の選手はほとんどがここで練習した。昭和二十七年、八年と団体に出場した小川一、宏兄弟、明治大学へ進んだ田村三兄弟等々いく多の名選手を輩出した。昭和三十六年、接骨院開業とともに現在地に道場も移転した。住居はもとのままでそこから通動しておられる。ここで練習している小学生に聞いてみた。何のために柔道に通っているか。「からだを丈夫にした」「三船十段のように強くなりたい」。答えはさまざまだ。道場の練習状況や館長の指導方針を理解してもらうために必らず親にも一度は見に来てもらうことにしている。親たちは道場へ



富岡市富岡一四六四 館長 新井清代治氏

関東警察柔道大会

九月二十一日(木)、日本武道館において、関東警察柔道大会が行われた。本県警察は、B組一戦に出場し、B組第三位の成績であった。その結果は、

群馬 5-1 新潟
千葉 3-1 群馬
群馬 4-2 栃木

県の選手は、

1 五段 石倉貞幸 (重)
2 四段 岩木昭太郎 (中)
3 三段 町田保則 (中)
4 三段 大藤忠昭 (中)

団体A組優勝は、神奈川県警、B組優勝は千葉県警であった。なお、個人戦は、軽量級に岡東選手、中量級に井上選手、重量級に齊藤文六選手が出場したが、いずれも予選リーグで敗退した。

熊本県に敗退 全国警察柔道大会

昭和四十七年度の全国警察柔道大会は十月十七日に日本武道館で開催された。本県警察は一回戦で優勝候補の筆頭熊本県と対戦、善戦し、二対二であったが内容差で敗れた。優勝は一部(八十二)警視庁、二部(四十四)熊本県警。

群馬 2-1 熊本

3 周東正夫 引分 4 松山 猛
5 深代 弘 引分 5 水上直喜
3 原沢 武 引分 3 北川順一
3 大藤忠昭 すくい投(坂本純正)
④ 町田保則 巴投げ(毛利 登)
4 岩木昭太郎 内股 (堀口憲一)
⑤ 石倉貞幸 優勝 5 高宮忠道

十八選手が奮闘 関東高段者大会

昭和四十七年度関東高段者大会は十月十五日午後一時より新設の川口市立体育武道センターで行われた。関東各県から五段三十名、六段十二名、七段二名が出場申込みをした。この内本県からは五段十四名、六段四名が参加した。

▽ 五段の部
部九一明 はね返金子・神○
井出昌明 大外刈 谷・神○
金田正敏 薬櫃 須谷・神○
堀込征吾 引分け 宮川・神○
樺沢光雄 " 免知・千○
田島敏隆 送標の福田・橋

▽ 六段の部
北爪隆雄 合せ技 清川・神○
内山孝三郎 送足 工藤・茨○
中島淳吉 引分け 湯浅・千○
光山光彦 " 齊藤・山○

大盛況!! 前橋市民大会

高岸・亀岡選手優勝

昭和四十七年度前橋市民スポーツ祭柔道競技は十月十五日群馬県武道館において開催された。試合は幼年の部(小学生)、少年の部(中学生)、高校生の部、一般の部(有段者と無段者に分ける)の五部門でそれぞれ個人戦が行われた。また全市を一中地区、二中地区、三中地区、四中地区と四ブロックに分けての団体戦が行われ、一中地区が優勝した。

個人戦 優勝者のみ

▽ 幼年の部
一、二年 高橋義孝・総社小
三、四年 金子尚人・附属小

▽ 少年の部
五、六年 吉田直樹・城東小
▽ 少年の部
一年 藤井嘉光・六中
二年 磯田修・四中
三年 大沢均・桂葉中

▽ 高校生の部
▽ 一般の部 無段者 前商
▽ 一般の部 有段者 永井道場
▽ 一般の部 有段者 高岸安夫 富沢道場

団体戦 (七人制)

優勝 一中地区
二位 三中地区
三位 四中地区

高崎工業二連覇 県下定期制高校大会

昭和四十七年度県下定期制高校柔道大会は九月二十四日県武道館において開催された。東、北、西、中毛四地区から各二校ずつの代表が参加する予定を、一校棄権のため七校になり、これを二ブロックに分けてリーグ戦を行ない、さらに決勝トーナメントの結果高崎工業と太田高の決勝戦となり高崎工業が昨年に続いて二連覇を飾った。前工の鈴木選手、高工の湯選手等の活躍がめづしかった。

優勝 高崎工業

二位 太田高校
三位 前橋商業

桐生工業

赤城村が優勝 勢多郡民柔道大会

勢多郡民柔道大会は十月十五日赤城村立赤城北中学校体育館で行われた。参加チームは七町村。

一位 赤城村
二位 大胡町
三位 宮城村

甘栗郡が優勝

県青年祭

十月一日県武道館において第十回群馬県青年祭柔道大会が行われた。参加チームは六チーム、成績は次の通り。

一位 甘栗郡
二位 群馬郡
三位 吾妻郡
四位 新田、五位 多野、六位 勢多
甘栗郡チームのメンバー
田村清、井上伸策、藤平芳和、田村孝司、落合晴志

北橋Aチームが優勝

北群馬・渋川・勢多町村対抗

昭和四十七年度北群馬、渋川、勢多町村対抗柔道大会は十一月三日渋川高校柔道場において開催された。この大会は戦前八回、戦後二十回の歴史を持ち、年々盛大になっている。今年は十八チームが参加し順を競ったが結局北橋Aチームが赤城Aチームを破って優勝した。

優勝 北橋A
二位 赤城A
三位 榑東A、予持

本格的に吹く気節になった。道場への足もついでに道場がらであるかぞえあげてみると、今年の本県柔道関係の行事は十二月十日の対東北柔道対抗を最後に三五回に及ぶ。この間各種行事の参加者が漸増しつつある。団体の一般の部も十数年ぶりに予選を行なった。審判講習も中級者も大盛況だった。第六号も何とかなりに持たせようとお手もに配れそうである。編集者四人もみな元気、無事に年を越せそう。ご同慶の至りである。(柳登)

フコク印 醬油

最上

天保三年創業

株式会社 有田屋

社長 湯浅太郎

安中市安中
TEL 0273(81) 0 2 1 2

登録銘菓

寒桜・風の音

三和屋

藤岡市五丁目 電話 2-0003番

新しい素材 新しい可能性

Shinetsu 信越化学 磯部グループ

シリコン 信越化学
半導体 シリコン 信越半導体
添加合金 信越金属
土木建築 信建産業

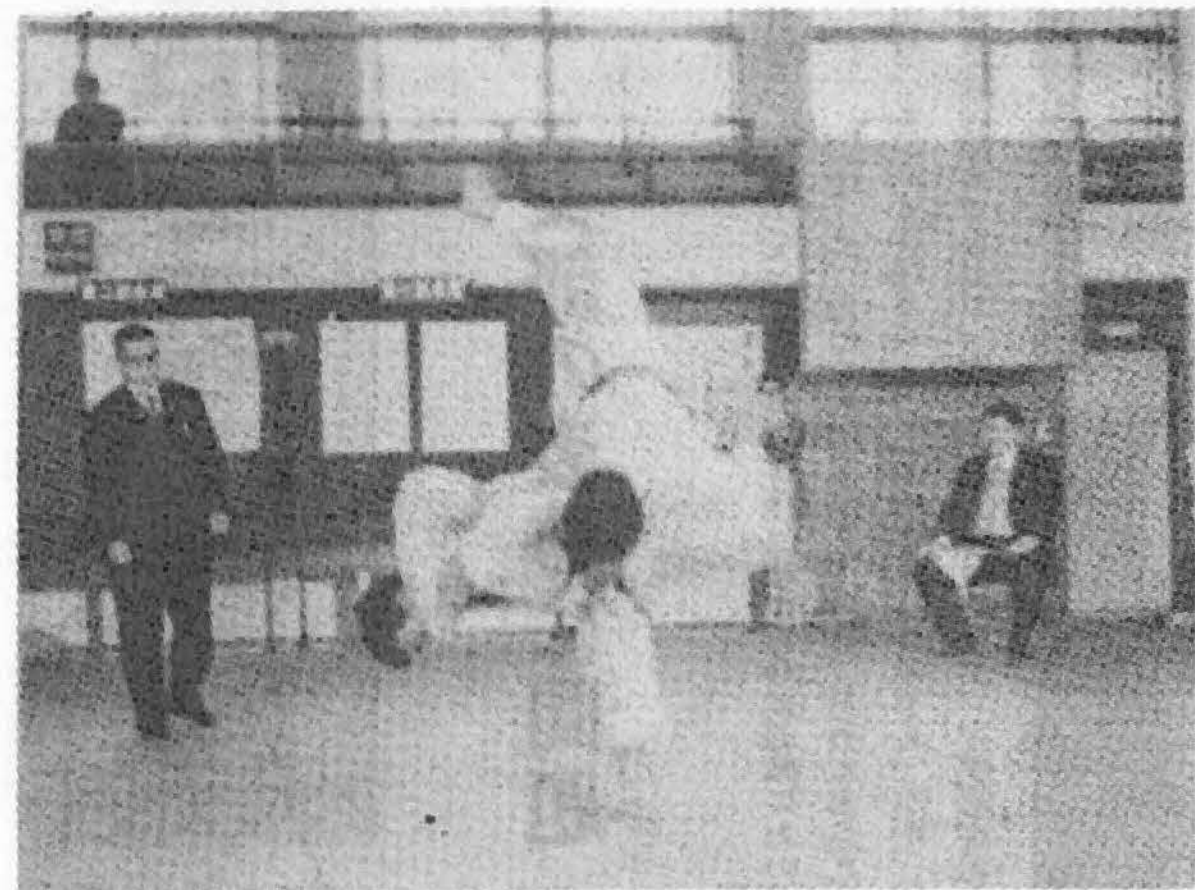
群馬県安中市磯部 2-13-1 TEL 0273-85-7111(代)

工場長 吉川善郎

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

ぐんま柔道

嘉納師範遺訓
 柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し、斯道の神髓を体得する事である。さうして是によつて己を補益するが柔道修業の究竟の目的である。



岩木五段跳ね腰で石橋三段を敗る

昭和四十八年の群馬県柔道選手権大会は三月一日、群馬県武道館において開催された。この試合は関東選手権大会の子選を兼ね、上位二名が関東へ出場でき、さらに関東で上位一名が全日本選手権に出場できる。従来全日本へは関東から出場できるのは二名であったが今年からは三名に拡がり、それだけ県代表にも全日本への窓口が拓かれたわけである。選手とも必勝の意気込みで熱戦をくりひろげた。

試合は一六選手が参加し、一、二回戦はトーナメントで行ない、勝ち残った四選手によりリリーグ戦で県選手権者、県代表の座が争われた。結果はこのころ順当に力をつけている大藤が二勝一引分けで優勝、二位は岩木で一勝二引分け、三位は同じ県警機動隊の周東がなり、東北柔道から新たに関口が参戦した。後援者は警務部三名に閉まれて地の利を得ず四位に終わった。この結果四月一日に神奈川県平塚市で行なわれる関東選手権大会兼全日本選手権大会関東地区予選には大藤、岩木の両名が県代表として参加することになった。

◇一回戦(上段が勝ち)
 大藤忠昭・警 内股橋川修二・邑
 浜道久・邑弘約込足小林広道・警
 周東正夫・警背負投西川留吉・富
 佐藤隆・富 跳懸越境雄雄・邑
 島谷俊美・洪釣込腰島田芳一・伊
 永井興治・富後勢勝福田利直・警
 石橋吉一・勢 糸井義一・警
 岩木昭太郎・警上四方上田憲司・邑

◇二回戦
 大藤忠昭 大内返 浜道久
 周東正夫 釣込み腰 佐藤隆
 島谷俊美 優勝勝 永井興治
 岩木昭太郎 跳ね腰 石橋吉一

◇リリーグ戦
 大藤忠昭 体落し 周東正夫
 島谷俊美 引分け 岩木昭太郎

群馬県柔道選手権大会兼関東選手権予選

大藤四段初優勝

関東選手権には大藤・岩木が出場



岩木昭太郎五段(写真右) 大藤忠昭四段(写真左)

岩木昭太郎五段 県警機動隊
 岩木昭太郎五段 県警機動隊
 二九才 一七三センチ 八一キロ
 四七年団体重量級出場 四八年県別選選手権五段の部優勝 四五年から四七年まで海外青年協力隊としてマレーシアで柔道を指導

大藤忠昭四段 大藤忠昭四段県警機動隊
 大藤忠昭四段 大藤忠昭四段県警機動隊
 二四才 一七三センチ 九〇キロ
 四七年県選選手権一位 団体無差別級出場 四八年県別選選手権四段の部優勝

昭和48年度行事予定

群馬県柔道連盟

日	行	会	場	備
2	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
3	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
4	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
5	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
6	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
7	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
8	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
9	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
10	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
11	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
12	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
13	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
14	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
15	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
16	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
17	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
18	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
19	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
20	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
21	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
22	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
23	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
24	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
25	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
26	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
27	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
28	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
29	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
30	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子
31	全日本柔道選手権大会	東京	国立代々木競技場	男子、女子

ハンガリー選手団来県



写真はスパルタクスの主力選手

群馬県柔道連盟ではかねてから有志が中心になってハンガリーの首都ブダペストのスパルタクスクラブの招聘をすすめてきたがこのほどようやく認可がおり、七月下旬に来日できることになった。このクラブには一昨年夏、渋川高校教師山本崇夫氏が招かれて行って以来同氏が積極的に働きかけて初来日、初来県のはじまりとなった。このたびは七月二十日頃から三週間の日程で講道館と本県とで練習する予定、この間全群馬柔道選手権大会にも数試合が行なう。強さはたいは群馬県選手団と同程度、同クラブは会員二千名を擁する総合クラブで中には身長二メートル、体重一五〇キロを超す巨漢もいるが今回の遠征メンバーはコーチ二名選手五名、新聞記者一名の他は詳細はまだ不明、このクラブには今までもヨーロッパを巡回指導した醍醐・神水・岡野氏等も立ち寄っているが、いずれも短時間のため、ゆうぶんその技を吸収しきれず本場の柔道に對して強いがこれを保持している。今回は三週間のまとまった期間なのでスパルタクスにとっても群馬県にしてもかなりの成果を期待することができよう。

大群土地(株)

取締役社長 田村希代治

群馬県吾妻郡中之条町大字伊勢崎町991
 電話(027975) 3504

吾妻郡接骨師会

- 佐藤 晶 (原町) 027968-2528
- 相馬 福次郎 (長野原) 02798(2)2144
- 関口 孝義 (中之条) 027975-2003
- 林 二郎 (中之条) 027975-2598
- 水出 裕次 (岩下) 027967-8505

県下別選手権

原沢三段の優勝

支部の姿勢に問題

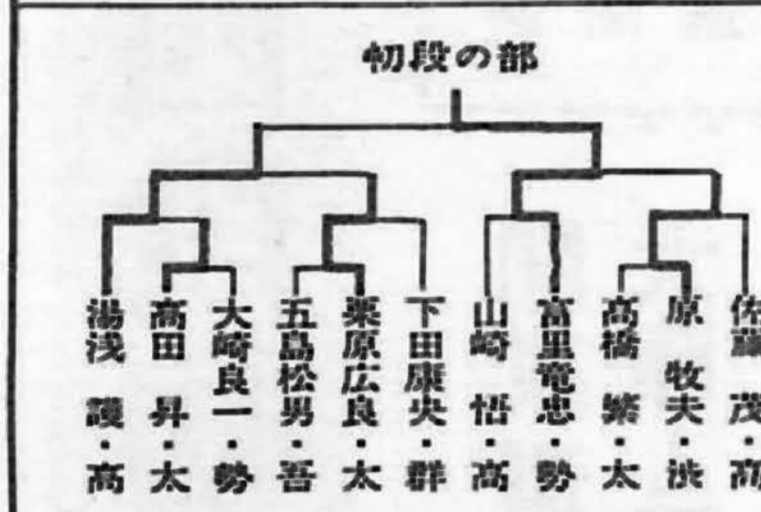
県柔道連盟主催の昭和四八年群馬県別選手権大会は二月一八日午後二時から県武道館において行われた。この日は初段一、二、三段八名、四段五段各二名、合計一七名とまとりに低調であった。原則として各支部とも各段一名以内を出場させることという条件つきであったが、結果としては三名以上出場した支部は警察を除けばわずかに三支部、一名も参加しなかった支部が五支部あった。近年団体予選は、出場者はふるふる傾向にあるが、この段別選手権は季節が悪いのか参加者が少ない。連盟の指定選手が、高校生二名、三段、四段、五段、各一名しか出場しないという姿勢にも問題がある。当日は赤城青年の家の道場開きで、県内の高校のうち上位四校(新人戦の成績)が招待試合に参加したのも若干の影響はあろうがそれ以外にも一般の低調ぶりはどうしたわけか。支部によっては支部対抗形式をとる関口杯、県民大会、民管合同大会以外には白支部から選手を出場させることをまったく考えない支部があるのではないうか。支部から連絡が流れてこないため出場意志がありながらその機会を持っていない有名人材があるのではないうか。出場選手も各支部とも各段一名以内という制約も実際には空文になるくらい参加者があつてしかるべきだろう。選手にも役員にも選手権の持つ意義が忘れられているのではないだろうか。



～る選手は県内には数人いるだろうが環境の差からかひつこくんだままでいるのは残念である。いまやこの二人は完全に群馬の重量級を代表する選手に成長した。各段の優勝者は三月三十一日、県武道館で行なわれる関東近県別選手権大会に県代表として出場する。

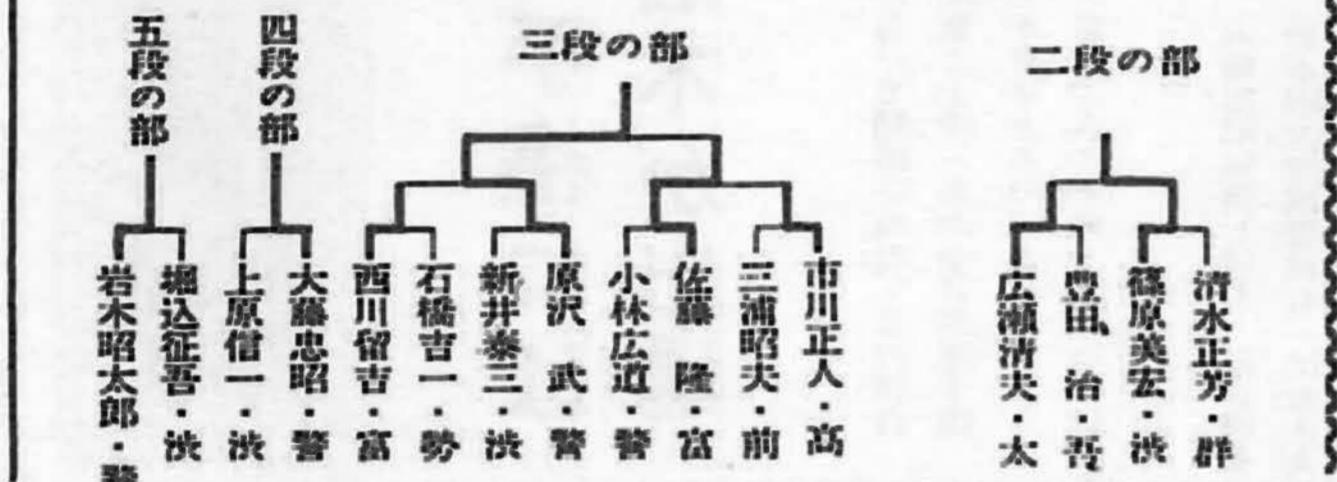
試合は、初二段は県内の一流選手の出場が少なかったため見ごたえのあるものが少なかった。その中でも富里(利根商二年)、藤原(前商三年)は小兵ながらよく健闘した。三段の原沢は練習量の差で優勝した。三段陣には他にも高校時代一流選手であったものが何人か出場したが皆彼のスタミナについていけなかった。四段、五段では大藤、岩木が順当に勝ちをおさめた。まだこの二人に互格に闘

- 初段の部
 - 一位 富里 豊多
 - 二位 湯浅 高崎
 - 三位 藤原 太田
- 二段の部
 - 一位 藤原 太田
 - 二位 佐藤 高崎
 - 三位 佐藤 高崎



国立赤城青年の家の道場完成

学校の合宿には最適・赤城のふもとで技を磨こう



国立赤城青年の家の武道館(柔道場・剣道場)がこのほど完成し二月一八日にその落成式ならびに記念大会が県内高校の上位四校を集めて行われた。この道場は鉄筋コンクリート階建てで七、八畳の道場の他にシャワー、洗面所、便所、更衣室、講師室等を備えている。天井はコンクリートを併せたに組みたいへん重厚な感じを出し、石綿材を使っている。道場の音も断つてくるようになっており柔道場としては最高の体感を整えている。国立赤城青年の家は昭和四十六年四月に全国で十か所中七番めに開所した。関東甲信越地区では赤城一か所である。赤城道の畜産試験場から東北三、六キロ黒松林を切り開いた五万ヘクタールの広大な敷地の中には管理研修棟、サビス棟(食堂、浴室、講義室、売店等)、宿泊棟(四百人収容)、体育館、武道館、グラウンド(四百メートルトラック、テニスコート、バレーコート等)が整然と立ち並んでおり、その周囲を二、四キロメートルの自然遊歩道がとり囲んでいる。海拔五百メートルからの眺望は天下第一で高崎の観音様はすぐ足もとに感じ、関東平野を一望におさめ、遠く秩父連山の向うには富士山の雄姿をはっきりとのぞむことができる。前橋・高崎の夜景の眺めも個々金である。春から秋にかけては各種の利用者で連日満員となるが、武道館はまだ開館直後で一般に知られていないため使用申込みは少ない。学校関係の合宿には最適で都会の煙塵をのがれて大自然のふもとで己を鍛えるにはこの上ない環境である。

国立赤城青年の家の武道館(柔道場・剣道場)がこのほど完成し二月一八日にその落成式ならびに記念大会が県内高校の上位四校を集めて行われた。この道場は鉄筋コンクリート階建てで七、八畳の道場の他にシャワー、洗面所、便所、更衣室、講師室等を備えている。天井はコンクリートを併せたに組みたいへん重厚な感じを出し、石綿材を使っている。道場の音も断つてくるようになっており柔道場としては最高の体感を整えている。国立赤城青年の家は昭和四十六年四月に全国で十か所中七番めに開所した。関東甲信越地区では赤城一か所である。赤城道の畜産試験場から東北三、六キロ黒松林を切り開いた五万ヘクタールの広大な敷地の中には管理研修棟、サビス棟(食堂、浴室、講義室、売店等)、宿泊棟(四百人収容)、体育館、武道館、グラウンド(四百メートルトラック、テニスコート、バレーコート等)が整然と立ち並んでおり、その周囲を二、四キロメートルの自然遊歩道がとり囲んでいる。海拔五百メートルからの眺望は天下第一で高崎の観音様はすぐ足もとに感じ、関東平野を一望におさめ、遠く秩父連山の向うには富士山の雄姿をはっきりとのぞむことができる。前橋・高崎の夜景の眺めも個々金である。春から秋にかけては各種の利用者で連日満員となるが、武道館はまだ開館直後で一般に知られていないため使用申込みは少ない。学校関係の合宿には最適で都会の煙塵をのがれて大自然のふもとで己を鍛えるにはこの上ない環境である。

「この青年の家の使用手続きはたいへん簡単で、その条件を満たす人ならばどなたでも入所できます。何よりも人気があるのは自然環境のよさと使用料が無料ということ。食費の実費が三食で四六〇円かかりますがそれ以外は一切かかりません。国立赤城青年の家は雰囲気固苦しくいやだとおっしゃる方がおられますがそれは食わず嫌い、一度経験した人に

はどなたにも好評です。集団生活に必要な最少限のマナーを守る人ならば少しも苦しいことはないと思います。またこれは青年の家ばかりでなくどこにあっても守るべきことなんです。せっかくの施設ですからどなたも皆さんのために活用して下さい。国立赤城青年の家を使用できる人

- ① 勤労青年
 - ② 在学青年(生徒・学生)
 - ③ 青少年指導者(学校教育・社会教育関係者)
 - ④ その他所長が認められた者
- 問合せ先
群馬県赤城青年の家
電話(〇二七八)三三三三
(六月から自動)
招待試合成績

救急法の講義をする内堀博士

中学・高校指導者講習会
現場の先生熱心に勉強



あなたの夢を実現する!! 新日本のカラーブロック!!
コンクリートブロックの総合メーカー

新日本ブロック株式会社

社長 取締役社長 柳 沢 本 次

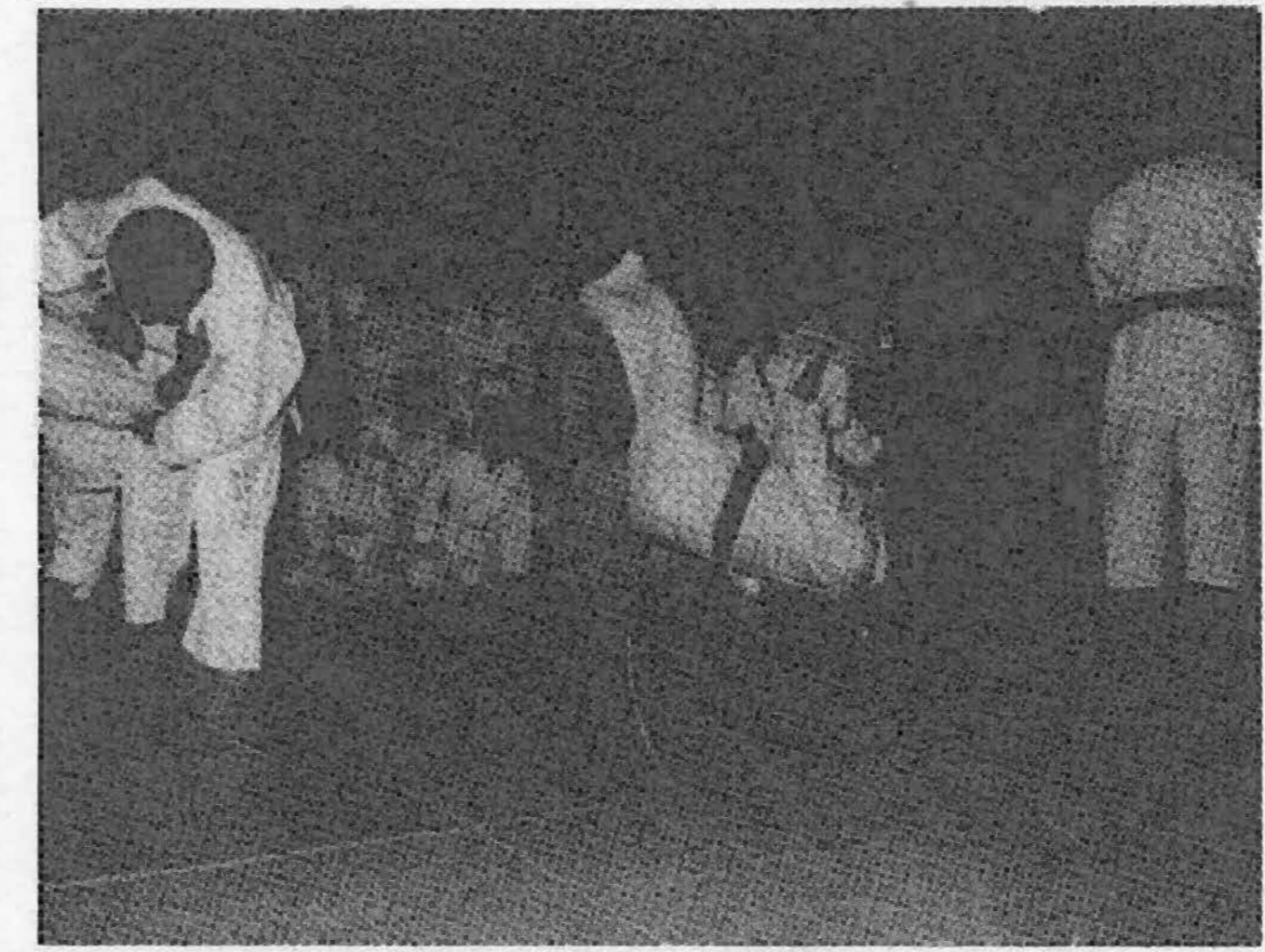
本社工場 群馬県群馬郡箕郷町上芝105 TEL 027371-2321-3
高崎工場 高崎市島野町890-4 TEL 027352-8423-4
第二工場 渋川市折原3679-4 TEL 02792-2-0276

「ぐんま」は、桐生道士館

少年たちにみなぎる熱気 子ども五人に指導者が一人

「こんばんは」と少年たちの元気な声に迎えられる。
この桐生道士館は国鉄桐生駅前を東へ一キロ半ほど行った街の賑やかな一角にあり、この一角に、三月二十八日にお訪した。道士館で何よりもおどろくのが少年たちの表情だ。四十人ほどの少年が立ちの青年部の有段者相手に大まじめに練習している。子どもとおし合いの遊び的な練習態度はみじんも見えない。自分の番が待たれずうしろの方でもめている下もいる。外にはまだ寒気が残っているのに道場の中は少年たちの熱気でいっぱい。窓をあけてまだ汗がポタポタ落ちていて子どももいる。多い時は日に八〇人もの少年が集まることがあるという。ここでは少年たちとおし合いの練習はあまりやらない。子ども九人におとな一人が指導にあたれるように練習計画を立て、青年部の人たちが持ちまわりで指導している。したがってここでは子どもたちのけがはほとんどない。親たちも安心して練習に通わせられる。指導陣も多士済済、仕はク

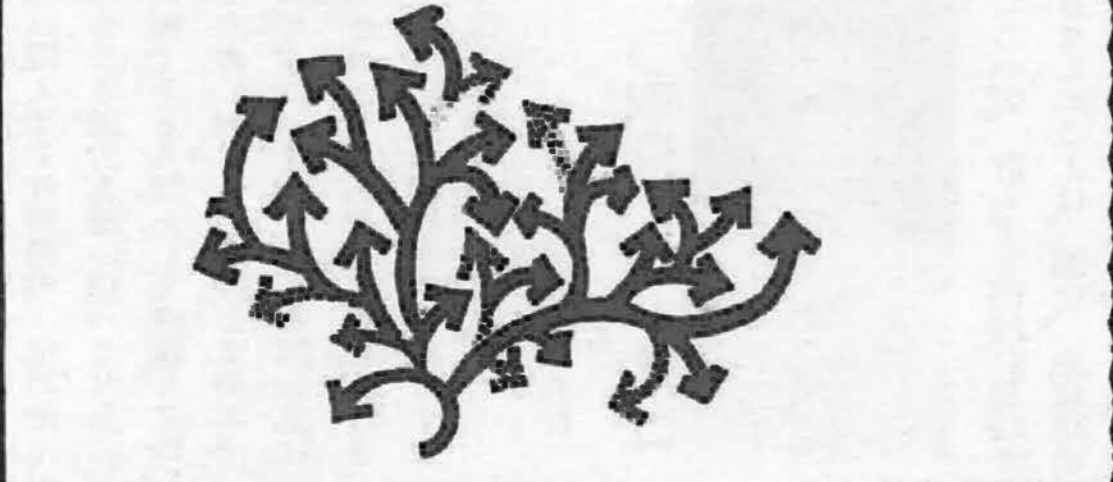
結果館長に高柳清策氏、副館長に青木芳雄、高草木保岡氏が選ばれて四七年は小学校三年の部で藤本君が優勝、四年の部で佐藤君が三位を獲得している。四六年は実に優勝者が三人で、この徹底した練習ぶりからはじゅうぶんに考えられることだ。少年部は年中行事として元旦に市内の水道山から御来光を拝し、その一年の発展を祈願する。続いて来栖古、来中マラソン、界中精古等を行なう。足利道士館、昭徳館とは年に二回ずつ往復してお互いの技を競い合っている。幹部諸氏も毎週顔をみせては少年たちを激励している。この恵まれた環境の中で鍛えられた少年たちははたたくまじい心身を備えた若者に成長していくことだろう。



講道館試合 審判規定一部変更

**一、規定第十四条に
関するもの**
第二項 場外に出ると判断される技の場合、試合者相手の動作が一時中断し、暫時その関係に変更を生じないと見られるときは、前項と同様に、その形のままで試合を継続させる。

**二、規定第二十二條
(総合勝ちに関するもの)**
警告を受けたものが更に抑えこまれた場合は、二十五秒をもって他方を総合勝ちとする。合時間から除く。



これはこれから講道館柔道はどんなものであるかを説明しようと思うが、それには講道館柔道の沿革から述べるのが一番はやみぢである。

維新前にも柔道という名称はない。柔道とは普通柔術とか体術とかいって俗に「やわら」と呼ばれていた。昭和二年に二回つづいてお互いの技を競い合っている。幹部諸氏も毎週顔をみせては少年たちを激励している。この恵まれた環境の中で鍛えられた少年たちははたたくまじい心身を備えた若者に成長していくことだろう。

柔道本義 師範 加納治五郎

たが幸抱もよくなり気質もだんだん落着いてくるしその他種々精神上に利益を得たように感じ、また攻撃防御の練習の結果を得るに至った原理は、人生の百戦の事に至るべきことである。自分がもつていふことを信ずるに至ったか、これは誠に有益な修業である。こういうものは自分だけ積むのではなく、人に教えるべきである。明治十五年、と考へ付いた。明治十五年、年々春までは下宿屋住いをして居たのでその志を遂行することが出来なかったがその年の二月に初めて下谷の水島寺という寺の一部を借りてそこに数名の書生と一語に住むことになったから、しばらくして、今日の世に通ずるようにならね、と考へた。そういうのを道場として創設されたのである。

中国料理 赤城飯店

麵類・飯類・単菜各種
出張卓料理も始めました

洪川—大胡線富士見役場前 南二二六七

星野物産株式会社

本社・工場 群馬県大間々町(東武線赤城駅前)
☎大間々局(02777) 2-2222代
東京配送所 東京都板橋区高島平6-1-1
板橋貨物センター東群内
☎(03) 938-6230

赤城観光自動車株式会社

大間々町赤城駅前
電話 大間々(02777) 2-2717

群馬の代表清酒
全国清酒鑑評会 8年連続金賞受賞

しみじみと 心に通う
酒は **赤城山**

<特級・1級・金印>
群馬県大間々町
株式会社 近藤酒造店 社長 近藤英一郎

発行所 群馬県柔道連盟
発行人 関口 恒五郎
編集室
前橋市文京町二丁目14-12
柳谷勝之宅
電話 0272-21-5409

ぐんま柔道

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し、斯道之神髓を体得する事である。さうして是によつて己を補益するが柔道修業の究竟の目的である。

関口林五郎先生逝く



群馬県柔道連盟会長、関口林五郎先生は、今年一月頃より健康を損ね、自宅で療養中、六月二十六日午前零時、長年の疾を去られた。享年七十四才。

関口会長を悼む

一月頃より不快、自宅で静養加療中、六月二十六日午前零時、長年の疾を去られた。正五位勲三等、柔道八段、群馬県柔道連盟会長、関口林五郎先生の関係十五団体による合同葬儀が七月二十一日午後一時より二時三十分、前橋市日吉町の県民会館に於てしめやかに行われ、故人の徳を慕う者、友人知己、門下生、遺族親戚等約二千五百人が参列して、一を語る会館も人だかりの賑わいがあった。

田島行一

五月先生の長男として出生された幼少より父孝五郎先生から講道館道術八段(昭和十三年五月武徳会)と名づけられたが、その生涯を通じて柔道精神を遺憾なく発揮され、関口整形外科病院長として医師、柔道界、教育界、警察界、スポーツ界、一般社会に中広い活動をされ偉大な足跡をのこされた故人に対してまことにふさわしい葬儀であった。

永井寿雄

昭和二十六年群馬県柔道連盟の設立以来私達の頭上にさん然と輝き続けていた巨星が今消えた。しかし先生の教えと業績はまた新しい光となって私達の前途を照らしてくれるであらう。ここに先生の生前の徳をしのび平素親交の深かった田島行一、永井寿雄、藤沢和典三氏の追悼文を載せ故人の冥福を祈る。

はならない。われわれ柔道人は、先生の遺志とその偉業を継承して、いよいよ柔道の振興発展のために一致協力することが望下の先生の遺志を安んずることであらう。ここに謹んで哀悼の誠を捧げるものである。

関口林五郎先生を想う

関口先生といふは、一般的には「明るいユーモアに富んだ円満な常識人」という印象が強いと思う。そして事実も又その通りであったと思うのである。

藤沢和典

私に昭和十一年一月から先生御他界の日まで二十八年間に亘つて先生の側近として師事させて頂いたので、先生の志を物語る数多くのエピソードに接して来たのであるが、その中で特に私の心を打ったことについて書いてみたいと思う。

関口会長と私

玄関前に立つてアザーを鳴らす。「ごめんください」「はい」。声を張り上げる様子は決してなかつた方であった。

藤沢和典

玄関前に立つてアザーを鳴らす。「ごめんください」「はい」。声を張り上げる様子は決してなかつた方であった。

総合建設業 小野里工業株式会社
取締役社長 小野里光明
本社 前橋市下小出町6番地 371 TEL0272(31)4211(代)
浦和支店 浦和市元町二丁目4番8号 336 TEL0488(86)2416(代)
東京支店 東京都文京区本郷三丁目31番5号 113 TEL03(813)4666(代)
大和設備工事株式会社
取締役会長 羽島治良松
取締役社長 柴山大五郎
本社 前橋市古市町118 前橋(0272)51-6131(代)
支店 東京・大宮・宇都宮・高崎

各地で親善の実あげる 対戦成績は二勝二敗

かねてから群馬県柔道連盟で活... 七月二十日、横浜港に着いた一...



選手と日本人との深まりが群馬県... 思い出さなう。ありがと...

七月二十日、横浜港に着いた一... 行九名は直ちに講道館へ直行、こ...

選手と日本人との深まりが群馬県... 思い出さなう。ありがと...

八月二日、高崎警察署... 西毛連技 2-0 ハンガリー...

八月五日、県武道館... 八幡三郎 引分... 山崎敏明 引分...

佐波・伊勢崎初優勝... 関口大橋は邑楽・館林支部... 群馬県柔道連盟、関口五郎先...

Table with 3 columns (A組, B組, C組) and 4 rows, showing match results with symbols like circles and triangles.

県代表決まる... 昭和四十八年全国定時制、通信...

大島接骨院 大島由安 柔道整復師 前橋市城東町一丁目16-11

細野接骨院 細野嘉晴 柔道整復師 前橋市南町三丁目19-10

利根商三年ぶりの優勝

全国高校 個人も二階級を制す

第三回県下高校柔道選手権大会兼第二回全国高校柔道大会県予選は六月十七日に国体戦、二十四日に個人戦が県武道館において行われた。決勝は今年も陣容不足でまさしく予選にのぼっていかなかった前商と利根商の間で争われ、対して利根商が優勝し、三年ぶりに全国大会への出場権を獲得した。個人戦では重量級では最重量級の齋藤(農大)、中量級はもとにも利根商が制し、堅陣を示した。この結果八月二、三、四日に三重県名張市で開かれる全国大会に団体では利根商、個人では各級優勝者が本県代表として出場する。を封じられてしまったが原因。

国体選手決まる

昭和四十八年の国体県予選は七月十五日に、次予選。八月十二日に二次予選をそれぞれ県武道館で行ない県代表を決定した。今年も例年より参加選手が少なく一次、二次を通して、九名で昨年度代表になった中、重、無差別の選手は顔を見せずいつになく新しい予選であった。この中で軽量級の糸井、軽中量級の島谷も今年から渋川関口病院に勤務しているが、この級では当分王者の座が約束されている。重量級は上位三人に大淵をいれてリーグ戦をし、全引分けで四つに絞られるところだったがわずかに福田が大淵を下して抜き出した。無差別は軽中量以上の二位同志でリーグ戦を行い、小兵の原沢が大型の市川、永井を押しつけて優勝した。機動隊における日頃の練習量の差がよく明を制した。

- ▽一般の部
- 軽量級(63kg以下)
 - 一位 糸井 義(県警機動隊)
 - 二位 藤原 甘(軽中量級(70kg以下))
 - 一位 周東正夫(県警機動隊)
 - 二位 石井 群(三位大島(利中量級(80kg以下))
 - 一位 島谷俊英(渋川関口病院)
 - 二位 原沢(機) 越塚(色)
 - 重量級(80kg以上)
 - 一位 福田直直(県警機動隊)
 - 二位 永井(富)、佐藤(富)
 - 無差別級
 - 一位 原沢武(県警機動隊)
 - 二位 市川(高) 三位 永井(高)



一般の部代表

決勝は対一の同点で副将戦になり、前商の岡のかけた巴投げを今井主審が引きこんだことを見て「注意」。その後岡何とかが取り返そうとがんばるが真下つっ張って優勝勝ち。大将戦前商青木一点を取り返して代表戦に持ちこもうとがむしやりにかけるが角田がっさり突っ張って寄せつけず。さらに青木攻めて行って角田の守りにつぶされて幕穴を穿った感じ。万事休す。副将戦の決まりかたではどうなっていたかと惜まれる。

前商は千明のワンマンチームで優勝候補の一角にも上っていたが勝たずがに松尾、よく戦った。中でも千明は抜群の強みで技、立技を駆使して一本勝ちであった。利根商は決勝まで失点二点は立派、みな小兵だが洗練された攻守で三年ぶりに全国大会への代表権をつかんだ。

個人戦は重量級では千明が順調に勝ち進んでいったが準決勝で伊丹(富岡)に組んですぐ一本負けに投げられ敗北。(ほとんど)

- ▽教員の部
- 中島寛夫(上武一高)
 - 藤田正明(前橋高)
 - 碓井良一(下仁田東中)
 - 松本邦夫(前橋南高)
 - 梶野実(前橋東小)
- ▽高校の部
- 一位 千明正樹(前商)
 - 二位 丸山一文(利根商)
 - 三位 齋藤利明(農大)
 - 四位 伊丹弘明(富岡)
 - 五位 松沢 弘(大泉)

関口病院

院長 関口恒五郎
 院址 市川町一丁目(電話)三七七八
 自室(10)三七六



優勝 関(利根商) 二位 下田康史(種名高) 三位 渡辺(上武二) 泉沢(大泉)

私と柔道

石井清二郎

柔道とわたしの出会いは、五十路、市村久さんの寝技を、年前に遡ります。関東大震災当時、前橋に住んでいて、久留万小学校へ通っていた頃、前橋中学へ入学して柔道を教わったばかりの年上の友達に、よく稽古台に連れて行かれたり、逆を取られたりしたのが最初の出会いです。そのために八幡様で催される少年相撲大会で数回も賞品を買った記憶が残っています。小学三四年の頃で、正式に柔道を教わるようになったのは高崎中学校へ入ってからです。先生は田中良三先生でした。正課で柔道をやるだけでなく課外運動にも柔道を選びました。その動機は正課の時間に田中先生から一言「君はうまいね、ほめられたのが原因でした。二年生頃でした。高中学道部で稽古をした先輩後輩との交流も懐しく、その面影が技とともに浮びます。酒井四郎さんの大外刈、羽島治郎松さんの払と背負投、丸茂重貞さんの

それについても、わたしは瘦せっぱちで力もなく、ひよろ長く、いわゆる柔道体質ではないことを充分承知してました。その非力を補うのは練習以外にはないと思っ、ひたすら稽古にはげました。五年間土用稽古場稽古とも皆動しました。

昭和八年群馬師範学校へ入学し、ここで石原重三先生にめぐりあう幸を得ました。柔道と人生を結びつけて考えようになつたのも此頃からです。師範学校は全寮制で、稽古は遅くまで知事館で稽古しました。ついには知事館の主とまで仇名されました。細

中学の覇者は吉岡(北群馬)

中学総体 個人も一、三位を制す

第八回県中学総体は八月四日、五日の両日県武道館において行われた。試合は前評判通り北群馬の吉岡中が優勝、昨年全国第五位になった渋川北中は三位になった。個人も余勢をかつた吉岡中が一位と二位を占めた。

▽団体戦

- 優勝 吉岡中学(北群馬)
- 二位 下仁田東中学(甘葉)
- 三位 渋川北中学
- 四位 太田東中学

▽個人戦

- 優勝 五十嵐正(北群・吉岡)
- 二位 角田明雄(沼田・沼田)
- 三位 高橋 浩(北群・吉岡)
- 四位 黒沢万博(多野・万博)
- 五位 茂木邦宏(太田・太田)
- 六位 戸部義延(渋川・北)

なお優勝の吉岡中学は八月十五日、宮城県スポーツセンターで開かれる全国中学校柔道大会に本県を代表して出場する。

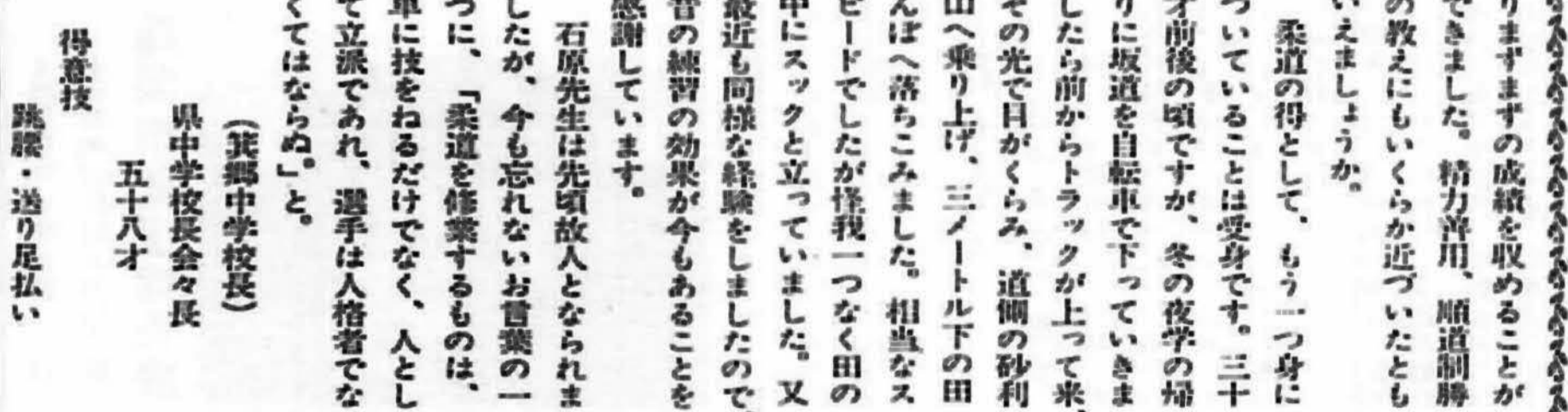
思いの深い高中時代

柔道の得として、もう一つ身につけていることは受身です。三十分前後の頃ですが、冬の夜の掃りに坂道を自転車で下っていました。その光景が目から、道側の砂利山へ乗り上げ、三ノ下下の田んぼへ落ちこみました。相当なスピードでしたが怪我一つなく田の中にスッと立っていました。又最近も同様な経験をしましたので昔の練習の効果が今もあることを感謝しています。

石原先生は先師故人とわれませんが、今も忘れぬお言葉の一つに、「柔道を修業するものは、単に技をやるだけでなく、人として立派であれ、選手は人格者でなくてはならぬ」と。

(群馬中学校長) 県中学校長会会長 五十八才

得意技 跳躍・送り足払い



補欠、一転して全勝

イソベスポーツ
 前橋弁天通り
 ☎(31)8377

(後列右端が個人優勝の五十嵐)

業務用ガスレンジ・冷蔵庫・流し台・その他
 各種厨房機器一式

太陽厨房設備株式会社

前橋市天川大島町1265番地 ☎(61)3669

群馬県柔道連盟 勢多支部

支部長 北爪隆雄
 副支部長 高井富久
 角田長治

こんにはばり！ 田島自慢

人格完成を最終目標 門下生三千を数える

中央前橋駅から近く、閑静な住宅街のなかにある行道館田島道場を今週はお訪ねした。

総がやき造りの玄関を入ると、古稀を迎えられたとは思えない館長田島行一八段が、ここにこそお出迎え下さいました。道場は、お茶を淹れられたお湯が、お茶の香りを醸し出している。お茶の淹れられたお湯が、お茶の香りを醸し出している。

田島道場の指導方針は、嘉納治五郎先生の遺訓「人格完成」を最終目標におき、しかし試合も戦うや出陣率を低く、時代の風潮とあわせて自らの楽しみを導く現代の子供達には、自分が昭和二年から十七年までの間に六回にわたって明治神宮大会に出場し、前中前商、警察と一日に三所、七時間におよぶ稽古をし、昭和三十八年八段に昇段するまで毎年講道館の高級大会に出場し、青春を、人生を柔道一筋に歩んでこられた田島道場の目的は、やまのたからに、この中で前高は第四回の昇段に優り、全商大会に出場している。その時のメンバーは宮沢勲六段、新井次郎六段、柳谷勝之六段、田村(大東)修一五段、石上元夫五段(町田市、接骨師)から前中、同十六年から前商で活躍している。今も月水金の稽古日には約六十名の少年部が夕方五時から八時、土曜日は午前九時から午後五時、日曜日は午前九時から午後五時、二十分間、稽古に汗を流している。この稽古には現在専ら娘婿の敏隆五段が当たっているが、少年部の活躍はめざましく、毎年夏休み、東京の武道館で行われる全日本少年武道大会において昭和四十四年、四十六年は中学生の部で二位、昭和四十七年は小学生の部で二位、昭和四十八年は中学生の部で二位、今年も交通セネス大会は四月二十八日に講道館大道場が開かれた。今年も交通セネス大会の影響で例年より参加者が少なく、本県からは五段十六名、六段八名の二十四名だった。この大会で群馬勢のトップを切って出場した鳥谷俊五段は見事な活躍で、東京の前田五段を破り、優秀選手に選ばれた。

高校の部は関東で優勝

国体関東ブロック予選



道場の創立は、昭和二十九年六月十二日、先生が二十一年半にわたって勤務された警察官(警部)の職をなげうって、長年におわたって身につけた技術(柔道)を、警察の資格もすでに取得していた(社)会のために生かしたいということと、道場のすすめもあり決意された。

道場の創立は、昭和二十九年六月十二日、先生が二十一年半にわたって勤務された警察官(警部)の職をなげうって、長年におわたって身につけた技術(柔道)を、警察の資格もすでに取得していた(社)会のために生かしたいということと、道場のすすめもあり決意された。



全国高校者大会
昭和四十八年度全国高校者柔道大会は四月二十八日に講道館大道場が開かれた。今年も交通セネス大会の影響で例年より参加者が少なく、本県からは五段十六名、六段八名の二十四名だった。この大会で群馬勢のトップを切って出場した鳥谷俊五段は見事な活躍で、東京の前田五段を破り、優秀選手に選ばれた。

三位、今年度は惜しくも三回戦で敗退した。この少年部にひきかえ、青年部は一部のを除いて昨今やや出陣率を低く、時代の風潮とあわせて自らの楽しみを導く現代の子供達には、自分が昭和二年から十七年までの間に六回にわたって明治神宮大会に出場し、前中前商、警察と一日に三所、七時間におよぶ稽古をし、昭和三十八年八段に昇段するまで毎年講道館の高級大会に出場し、青春を、人生を柔道一筋に歩んでこられた田島道場の目的は、やまのたからに、この中で前高は第四回の昇段に優り、全商大会に出場している。その時のメンバーは宮沢勲六段、新井次郎六段、柳谷勝之六段、田村(大東)修一五段、石上元夫五段(町田市、接骨師)から前中、同十六年から前商で活躍している。今も月水金の稽古日には約六十名の少年部が夕方五時から八時、土曜日は午前九時から午後五時、日曜日は午前九時から午後五時、二十分間、稽古に汗を流している。この稽古には現在専ら娘婿の敏隆五段が当たっているが、少年部の活躍はめざましく、毎年夏休み、東京の武道館で行われる全日本少年武道大会において昭和四十四年、四十六年は中学生の部で二位、昭和四十七年は小学生の部で二位、昭和四十八年は中学生の部で二位、今年も交通セネス大会は四月二十八日に講道館大道場が開かれた。今年も交通セネス大会の影響で例年より参加者が少なく、本県からは五段十六名、六段八名の二十四名だった。この大会で群馬勢のトップを切って出場した鳥谷俊五段は見事な活躍で、東京の前田五段を破り、優秀選手に選ばれた。

- 全国高校者大会**
- 五段の部 上段が勝ち
鳥谷俊五 体落 前田・東京
佐藤勇夫 内股 久保田・静岡
井出昌明 優勝 尾崎・高知
上西・福井腕挫十字固地征善
角田長司 上四方固斉藤・東京
加藤・東合 技 田島俊隆
- 六段の部
松島一郎 引分 小沢・山梨
窪田・山梨引き 宮川喜一郎
萩原・神支約込 内山孝三郎
新倉・東四方固 佐藤準太郎
光山武雄 引分 笠原・東
金子守衛 引き 松川・東
北爪隆雄 体落 金子・神
工藤・神合 技 田中政一

利根商中之条高 善戦

第二十一回関東高校柔道大会は六月九、十日茨城県日立商業高校で開催された。

本県代表五校のうち利根商、中之条高は善戦し、予選リーグをそれぞれ二勝で勝ち残り、決勝トーナメントに進み利根商は国士館高に、中之条は土浦日本大学高校に惜敗した。個人戦では齋藤、松沢がそれぞれ決勝トーナメント一回戦まで勝ち進んだ。

団体戦 予選リーグ
利根商 0-5 茂木高 栃
0-4 八王寺 東
2-2 大宮工 埼
1-2 鹿島高 茨
2-1 鉦田一 茨
0-3 安房水産 千
0-5 習志野 千
1-2 水城高 茨
2-0 国学院 栃
4-0 北富士工 山
3-0 立教高 埼
2-1 真岡高 栃
中之条 0-2 土浦日大 茨
中之条 0-2 国士館 東
優勝 国士館高 東京
二位 明大附属中野高 東京
三位 土浦日大高 茨城
三位 単鴨高 東京

個人戦 予選リーグ
千明正樹(前商)一敗一分一位
斎藤利明(農二)一勝一分一位
松沢浩(大泉)一勝一分一位
個人戦 決勝トーナメント
齋藤、松沢 一回戦で敗退

群大(医)大活躍

第十六回東日本医科学生総合体育大会の柔道競技は七月三〇、三十一日県武道館で開催された。試合には関東中信越以北の二十一大学が集まり、三十日は団体戦、三十一日は個人戦が行われた。群大医学部はよく健闘し、予選リーグを順当に勝ち抜き決勝トーナメントに進出。昨年に続いて二年連続三位入賞を果たした。三十一日の個人戦でも余勢をかって丸田崇選手(前橋高出)が中量級で二位、任書階選手(山城高出)が重量級で三位に入賞した。

藤岡市武道館完成

4 藤岡市 樹徳高 24
4 沢田秀信 利根入須川小 26

桐生柔道大会

結成二〇周年を迎えた群馬連桐生支部(清水芳雄支部長)の記念柔道大会は六月十日午前九時半から桐生商業高校新体育館で開催された。参加は市内の中、高校と一般の二団体。

強化指定選手決定
(上の数字は段位、下は年齢) 一般の部(重量別)
4 福田利直 県警 25
4 藤原忠昭 〃 26
4 佐藤隆 自営 23
3 大河 裕 牛込接骨院 21
3 周東正夫 県警 24
4 石沢祥市 自営 26
5 鳥谷俊五 済川開口病院 26
3 大島 忠 沼田大生相互 21

教員の部
3 松本邦夫 前橋商高 24
3 青木金雄 前橋細井小 24
3 碓井良一 下田東中 25
4 中島寛夫 上武一高 28

おくやみ

佐々木庄二郎氏
九月五日午前七時三〇分頃、利根郡月夜野町の国道十七号線を徒歩で出勤途中、乗用車にはおられ約二〇メートル下の赤谷川に転落全身打撲で死亡。

昭和三十三年利根商創立と同時に赴任。社会科担任。柔道部顧問。国体、関東大会等に十数回同校柔道部を出場させる。県柔連利根沼田支部副支部長。県柔連柔道部副委員長。三十九才、六段。法政大学卒業。

編集後記

暑い夏が過ぎた。今年はこの暑さが各地に出た。しかしこの猛暑をはね返す快挙もいくつかあった。初めての国際交流、ハンガリーから選手団を招いて交歓練習、試合を催した。一行は大感激をして帰国した。国体高校の部は関東予選で優勝した。一昨年優勝、昨年二位、今年また優勝と着実に力をつけている証左であらう。しかし、悲しいこともあった。六月二十六日、県柔連の生みの親、育ての親の開口林五郎会長が逝去された。九月五日、県高校柔道界の中心ともいえる佐々木庄二郎氏が交通事故で急逝された。県柔連は幸い司令の開口恒五郎氏が会長に就任され、再建の見通しがついたが佐々木氏の欠けた穴は高校柔道界にあってはあまりにも大きい。つつしんで二冥福を祈る。

冷暖房厨房設計施工・台所設備器具・燃焼器具・石油製品

T.P.C 徳永プロパンガス商会
有限会社

本社 前橋市昭和町3-26-23
TEL 0272-31-6828 代表
営業所 前橋 橋条 崎津
中之条 高草 高草 津
TEL 0272-31-6828-6830
TEL 027975-2358-2260
TEL 0273-46-1155
TEL 027988-2208
TEL 0272-61-0622
TEL 0272-31-7682

天川工場
ショールーム

大塚歯科医院
院長 大塚 修

富士見村・小沢停留所前 ☎富士見局 (027288) 2056

ぐんま柔道

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

嘉納師範遺訓
 柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛練修養し、斯道の神髄を体得する事である。そうして是に由りて己を完成し世を補益するが柔道修行の究極の目的である。

利根郡十年連続優勝

県民体育大会 市の部は前橋

第十一回県民体育大会は十月四日、十一時半から県武道館において開催された。市の部では昨年優勝の高崎、準優勝の渋川、橋本重來を期す前橋、部の部では九連勝の利根を倒す勢多、甘葉と強豪が出そろい、いずれも予選を許さぬ好試合が展開された。

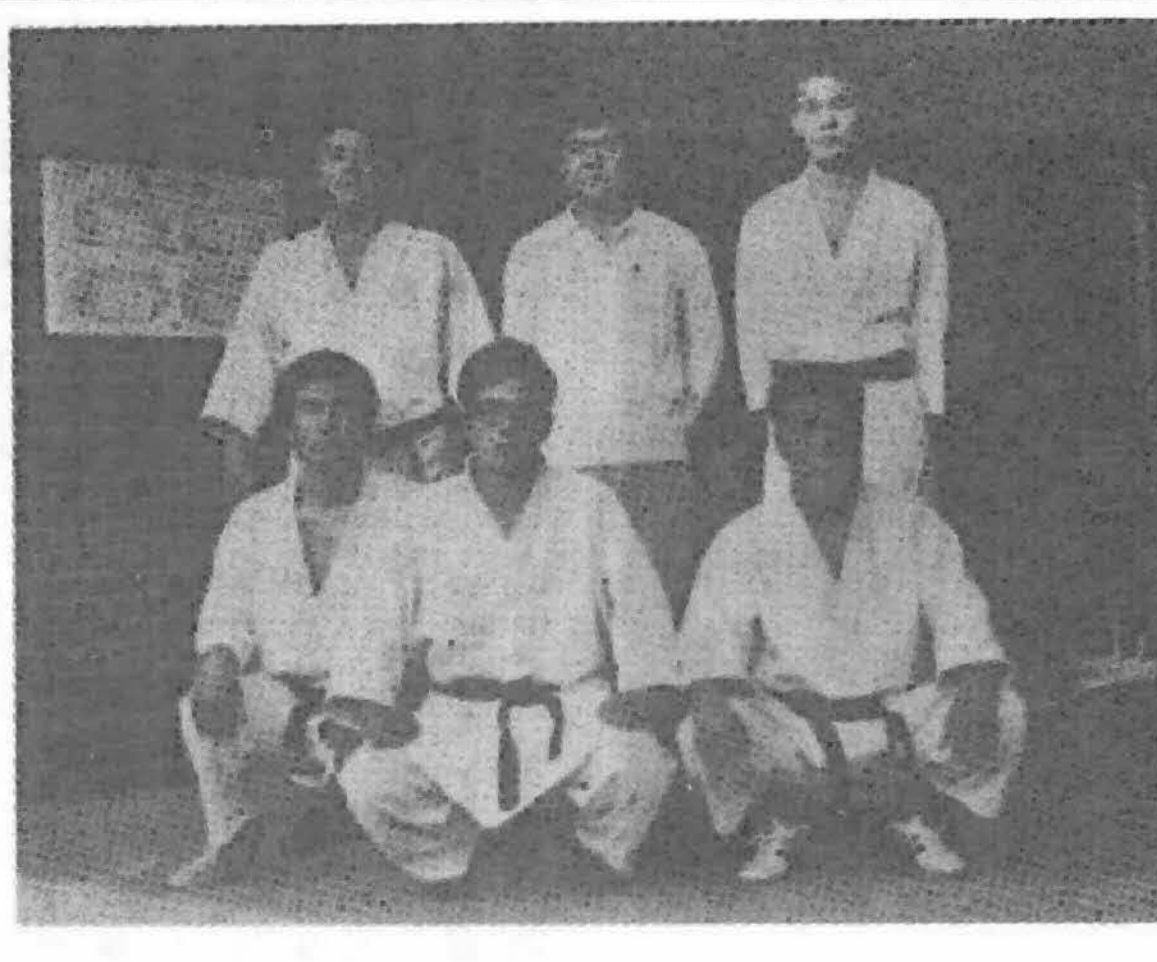
前橋は昨年は一回戦に渋川と対戦し油断して、対0で苦杯を喫した経験を生かし慎重にとり進んだ。教員の部で今年特大を卒業した鬼形を起用したがこれが善戦前橋の優勝のけん引役を果たした。一般に警察の機動隊員を二人つかえるのも前橋の強みだ。岡東、大藤がよく得点し、特に決勝で大藤が藤田を支え約込み足の「技有り」を二本取ったのは圧巻だった。高校生も善戦したが大前橋にしては少し弱体であった。

利根郡は一般が一人欠員で、今年こそ利根の連勝を阻むチャンスであったが甘葉郡が、対一の同点で第二代表戦まで追いつめたが、



利根郡チーム

- 市部の部
- 一回戦 富岡 3-2 制生
 - 伊勢崎 5-0 安中
 - 前橋 2-1 沼田
 - 二回戦 高崎 2-0 富岡
 - 藤岡 4-1 太田



前橋市チーム

- 部の部
- 一回戦 多野 3-1 碓氷
 - 北群馬 2-1 佐波
 - 勢多 4-1 山田
 - 二回戦 利根 4-1 碓氷
 - 群馬 3-1 碓氷
 - 新田 2-2 北群馬(内容差)
 - 甘葉 2-1 勢多(代表戦)
 - 三回戦 利根 2-1 群馬
 - 甘葉 3-1 新田

昇段者

- (五月二十一日付)
- 八段 水井寿雄 (前橋)
 - 柴崎松太郎 (渋川)
 - 七段 正田昭平 (館林)
 - 松本大五郎 (高崎)
 - 関口孝義 (吾妻)
 - 荒井国義 (渋川)
 - 中島淳吉 (伊勢崎)

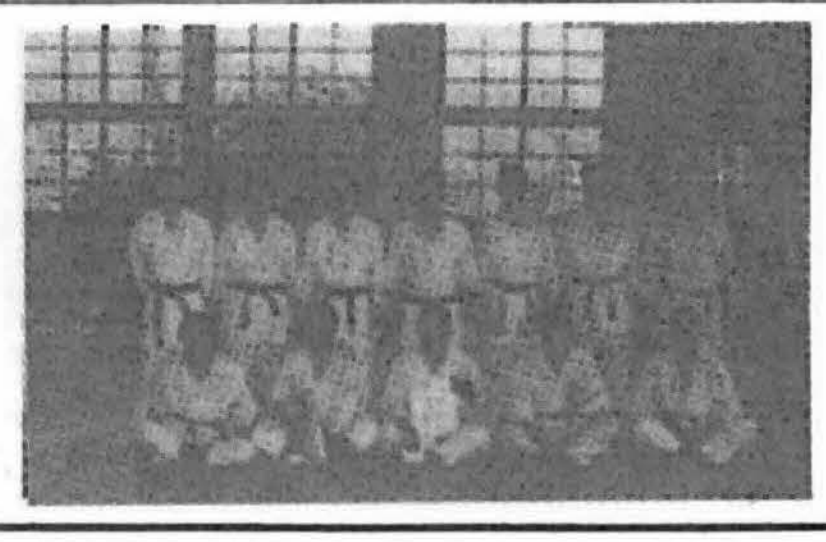
利根商が優勝

県高校新人大会

昭和四十八年度県下高校新人柔道大会は十一月二十五日、県武道館に県下三十八校を集めて開催された。

シード校は今夏の県選手権大会の上位四校だったが前橋商は上武・高に高崎工は太田工にそれぞれ二回戦で敗退、農大・高も準決勝で育英に敗れて決勝は利根商と育英の対決。育英は勝運に乗じて一気に初優勝の栄冠をかかものにせんと挑んだがいよ、歩の差でふりさられた。利根商は県選手権に続いて二連勝。

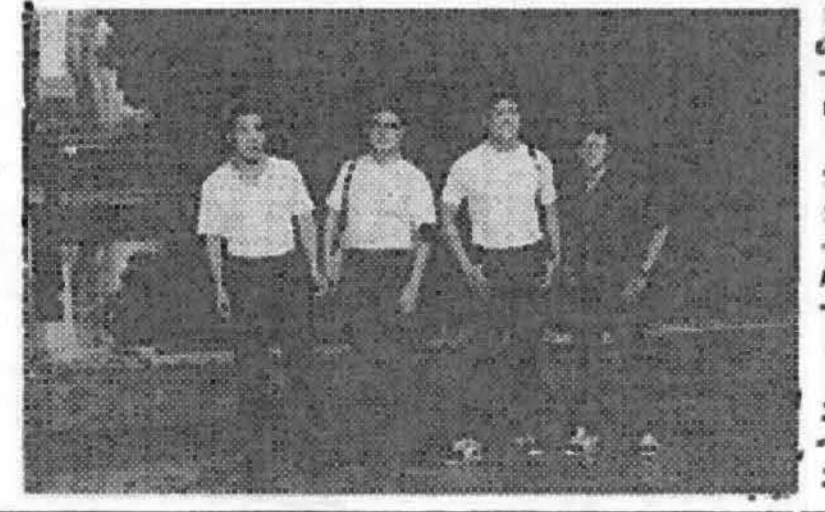
利根商は準々決勝で高に二対一の同点内容差で勝ち上がった。わずかに地方で勝った。渋川の善戦、決勝でも二対一の同点に迫りこまれたが大將原沢がすくい投げの奇手で一瞬にして育英の野望をうちくだいてしまった。利根商は去る九月五日に大黒柱佐々木庄二郎監督を輪換し、一時は悲嘆のどん底にくれたものの一致団結してその苦境をのりこえ優勝したのは賞賛に値する。林の内外廻り、堀江の内股は第一の切れ味である。育英はこのところ急に力をつけてきた。二人の大選手と三人の小選手チームだが二人の得点を生かして三人が負けない柔道をして決勝まで進出した。部員も少なく今まで低迷を続けてきた育英がここで大きく開眼した。努力と気



星野君サンボで世界二位に

一九七三年度の世界サンボ選手権大会はイランの首都テヘランで九月十一日から四日間開催された。本県出身の星野政幸(専修大学三年、三段)が九〇キロ級で輝く準優勝をとげた。本県からは他に佐藤勇夫君が審判員として参加した。

日本では本格的なサンボリストはほとんど居らず、柔道、レスリングの選手が兼ねて出場している。中でも柔道選手の方が投げ技でより有利なので好成績を飾っている。星野君は今回運ばれてサンボは初出場ながら平素の柔道そのままの実力で、よく準優勝までこぎつけた。一回戦から準優勝までは圧倒的強さで勝ち進み、決勝戦ではソ



左端 星野選手

- 準決勝
- 利根商 4-1 高崎商業
 - 育英 2-1 農大
- 決勝
- 利根商 3-2 育英
 - 堀江英也 内また 今井博
 - 中島豊 透輝 堀原正行
 - 山岸克弘 透足 大沢 均
 - 原沢研祐 すくい投げ小野信之
- オリンピックと本年の世界選手権のゴールドメダリスト。
- 一回戦 (スペイン) 星野 合せ技 セツシーニ
 - 二回戦 (モンゴル) 星野 判定 ラীগバ
 - 三回戦 (アメリカ) 星野 判定 ボーグマン
 - 四回戦 (アルゼンチン) 星野 合せ技 ドクトロフ
- 決勝戦(ソ連)
- 星野 判定 星野
- 星野政幸
- 専修大学三年、利根商業高出身。昭和四十二年県中学校個人優勝。昭和四十三年県高校一年優勝。昭和四十四・四五年団体出場。昭和四十五年全国高校大会出場。現在専修大学の選手として活躍中。

高崎市栄町68東口駅前

内堀整形外科

医学博士 内堀直文

電話 0273 22-8550

高崎市石原町493の1 聖石橋南

高他外科

医学博士 高他実

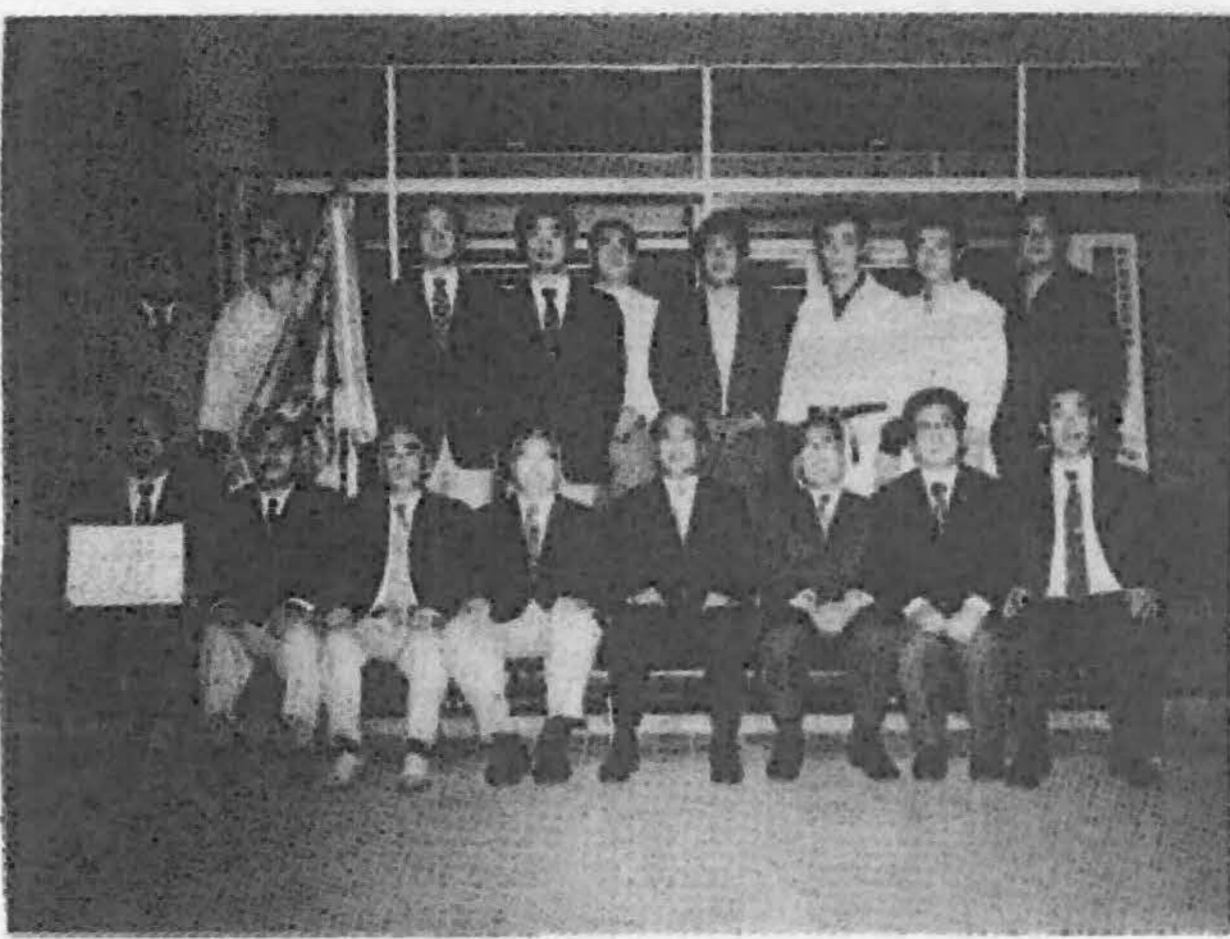
電話 0273 23-1212・23-8149・25-0791

新館増築につき看護婦並生従募集

前橋六連勝・富岡は三連勝

警察署対抗 柔道大会 一般警察合同

警察の覇者は高崎・富岡



一部優勝の前橋チーム

- 一部(七人制)優勝の高崎は今年、練習を十分積んだと見られ、必勝の意気込みで臨んだ。職業から全員そろって練習する機会はないと意気込みで、今年もノブパーもよく意気込みで練習に励み、中でも島田、小池の活躍がさわっていた。
- 前橋は金田が相変らずの強みを見せていたが、あとに続くのが岡子田一人では七人制では勝てない。岡子田も今はそれほど精彩がないが、これから大成する選手だろう。
- 二部では富岡の松岡、安中の神戸の活躍がめだつた。決勝戦では代表戦で両者の対決となり、松岡が一日の長で神戸を外れ、松岡が下した。三位になった大胡の彦取は、警察対抗では相手不足で、ほとんどの相手を一発の支え釣りでこみ足で仕留めていた。
- 合同大会では前橋がひらひらと一本背負いにかけて見た人も、一八五センチの浜が組んだとたん投げられていた。
- 全勝受賞者
- 警察対抗
前橋 金田正敏
高崎 小池勝範 島田誠司
大胡 彦取信行
- 合同大会
前橋 大胡 裕 倉林健明
高崎 宮原正孝
富岡 水井興治
伊勢崎 栗原広泰 栗原秀行
沼田 須田清七
警察対抗一部決勝
高崎 3-1 前橋
- ①島田誠司 合せ技 加藤理男初
②小島一夫 引分け 桑原文男2
③須田清久雄 優勝 岡子田親秀②
④野口成人 送襟絞 黒沢
⑤小池勝範 合せ技 櫻井 毅3
⑥長谷川茂 引分け 井上行雄3
⑦清水利男 内股 金田正敏⑤
警察対抗一部決勝
富岡 2-1 安中
- ①小林幸雄 背負投 板谷克義2
②伊勢崎実 引分け 内田晴雄2
田島 内股返 石岡和男②
⑤池津米司 引分け 野口益弘4
③松岡 宏 引分け 神戸幹夫3
代表戦
大外巻込み 神戸

昭和四十八年度群馬県警察署対抗柔道大会、一般警察合同柔道大会は十月二十七日県武道館において盛大に挙行された。

警察対抗では一部で高崎が前橋の四連勝を阻み見事初優勝した。二部では富岡が安中を代表戦で取り、通算三度の優勝を飾った。

合同大会は前橋、富岡が強力な布陣で順当に勝ち、前橋が六連勝、通算十勝のあげ、富岡も三連勝、二部制になってからは九回中の五回優勝の偉業をなした。



二部優勝の富岡チーム

- から左の一本背負いが出るとは誰も予想できなかった。実際に水井の一本背負いにかけて見た人も、一八五センチの浜が組んだとたん投げられていた。
- 合同大会 一部決勝
前橋 4-2 沼田
- ①大胡 裕 大外刈 九山一文初
②倉林健明 大外刈 鹿沼 清2
③倉林健明 優勝 須田清七②
④桑原文男 大外刈 須田清七②
⑤笹沢康博 優勝 大島 忠③
⑥井上行雄 体落し 清水秀男3
⑦池田 進 内股 吉沢 恒4
⑧金田正敏 引分け 石沢祥市4
合同大会 二部決勝
富岡 4-1 0 吾妻
- ①水井興治 大外刈 小野金太郎2
②伊勢崎実 内股 鹿野良雄2
③西川留吉 引分け 多胡孝三3
④松岡 宏 小内技 有後藤洋策3
- 高校の部 二回戦
群馬 0-1 3 奈良
千明正樹 払巻込み 豊田○
松沢 浩 引分け 藤 浩
九山一文 引分け 大平
伊丹弘明 背負い投 今西○
齋藤利明 大外刈 井筒○
- ◇一般の部 二回戦
群馬 1-1 3 大阪
3系井義一 引分け 松田5

健闘空し!! 千葉国体

高校・一般とも緒戦で惜敗

- 本年は高校は関東ブロックで二度の優勝をし、一般も強化練習をこまめに積みこんでの出場なので、かなり期待を持っていたが、いざ勝負に運に恵まれず初戦の対戦相手が奈良・大阪と超一流で残念ながら二回戦で敗退した。しかしながら一般の先鋒で水井三三が昭和四十年の第四回世界選手権の軽量級の選手権者松田五段に引分けをし、周東三段が青山五段に優勝勝ちした成績は立派であった。
- 昭和三十八年度国民体育大会は十月二十五日から二十七日まで、千葉県立館山市、県立館山高校体育館において開催された。
- ③周東正夫 優勝 青山5
⑤島谷俊美 〃 第九④
④福田利直 内また 西村⑤
③原沢 武 大内刈り 青井⑤

関東警察柔道大会

昭和三十八年度関東警察柔道大会は九月二十一日、日本武道館において行われた。成績は次の通り。

群馬 4-0 長野
群馬 3-1 群馬
栃木 3-0 群馬

なお個人戦は軽量級の周東、中量級の藤崎、重量級の田代選手が出場したが周東選手は強豪をうち破り初優勝した。

全国警察柔道大会

昭和三十八年度全国警察柔道大会は十月二十三日、日本武道館で行われた。本県は一回戦で山口県と対戦し、〇対四で敗れた。

群馬 2-1 4 山口

新装開店

赤城飯店

中国料理

●麺類・飯類・単菜各種
●出張卓料理承ります
●渋川・大胡線富士見役場前
●電〇二七二八八・二五八二

周東正夫選手 関東警察大会で優勝



九月二十一日、日本武道館で行われた昭和三十八年度関東警察柔道大会において、本県警察周東正夫三段が軽量級で二回戦を勝利した。これは本県選手にとっては初めての快挙である。

この日、柔道個人戦軽量級(七十キロ未満)の試合は第一試合場において警察庁、皇宮警察をはじめ関東各県から一者ずつ選ばれた十二人の選手によって行われた。予選リーグにおいては神奈川の諏訪間三段、静岡の堀川三段にそれぞれ勝ち、決勝トーナメントにおいては警察庁の森田四段、快勝戦では長野の柳沢三段をいずれも得意の背負い投げでうちとけた。またさの試合も徹頭徹尾攻撃し、まさか全力を出しきって戦い、観戦者も気持のよいほどであった。

軽量級の試合はとくに動きが激しく、相手の攻撃をうけていたのでは負け待つばかりである。最終先を取って攻撃に攻め重ねることが勝ちへの大きな要因となる。

周東正夫選手は得意の背負い投げに決して上手な技をはいえ、しかし、柔軟なからだ熱心な練習によって千変万化の相手の技をかみ砕くことも非常に進歩し、試合

設計・施工・建物のことなら

株式会社

水 清水工務店

代表取締役 清水 武 義

本社 高崎市上小埜町629番地 ☎43-0896(代表)

作業場 高崎市上小埜町1500番地 ☎43-0877

機材部 高崎市上小埜町581-1番地 ☎43-0877

高崎市議会議員

桜井 四五郎

さくら い よ ご ろう

盛大に第一回県下高段者大会

四十名が参加

第一回の県高段者大会は九月二日、県武道館において開催された。初めての試みであったが県下全境から選手が集まり、最年少は二十才の守屋五段と各年齢層におよび往年の秘技を競った。

- ◎個人戦
- ◎深代 弘 体落し 石井清一
 - ◎若木昭太郎 優勝 大島克巳
 - ◎石倉貞幸、上四方剛 本務史人
 - ◎金田正敏 引分け 野口雄望
 - ◎彦坂信行 返し技 堀込征吾
 - ◎栗原伝一郎 引分け 榎沢光雄
 - ◎星野 勉 引分け 田村修一
 - ◎湯浅齊夫 引分け 林 二郎
 - ◎下平慶助 内股 田中丞太郎
 - ◎柴崎洋行 上四方剛 柴宮喜義
 - ◎岡 久 引分け 品川進一
 - ◎浜田次男 不戦勝 伊藤龍雄
 - ◎三橋佐吉 内股 神宮七郎
 - ◎藤重紀郎 優勝 田中助吉
 - ◎守屋三郎 引分け 三橋佐吉
 - ◎野口雄望 引分け 大前 寛
 - ◎佐々木庄 引分け 足尾田長司
 - ◎六段の部
 - ◎鈴木元一 引分け 関口 浩
 - ◎関谷隆三 引分け 北風隆雄
 - ◎道藤次男 合せ技 光山武嘉
 - ◎佐藤準次郎 引分け 正田正巳
 - ◎松島一郎 引分け 光山武嘉

高崎市民大会

- 第二十八回高崎市民大会柔道の部は、昭和四十八年十一月三日(土曜日)、午前九時より高崎市民体育館で開催された。各部で熱戦が展開され戦績は以下の通り。
- ◎個人戦
- ▽小学一年の部 優勝岡田陽英、二位野野山一、三位辻雅文、大谷洋一
 - ▽小学二年の部 優勝寺沢保夫、二位吉原秀忠、三位宮下健一、四位原 崇
 - ▽小学三年の部 優勝志田健二、二位川島草、三位吉村幸宏、柳沢孝司
 - ▽小学四年の部 優勝持田潤一、二位松田道隆、三位岡田茂四、四位方田勉
 - ▽小学五年の部 優勝高橋敏二、二位志田健、三位田中慎一郎、四位田 実
 - ▽小学六年の部 優勝藤間一夫、二位村田健、三位須藤晋夫、四位須藤晋夫(附属)
 - ▽小学七年の部 優勝三木信行(城東)、二位佐々木信行(城東)、三位中野 年、四位吉田直樹(四)
 - ▽小学八年の部 優勝高橋昌夫、二位高橋昌夫、三位高橋昌夫、四位金井幹治、五位上 名
 - ▽小学九年の部 優勝藤井嘉光、二位藤井嘉光、三位藤井嘉光
 - ◎中学生
 - ▽大塚一陽 (一三)
 - ▽小柴伸一 (一四)
 - ▽大沢 均 (一五)
 - ▽石田 武 (一六)
 - ▽羽生健司 (一七)
 - ▽塩原正之 (一八)
 - ▽青木良光 (一九)

高工三連勝

県高定時制大会 第十八回県下高定時制柔道大会は九月二十三日、県武道館において行われた。

▽中学一年の部 優勝清塚邦彦、二位室岡隆二、三位諏訪文男、清水 敏

▽中学二年の部 優勝佐藤孝、二位の場欣也、三位橋本博、四位酒 五、五位青山裕二、石川清行、本藤博行、大久保昭昭

▽高校一年の部 優勝湯浅 高、二位関口(高工)

▽高校二年の部 優勝渡田政盛(経大OB)、二位松浦久仁美(経大)、三位内田敬(経大)、清水 彦(農大)

▽中学団体戦

- 優勝 四中
- 二位 一中
- 三位 長野中、塚沢中
- 四位 六中、片岡中
- 五位 高橋一、龍岡団地
- 優勝 農大二高
- 二位 高崎経済大学

沼田チームが優勝

県青年柔道大会 第十八回群馬県青年柔道大会は九月二十日午前九時半より、県武道館において開催された。

今年も前年、沼田市をはじめ県下八郡市から代表が集った。沼田は大将沼田清七選手、中堅小坂、優勝 農大二高

東北柔道に善戦

昭和四十八年の最後を飾る、恒例の群馬対東北柔道の対抗試合は十二月九日、午後一時から県武道館で行われた。東北柔道は岐阜、富山等各地を転戦し四勝四敗の成績、本県選手団は初段から三段までの十八名、高校の期末試験と重なって元気がなく、大分欠場したのは残念。東北柔道は高校を卒業して二年の選手ばかりで特練習量にゆうぶん、徹底的に攻めまくった。中盤で、村六と大きく引き離されたが原沢、岡東の団体選手がよく追いつけ、六の同点引分けとし、本県の面目を保った。総体的に体格で圧倒しなから、新鋭のない試合で東北柔道の若さで押し切られた感じである。

全群馬 6-6 東北柔道 初松沢 浩 優勝 2 落久保 久

徳永KKスポーツ

前橋市群馬大橋通り

ウインター用品いっさい承ります
TEL 24-3032

大盛況の前橋市民柔道大会

体力差が非常にあり、十人以上勝ち抜いて優勝する者も何人もあった。チビッコの試合では、もちろん技術的には未熟で、それらしい技をかける程度であるが勝とうとするおどけない真剣さが注目された。所属する道場や学校の影響が大きく、やはり何か得意技らしいものを持っている者が多かった。

- ◎個人戦
- ◎小学一年、二年 十四名
 - 一位 吉岡 徹 (城東)
 - 二位 中島信樹 (総社)
 - 三位 南木敏也 (城東)
 - ◎小学三、四年 二十六名
 - 一位 佐藤達也 (城東)
 - 二位 村田昌幸 (桂賢)
 - 三位 鈴木大輔 (岩神)
 - ◎小学生
 - 三位 大塚一陽 (一三)
 - 一位 小柴伸一 (一四)
 - 二位 大沢 均 (一五)
 - 三位 石田 武 (一六)
 - 一位 羽生健司 (一七)
 - 二位 塩原正之 (一八)
 - 三位 青木良光 (一九)

私と柔道

内堀直文

道徳は過去を美化する。今こうして筆を執っている、昔柔道着を着て汗がびしょりになって、練習した頃の事が浮んで来る。あの頃は又あの頃で楽しかったと思う。小学校の時、兄が高中で柔道をしていたので、稽古台に連れていかれた。その為か何時か自分も柔道をやえ、強くなりたかと思っていた。

初めて柔道を知ったようになったのは、高崎中学校へ入ったからであった。正確として一年から柔道を知り始めた。中学校二年になって友達に誘われ、柔道部に入った。毎日放課後柔道場に集っては、先輩にしごかれた。先生は田中良三先生であった。温厚しい紳士であったが、しんは強い人で、親切に私達を教えて下さった。足技が得意で腰を返り足もかけられた。

その後私は前橋医専(現群馬大学)に進んだが新設したばかりで柔道場もなく、練習する事も無かった。当時は又戦戦という混乱期でもあり、一般の人々も柔道をする余裕は無かった。併し何となく柔道をやってみたいと念願していたのは何ともし難い事であった。

その後前橋医専で、丁度下宿した所の傍に赤城道場が出来た。柔道場もなく、練習する事も無かった。早稲夜柔道に友人と練習に行き、稽古ですっかり暖かくなった。稽古ですっかり暖かくなった。身体を寒風に晒し頂上夜の夜空の星を仰ぎながら下宿に帰って来る。柔道をやってみたいと念願していたのは何ともし難い事であった。

その後前橋医専で、丁度下宿した所の傍に赤城道場が出来た。柔道場もなく、練習する事も無かった。早稲夜柔道に友人と練習に行き、稽古ですっかり暖かくなった。稽古ですっかり暖かくなった。身体を寒風に晒し頂上夜の夜空の星を仰ぎながら下宿に帰って来る。柔道をやってみたいと念願していたのは何ともし難い事であった。



土用稽古は最大の避暑

高崎市八間道路黒沢薬局北

牛込接骨院

柔道整復師 牛込岩尾 牛込弘明

電話 0273 23-0463 25-5941

株式会社 **リビングセンターみやかわ**

代表取締役 宮川喜一郎

取扱商品 銅品・民芸品
インテリア商品
ホーロー鉄器
ガラス製品

家庭金物用品・業務用品各種

ぐんまにはちば！関口道場

町の名所

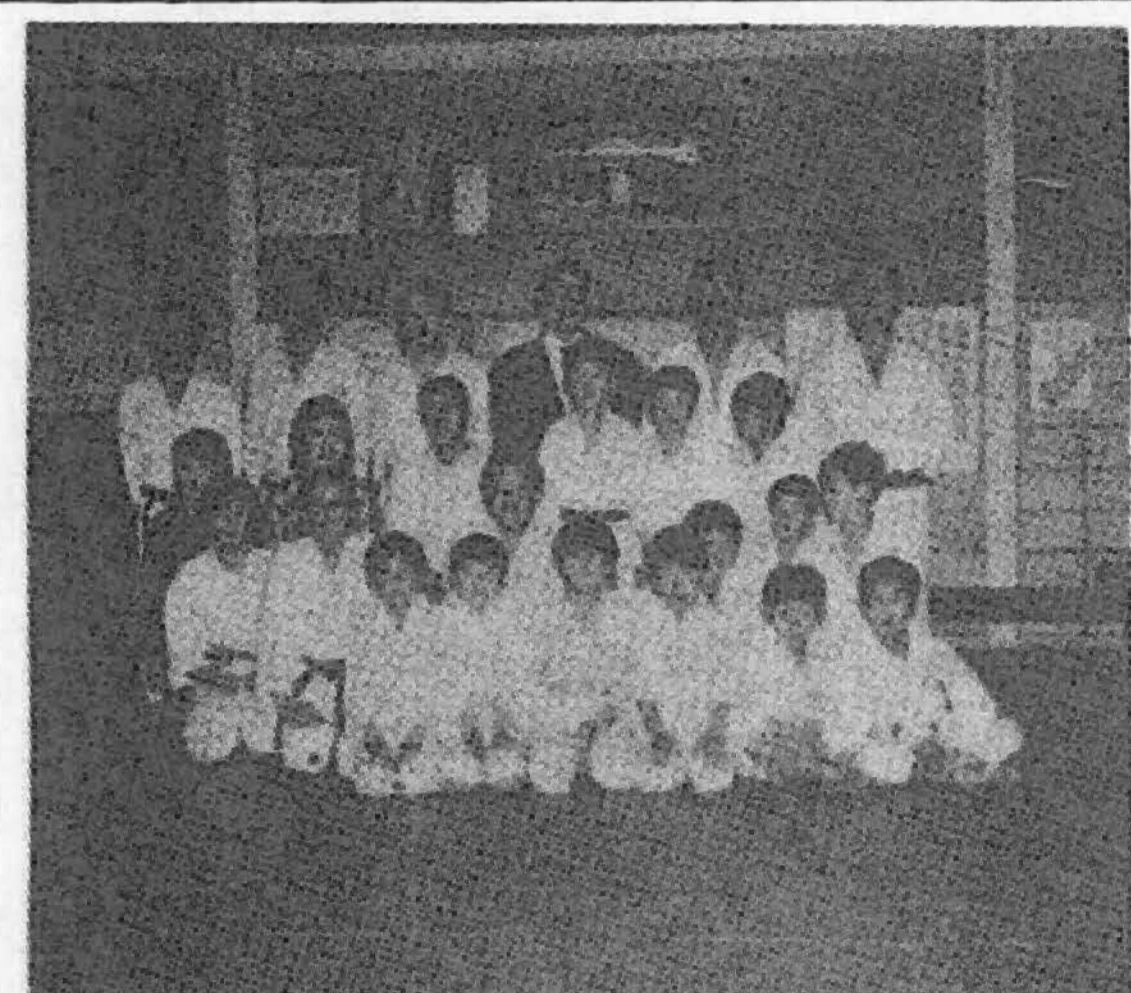
道場を超えた指導

十一月二十八日夜、吾妻郡中之条町の関口道場をお訪ねした。粉雪が舞っている。この冬はもう一度雪が降ったそうだ。



街の人に道場への道をたづねたら「あの山の明い灯が道場です」と教えてくれた。町の名物の一つでもあるようだ。関口先生の自宅から八百メートル、中之条駅から東へ一キロ余りの小高い丘の上にある。昭和四十一年にこの地を買って建てた時はまだ周囲には何もなかったが都市化の波はこまめに押し寄せてきた。でこぼこ道も舗装された。それでも街灯のないこの冬夜の道は練習に来るのにはほど道が好ましくない。つとよらない。肌をさすような寒さの中で子ども達が二十人ほどキイロイ声あげながら練習している。女の子も何人かいる。一般も五、六人。

この道場、個人の道場としてはおそらく群馬県一の大きさを誇る。広い敷地の中に約六五坪ほどの建物。六畳の和室に浴場、炊事場までついている。五十畳の道場の周囲は一間巾の板の間になっている。隅には卓球台も置いてある。柔道だけにこり固まらずに中広く何にでも興味を持つ子どもにしたいという館長の配慮だ。



関口孝義館長は群馬県の警察官だった。県代表として団体をほじめの各種の大会で活躍した。昭和三十

十五年警察を勇退して中之条町に接骨院を開院。同時に県柔道連盟支部の支部長に就任。地域の要望もあり、ご自分でも本年の夢であった道場を建てられた。代官古役には昭和二十三年頃中之条署勤務のかたから指導した林二郎五段や前橋署勤務当時指導した田村修一五段(旧姓大熊)があつた。この道場を建てたのは昭和四十一年のことだ。代官古役は「支部長としては当然です」とおっしゃるがなかなかできることではない。もともとこの先生、県柔道の普及部長でもあつた。この包容力に動かされて中之条高校の柔道部もよくこで練習するようになった。二階になった。今春県高校総体で二位になった。決して練習環境に恵まれているとは言えない。この学校が並みいる強豪を打ち破って県で優勝したことは関口先生をはじめ地域の強力なバックアップがあつたからだろう。評判を聞いて遠く原町からも女子高校生が二人練習に通っている。将来婦人警察官になりたい。これは熱心に通つて来るが、中学校になると学校の柔道部にはいつて練習するから夜またここにやってくる者はあまりない。しかし一

般にならざるを得ない。山間地のここの中学校の指導者は少ない。そこで道場の高段者が手分けして中学校へ指導に行く。自分の道場の門下生だけを指導するのではなく広く支部全域を見ている。支部長としては当然です。おっしゃるがなかなかできることではない。もともとこの先生、県柔道の普及部長でもあつた。この包容力に動かされて中之条高校の柔道部もよくこで練習するようになった。二階になった。今春県高校総体で二位になった。決して練習環境に恵まれているとは言えない。この学校が並みいる強豪を打ち破って県で優勝したことは関口先生をはじめ地域の強力なバックアップがあつたからだろう。評判を聞いて遠く原町からも女子高校生が二人練習に通っている。将来婦人警察官になりたい。これは熱心に通つて来るが、中学校になると学校の柔道部にはいつて練習するから夜またここにやってくる者はあまりない。しかし一

北橋村が優勝 勢多郡民道大会は十月十四日 国立赤城青年の家の柔道場において開催された。参加は新里、柏川、宮城、大胡、富士見、北橋、赤城の七町村。	優勝 北橋村 二位 赤城村 三位 宮城村
高崎経済大学が優勝 群馬県学生柔道大会 第十七回群馬県学生柔道大会は十月十七日午後一時より高崎高校柔道場において開催された。	優勝 高崎経済大学 二位 農大二高 三位 高崎商業高校
個人戦 優勝 岩本(高経) 二位 渡辺(高経) 三位 吉原(高経) 高橋(商)	六中が優勝 前橋地区中学校新人大会 第十五回前橋地区中学校新人柔道大会は十一月十八日に市内十二校を集めて県武道館において行われた。(丹羽)
優勝 六中 二位 元総社中 三位 二中、木瀬中	

外科・整形外科

関口病院

院長 関口恒五郎

渋川市辰巳町1703 ☎(2)2378・1648
自宅(2)0716

故佐々木先生を悼む

県高体連柔道部委員長 今井孝造

もって、生徒の指導と高校柔道に奮闘した結果が、こんな形で報いられたら、そのあまりの非運に、一瞬神仏を恨みたくもなつた。私は、私ばかりではなかったであろう。しかしながら、故人の偉大なる足跡と人格の立派さは、九月十四日の利根商業高等学校によって如実に証明された。あの盛大な学祭の中で、多くの名士に讃えられ、会場を埋めつくした列隊の回向に送られて、月夜の丘に眠

おくやみ

群馬県柔道連盟
新田・太田支部長 六段
群馬県後援会
太田・新田支部顧問、相談役
明治三十八年九月二十四日生
大正十四年群馬師範を卒業
昭和三十一年新田郡尾島中学校校長を最後に教職を退職。
同年接骨院を開院。

綿布団各種寝具製造販売

株式会社

井野綿店

井野 豊

高崎市倉賀野町1626 ☎0273(46)2319

流通機構の一翼を担いセンス!!スピード!!
サービス!!を3大目標として衣料全般にわたり活躍する総合衣料問屋

光

国光株式会社

取締役社長 吉野五郎

高崎市問屋町1-4-4 ☎61-5643(代)

嘉納師範遺訓

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛練修養し、新道の神髄を体得する事である。そうして是に由りて己を完成し世を補益するが柔道修行の究極の目的である。

ぐんま柔道

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

昭和49年度行事予定

期日	行 事 名	会 場
3月31日	全日本選手権関東予選会	山梨県
4月14日	関口林支部対抗試合	県武道館
5月3日	高校学年別選手権大会	県武道館
5月4日	全国高校生大会	県武道館
5月5日	全日本選手権大会	日本武道館
5月18日	高校総体関東高校選手権	県武道館
5月19日	全国警察選手権大会(個人)	日本武道館
5月20日	関東新人大会(三笠記念)	群馬県市
6月8日	関東高校柔道大会	平塚市
6月16日	高校選手権大会全国高校選手権	県武道館
6月23日	高校選手権個人選手権全国選手権	県武道館
6月30日	全国高校定時制大会	県武道館
7月7日	審判員講習会	県武道館
7月14日	団体一次予選(高校・一般)	県武道館
7月24日	対 陣 試 合	県武道館
8月2日	第23回全国高校大会	福岡市
8月3日	中学校総合体育大会	県武道館
8月5日	開平信科大学大会	宇都宮市
8月11日	県下中学校強化練習会	県武道館
8月11日	団体第二次予選(高校・一般・教員)	県武道館
8月11日	スゴーズ少年国大会	県武道館
8月16日	第5回全国中学校大会	県武道館
8月19日	柔道本部若中若女・団体選手強化練習会・形の講習会	県武道館
8月20日	高校講習会・強化合宿	県武道館
8月24日	関東教員団体ブロック予選	千葉県
8月25日	関東高校団体ブロック予選	千葉県
8月25日	全国高校定時制大会	県武道館
9月1日	選抜本部若中若女・県高校生試合	県武道館
9月14日	団体選手強化合宿	県武道館
9月15日	柔道場連合会大会	県武道館
9月22日	定時制高校大会	日本武道館
9月26日	青年柔道大会	日本武道館
9月29日	警察一般合同大会	県武道館
10月上旬	紙上審判会	
10月16日	開國神社武道大会	高崎高校
10月21日	第29回国民体育大会	日立市
10月22日	全国警察柔道大会	日本武道館
10月29日	全日本新人体重別選手権関東予選	県武道館
11月上旬	国民体育大会	県武道館
11月24日	高校新人大会	県武道館
12月1日	実業団大会	県武道館
12月上旬	対東北柔道試合	県武道館
50年1月1日	七・八段審査会	
1月1日	新年総会	
1月16日	段別選手権大会	県武道館
1月16日	選抜本部審査会	県武道館
3月9日	柔道選手権大会	県武道館
3月9日	柔道本部総会	県武道館

・柔道教室 毎週火・水曜 午後5:30 - 7:30 土曜午後2:00 - 午後4:00
 ・指定選手強化練習 毎月第1土曜 午後2:00 - 午後4:00 第3土曜 午後6:00 - 午後8:00
 会場 県武道館

警察勢が健闘

群馬県 選手権大会

昭和四十九年の県選手権大会は、開東選手権大会県予選は三月十日県武道館で開催された。試合は二十選手が参加し、初めは五アロクに分けてトーナメント戦にし、勝者五人によるリーグ戦の結果、岩木昭太郎五段が二年ぶり、二度目の県選手権者になった。この結果、岩木五段と大藤四段が県代表として三月三十一日山梨県甲府市において開かれる関東選手権大会に出場することになった。(数字は段位)

①片桐盛夫(警) ②市川康博(色) ③石橋吉一(警) ④大藤忠昭(警) ⑤深代 弘(警) ⑥徳水 詢(前) ⑦能登和夫(警) ⑧水井興治(高) ⑨小林広道(警) ⑩碓氷良一(甘) ⑪栗原秀行(伊) ⑫岩木昭太郎(警) ⑬鬼形 実(高) ⑭糸井 義一(警) ⑮田代忠男(警) ⑯佐藤 隆(高)

○系井 合せ技 福田 大藤 引分け 岩木 深代 上四方の糸井 岩木 小内刈り 福田 大藤 引き込み 糸井 深代 引分け 福田 二位決定戦 大藤 優勝勝ち 深代 優勝 岩木昭太郎五段 二位 大藤忠昭 四位 三位 深代 弘 五位 四位 糸井 義一 三位 五位 福田利直 四位 決勝リーグに残った五人は、いづれも群馬県警の選手。普段の稽古仲間、試合ははやや盛り上がり、欠けたが、その中で小糸糸井が一時の隙をついた大外落し、つづく小内刈の合せ技で福田を下したのが光った。

優勝した岩木は安定した試合ぶり、得意の小内刈で二勝をあげた。昨年の覇者大藤は、やや精彩を欠き二位決定戦で健闘の深代を下し、関東大会へのキープを手にした。注時に比べて、強さとも思えない警察勢に対して一人も決勝リーグに残らなかった一般の奮闘がまされる。

△決勝リーグ
 ①西川留吉(高) ②藤崎晴朗(警) ③木暮治(警) ④福田利直(警)

岩木、二度目の県制覇

警察勢が健闘

群馬県 選手権大会

岩木昭太郎五段が二年ぶり、二度目の県選手権者になった。この結果、岩木五段と大藤四段が県代表として三月三十一日山梨県甲府市において開かれる関東選手権大会に出場することになった。

育英念願の初優勝

群馬県高校総体 個人は堀江(利根商)

第九回群馬県高校総体体育大会の柔道部は第二十二回の関東大会の県予選を兼ねて五月十八、十九日の両日県武道館において行われた。十八日の個人戦では予選通り利根商の堀江が抜群の強みを見せて順当に優勝した。二位、三位は丸橋、萩原の上武勢が食いこんだ。十九日の団体戦では三年ぶりに前橋商が決勝戦に進出。昨年の新人戦で準優勝し、意気の上つている育英高と対戦した。内容は互角な戦いを増した育英高がわずかの差をつけて二点を挙げ、輝く初優勝を遂げた。

△個人戦(参加一三七名)
 優勝 堀江英也(利根商)
 二位 丸橋和重(上武二)
 三位 萩原正明(一)
 四位 高瀬一博(前橋工)
 五位 高田 昇(太田工)
 六位 橋本光高(上武一)
 上位三人は六月八日、神奈川県平塚市で行われる関東大会の個人戦に出場する。

△団体戦(四十五校参加)
 一回戦(上段が勝ち)
 利根商2-2富岡 前橋5-0桐生(代表戦) 榎名4-1桐工
 豊2-1洗高 沼田5-0万場
 中条3-1樹徳 育英4-0館林
 高崎2-1上武

準々決勝
 前橋2-1利根 高崎4-0榎名
 沼田2-2豊二 育英1-0中条

準決勝
 前橋4-0高崎 育英3-0沼田

決勝
 育英 3-1 前橋商
 長尾 優勝勝ち 小黒
 今井 引分け 青木
 小野 優勝勝ち 高橋
 ◎大沢 大外技有り 大沢
 ◎堀原 うしろけき岡の神尾(戦評)

例年のことながら高校総体は会場が異様な熱気に包まれる。この期間は各高校が体技に於いて一般生徒が自校の応援にかけつけるか、大歓声が上がる。個人、団体とも切れ味のよい味をのびしゅうがあつて観衆受けがした。しかし、裏を返して見れば練習不足で受けが弱いということだろう。

個人戦では各校とも翌日の団体戦に備えて戦手を温存していた感がある。しかしこの中であつて上位六人中に上武一高が三人を送りこんだのは立派である。昨年来急進に歩みの跡がうかがえる。

団体戦では中之家がよく健闘した。優勝した育英に対して準々決勝で、「技有り」を一本とただけだった。高崎、沼田、洗川、富岡も普通高で部員不足、練習時間も少ないわりには毎回好成績を挙げ、とくに高崎高は頭腦の取り口でよく勝ち進んだが準決勝では前橋に三対〇と大きく差をつけられた。高崎の頭腦の取り口を寄せつけない前橋の強さがあった。その前橋が決勝ではうって変わった拙攻で育英に破れた。二点とも勝とうとする気持が先行し、かむしゃらに攻めて行った隙をつかれた。育英高はじっくり構えてこの勝負をつかんだ。昨年の新人戦で二位、今回の総体で優勝と着実に力を伸ばしてきている。前橋の先鋒小黒の小内刈りは今大会唯一の芽えがあつた。六月九日の関東大会には上位四校と敗者復活戦で勝ち残り、利根商、豊大、高の六高が出場している。父兄の応援も盛んで毎回来ている。常連がある。そのほとんどが二回、三回は応援しているが、一部の学校には選手、監督席に並んで指をさしている「身内制」ムードが柔道の試合にはつきものである。しかし大会運営の面からは主催者観客ともこの辺で考え直してみる必要がある。

高崎市議会議員
 講道館七段

桜井四五郎

高崎市飯塚町1040 ☎ 61-8933・61-2502・61-5236

群馬県議会議員
 群馬県武道館運営委員会会長

腰塚治男

桐生市西久方町749 ☎ 22-3849

ロンドンパリ道場めぐり

北群馬・澁川支部

五段 柴崎洋行

本年正月、パリで柔道教師をして...



ブロンバス先生と形を示す

次はパリ国際道場で、度々今年...

に入り、一番感心したことは四十才...

六月下旬ブロンバス先生の門下...

全国高段者柔道大会...

私と柔道

川島泰一

私が柔道を習い始めたのは、昭和...

昭和三年四月旧制練馬中学に入學し...

とほめて下さったのを、いまだ...

私を考えた、女生徒に柔道を教...

桐生女子高校に於ける五年間の...



川島泰一

道場は約四十畳一面でシート敷...

五九才になろうとしている今...

同じく、形が入ってゆく要素を...

「先生が泊ってくださるので、比...

女子に柔道などという、何か...

吾妻郡接骨師会 水出 裕 二 相馬 福 郎 佐林 藤 次 郎 晶 郎

北爪接骨院 北爪健次・北爪隆雄・北爪徹 勢多郡大胡町河原浜715番地 ☎027283-2075

ごんんにちは桜井道場

全国大会で二度の優勝

人間の真心は、時間の長短を問はずに、いつか其の目的を達せようとする。しかし、夢を食って見ないといふのは、少年時代や世相の流動は時に折れてしまう事が多い。そんな中で、一貫した道程を歩み通す事ができたならば、正に、これこそが人生であらう。

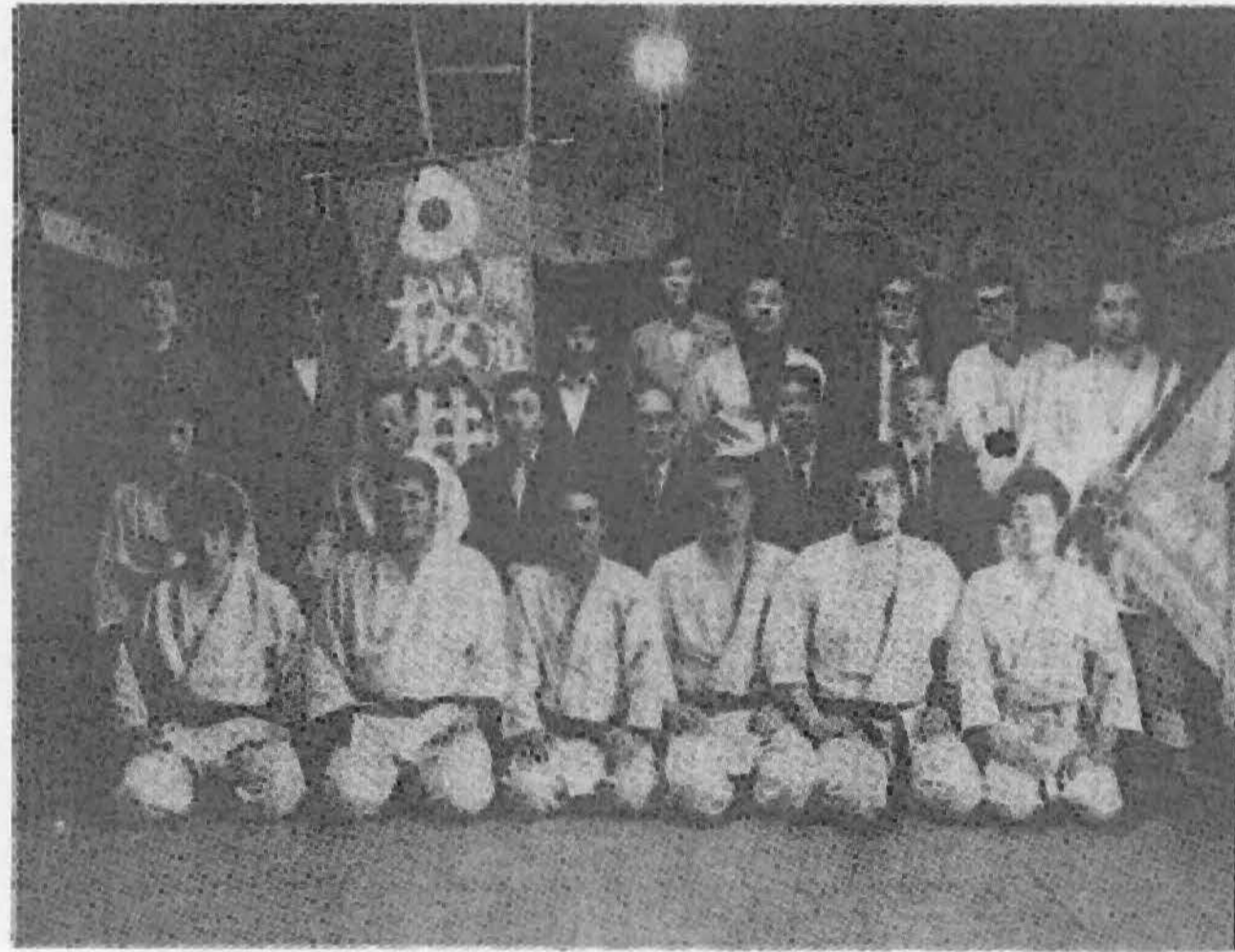
今回の道場訪問は、高崎市飯塚町順道館、桜井道場です。道場の周囲は住宅地になっておりますが、高崎市街地より間屋町団地に接する大通り、西方に県道高崎、津川線、北方は高崎、前橋、伊豆、南方に国鉄信濃線が相交し、踏切を渡る高崎市立女子高校があります。館長は桜井四郎七段です。

先生は、十三才の頃順道会、金井道場に入門しました。修業時代は、雨の日も風の日も、ゆるゆるの足で、そして、足の底が凍りつく冬の日にも稽古を休む事を全く知らず、文字通り柔道のムシとなり昭和六年初段になりました。柔道を始めたのは自分の意志からではなく、少年時代、余りに血気盛んで喧嘩早いことは、言語に絶するものがあつたところから、父親が、このエネルギーを他の物に向けようとする苦慮した結果、体力の向上もさる事ながら、その予防にたづなうたのであつた。

昭和50年から国体柔道競技の参加要項が一部変更になった。これにより従来関東地区予選があつた高校の部、教員の部は予選なしで国体へ出場することができ、従来高校の部は東京を除いた関東7県中5県出場、毎年出場権を得ていたが、教員の部は1都7県中1チームでこの部制が15年間の苦林を飲まされ続けたが、50年からは毎年出場できることになる。選手層も入れ代り、数も増したので選手も相当見ごたえのあるものにならう。また高校男子と男子名がなくなり、少年男子となり、年齢制限に入る者ならば高校生でも国際的な選手が育っており、心から味わいたが、選手二段をはじめ二十数名の女子有段者があり、大男、毅氏(前橋警察署刑事)も、父を、そして兄の補佐として汗を流しておると、しみじみ語る先生の横顔が印象的でした。

正義と、敢闘精神に生きる先生に、昭和四十二年四月、それまで十数年続けた群馬県柔道連盟高崎支部長の座を勇退し、高崎市議会議場の祝賀会を計画中です。今後の役員に初出馬、美事当選の誓いを胸に、柔道の道徳、桜井道場に光栄あれ。

(牛込記)



国体参加要項一部変更

三部門とも地区予選なし

昭和50年から国体柔道競技の参加要項が一部変更になった。これにより従来関東地区予選があつた高校の部、教員の部は予選なしで国体へ出場することができ、従来高校の部は東京を除いた関東7県中5県出場、毎年出場権を得ていたが、教員の部は1都7県中1チームでこの部制が15年間の苦林を飲まされ続けたが、50年からは毎年出場できることになる。選手層も入れ代り、数も増したので選手も相当見ごたえのあるものにならう。また高校男子と男子名がなくなり、少年男子となり、年齢制限に入る者ならば高校生

種別	種目	監督	選手
成年男子	一般	1	5
少年男子	一般	1	3
少年男子	一般	3	3

参加資格
年齢区分
成年男子 昭和32年4月1日以前に生れた者
少年男子 昭和32年4月1日以降に生れた者
成年男子一般
選手はその都道府県の在住者
体重別は従来と同じ

牛込接骨院

高崎市田町二二二〇
23-0463

金子君(前橋)が優勝

東京近県柔道大会

第二十七回東京近県柔道大会は三月二十一日午後一時から講道館で開催された。群馬からは次の九選手が出場。小学五年の部で出場した金子尚人君が決勝で東京の池田雅人君を合技で破り初優勝した。

また二段の部も永井興治君も健闘し三位に入賞した。この日審判員として参加した鈴木元一(六段)東警察署(高崎)はこの日初の試みの「優秀審判員」に選ばれ、表彰された。

小学五年の部
△決勝戦
金子尚人 合技 池田・東京
△一回戦
小学六年の部
△一回戦
本多博之 合技 寺本・東京(高崎)
△一回戦
中学一年の部
△一回戦
吉田直樹 合技 木村・東京(高崎)
△一回戦
中学二年の部
△一回戦

初段の部
△一回戦
小平喜正 優勝 渡辺・東京
△一回戦
大沢 均 優勝 橋谷・東京(育英高)
△二回戦
大沢
△二回戦
和田・東京
△二段の部
△準々決勝
永井興治 優勝 石井・千葉(富岡)
△準決勝
永井
△二段の部
△一回戦
西山・東洋大
△一回戦
井上・東京(富岡)
△四段の部
△一回戦
榎園 吉池・教大
△一回戦
福田直
△五段の部
△一回戦
岩木昭太郎 優勝 藤・神奈川(県警)

田島道場

二十周年を迎える

田島道場(館長田島行一八段)の創立二十周年記念柔道大会は新緑あふ五月十二日、午後一時から県武道館で開かれた。

昭和二十九年六月十三日に現在の群馬市城東町(旧一毛町)道場を開設以来すでに二十年、門弟の数は三千を超えたらう。前橋警察署、前橋刑務所、武徳会群馬支部、群馬道士会、弘道館開口道場、前橋中学校、前橋商業学校、前橋第二工業学校、県警察本部、県柔道連盟、前橋高校、群馬大学医学部等が教えた数は一万人をはるかに超すたらう。(道場に関する記事は本紙第八号、四十八年九月二十日号に詳述)記念柔道大会は小中学校が学年別、高校一般は段別で行われた。小学生の部では父兄の付き添いも多く、大声で声援を送る母親、ハミリカノラを向ける父親等会場は大にどわいだった。また東京から昔の縁友久原義之八段、浅見三平八段がかけつけ、古式の形の演武、続く祝賀会では前橋中学校時代の教え子安部一郎八段(柔道館副館長)等が祝辞を述べ和気あいあいのうちに会は終了した。

おくやみ

富所寛一郎八段
県柔道連盟
心癒うそくのため一月十三日死亡、七十三才

編集後記

本紙が創立以来満三年になんかとしております。創刊以来一部二〇円で皆さんのお手もへとおとどけていただきましたが諸物価高騰の波に抗しきれず、ついに三〇円に値上げになりました。その分だけ内容を充実しなければなりません。おわたの二協力をお願いします。(新井)

実業団大会に参加を!!

期日 12月1日
会場 県武道館
参加人員 選手5名・補欠1名
参加資格 県内所在の事業所を単位とする

- 現在10団体から申込みあり
- 積極的な参加を望む
- 申込みは支部または本部へ

くらしに自然を...心に愛を...

- 軽量シャッター・重量シャッター
- スチールサッシュ・アルミサッシュ一式
- SS雨戸・文化シャッター

(有)中屋熊五郎商店

社長 田口経雄
桐生市本町3丁目5番3号 ☎22-3783

園芸と観賞魚、小鳥とペット

たねと農薬

KIRYU GARDENS CENTER

清水義雄
桐生市中央ビル ☎45-2568

ぐんま柔道

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

嘉納師範遺訓
 柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修養し、斯道の神髓を体得する事である。そうして是に由りて己を完成し世を補益するが柔道修行の究極の目的である。

国体選手決る

一般は警察が独占

高校は関東連連を幸うして通過
 昭和四十九年の国体選手選抜は七月十四日に高校一般の一次、八月十一日に高校一般、教員の最終選手選抜が県武道館で行われた。

一般の部では予選参加者は、十六名で昨年比で若干多いが、それでも四階級で36名はちよつと心細い。各級の代表者は一名ながらも可能性の少ない選手は敬遠するのかわりに、ふだんから試合の機会が少ない、一般の選手にあつてはぜひ参加してもらいたい。選手への心がけもさることながら支部の上層部にも問題があるのかも知れない。

軽中量級は例によって糸井・周東の独壇場。糸井は連続四回、周東は連続六回の出場である。中量級は昨年の重最級の代表福田が決勝リーグを全勝で優勝。重最級は大藤と岩水が同率で首位。東海大出の野口は、一次予選では活躍したが二次予選では最下位の六位に甘んじた。大藤が一位決定戦で岩水を下し無差別級に出場し、二位の岩水が重最級の代表になった。

糸井も重最級で健闘したが警察勢。四、五日、千原町武道館で開かれた。高校の部と教員の部は八月二十



前列左から大沢(均)、萩原、後列左から原沢、大沢(哲)、堀江選手

- 高校の部** 全日初段
 一位 大沢均 育英二年
 二位 萩原正明 上武二年
 三位 原沢研祐 利根商二年
 四位 大沢哲夫 前橋商二年
 五位 堀江英也 利根商二年
- 重最級**
 一位 大藤忠昭四段 警察
 二位 岩水三三 三位 糸井(富)

- 中量級**
 一位 福田利直四段 警察
 二位 鎌崎三三 三位 原沢(警)
- 軽中量級**
 一位 大藤忠昭四段 警察
 二位 岩水三三 三位 糸井(富)

予選	1	2	3	4	5
1	○	△	△	△	△
2	△	○	△	△	△
3	△	△	○	△	△
4	△	△	△	○	△
5	△	△	△	△	○

高校の部
 群馬 0-4 千葉
 一回戦
 群馬 5-0 山梨
 二回戦

た関東地区予選に出場。高校の部は国体の開催地茨城県を除く六県中四位の最下位で予選を通過した。この数年関東で、二位の成績をおさめていたが、役員のシヨクは大きかった。教員の部は七都県で一チームしか本大会に出場できない。本県チームは一回戦で強豪千葉県に敗戦した。

教員の部
 先鋒 永幹敏明三段 中之条高
 次鋒 梶野三三 前橋東小
 中堅 中島寛四段 上武二高
 副将 松本邦太四段 前橋商
 大将 種井良一四段 下仁田東中
 成績

国体選手の横顔
 一般の部
 糸井三三 23才 警察高崎署勤務 軽最級 今春選考部長に昇任し、県警機動隊より転出。前商卒。前商の主将として44年の全国高校総体に活躍。三位入賞。国体通算五回、連続四回出場

周東正夫四段 25才 警察機動隊 軽中量級 樹徳高卒。41年全国高校総体軽最級五位。48年関東警察大会軽最級で優勝。44年から通算六回団体出場

福田利直四段 27才 警察機動隊 中量級 勢多農林高卒。40年重最級で全国高校総体出場。48年重最級で団体出場

岩水昭太郎五段 30才 警察機動隊 重最級 中之条高卒 県選手権48年、49年優勝。海外青年協力隊として47年、49年の二年間マレーシアで柔道指導。関東選手権48、49年出場。団体44、47、49年出場

大藤忠昭四段 25才 警察機動隊 無差別級 桐生商業高卒。県選手権48年優勝。49年、団体47、49年出場

一般の部 監督 萩原六段 (伊勢崎市 接骨師)
 監督 新井礼次郎六段 (勢多農林高校教諭)

高校選手権の説明は二面へ
 前列左から糸井、周東、後列左から岩水、福田、大藤の各選手



前橋六中が県制覇

個人は二年生の吉田 (前四中)

— 県下中学総体 —

団体戦	予選リーグ
多々良・館 2-3 榛名二群 " " 2-3 伊勢崎一・伊 榛名二群 1-3 " " 0-5 高崎一・高 " " 0-3 高山・吾 高崎一 3-2 " " 1-4 月夜野一・利 藤岡西・藤 1-4 月夜野一・利 " " 2-3 安中一・確安 " " 3-0 " " 3-2 渋谷川・渋谷 " " 1-3 邑楽・邑 " " 1-2 木崎・新 " " 4-1 強戸・太 " " 1-2 " " 2-3 富岡・富 " " 1-4 伊香保・北群 " " 0-5 " " 1-1 沼田・沼 " " 1-1 沼田・沼 " " 1-4 " " 1-1 高崎一 " " 1-1 高崎一 " " 2-2 富岡 " " 3-1 邑楽 " " 2-2 勢多東 " " 3-2 安中一 " " 4-1 榛名二 " " 1-1 伊勢崎一 " " 4-1 強戸 " " 1-1 伊香保	<p>決勝トーナメント 一回戦 上段が勝ち 前橋六 1-1 高崎一 (代表戦で引分け抽籤勝ち) 月夜野 2-2 富岡 (内容差) 強戸 3-1 邑楽 大間々 2-2 勢多東 (内容差) 伊香保 3-2 安中一 高山 4-1 榛名二 二回戦 前橋六 1-1 伊勢崎一 (代表戦) 月夜野 4-1 強戸 大間々 1-1 伊香保</p> <p>個人戦 高崎一 1-1 沼田 (代表戦) 前橋六 2-1 月夜野 大間々 1-1 高山 (代表戦) 決勝戦 前橋六 3-1 大間々</p> <p>個人戦 一位 吉田直樹 前橋六 二位 船橋武 高崎四 三位 今泉明宏 大間々 四位 佐藤幸 高崎一 五位 松谷陽一 大間々 六位 立木芳幸 高崎四</p> <p>敢闘賞(団体戦) 今井茂 下仁田東 斉藤修一 伊勢崎一 佐藤幸 高崎一 田村剛洋 伊香保 小寺真正 高山 山下幸夫 月夜野</p>



前橋六中の選手団

第九回の県下中学校総合体育大会は八月五、六日に県武道館においで行われた。参加者は各地区予選を勝ち抜いた団体二十一校と個人六十三名。団体戦では前橋六中が初優勝。個人戦では前橋六中の吉田が県下では初めての二年生でチャンピオンになった。

今年も全国的に不作で例年に比べてかなりレベルダウンしていた。各校とも部員不足であり練習しなかつても、選手になれ、地区代表にもなれるからだろうか。団体戦では高山、月夜野、大間々等の部の学校の健闘がめだった。優勝の前橋六中では無出場の選手は極性がほしい。北橋の小林も現在

この技術は推測であるが将来よい指導者がつけば大成する選手だ。中学校の試合は大きな試合の回数が少ないが、マナーの勉強をする機会が少ないため、マナーの悪さがめだった。下着のまま監督席に着く監督、総立ちになつてでんに思い思いのことを口走っている選手。骨という特殊な舞台には半ズボンに裸足、ランニングシャツ姿のまま監督席に座る姿はまことに場面にそぐわない。校内予選やうちの練習試合ではない公式の場であるということをまず監督自身が意識しなくてはならない。

道 場 新 設

東村柔友会

田島道場

館主 田島好美
佐波郡東村国定

玉村柔道クラブ

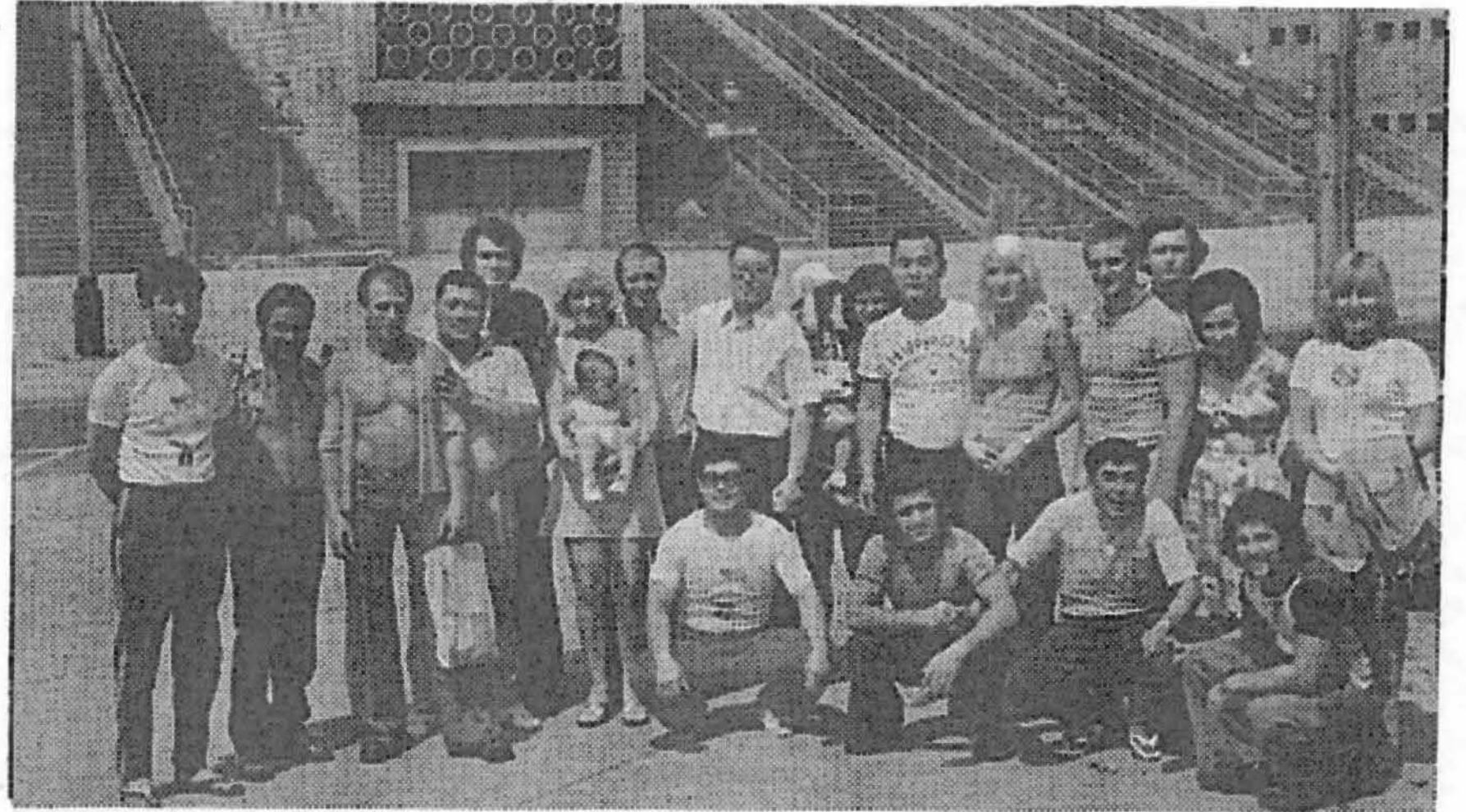
館主 石川明幸
佐波郡玉村町上福島

柏栄館

館主 柏井作次郎
伊勢崎市日之出町

ハンガリーを訪問

若手有志



スバルタックスの柔道場前広場にて 篠田選手映す

群馬県柔道連は昨年ハンガリー国のスバルタックス柔道クラブを招いたが、今年はその返礼として同クラブから招待された。連盟では会員に希望者を募ったところ下記のメンバーが希望して選手団を編成した。一行の日程は七月三十一日羽田発、コペンハーゲン回りで八月一日アムステルダム着、八月十三日まで合同練習、国内観光、八月

- | | | |
|---------------|-----|----|
| コーチ佐藤勇夫 | 34才 | 五段 |
| 渡下 藤田正明 | 25才 | 四段 |
| 桐生市 榎高教員 | 中量級 | |
| 石浜祥市 | 28才 | 四段 |
| 沼田市 白宮 | 中量級 | |
| 高崎市 警備隊学校生重屋誠 | 28才 | 三段 |
| 星野政幸 | 22才 | 二段 |
| 利根郡 専修大学四年重屋誠 | | |

49年度

審判講習会

和気あいあい裡に開催

昭和四十九年度、本連盟主催の審判講習会は七月七日県武道館で開かれた。昨年に続いての開催なので、初めての受講者は二十名と少なかつたが、全体では六十三名の盛況であった。講師は指導部の今井孝造、下平

審判講習会は七月七日県武道館で開かれた。昨年に続いての開催なので、初めての受講者は二十名と少なかつたが、全体では六十三名の盛況であった。講師は指導部の今井孝造、下平

私と柔道

尾林信夫

私が柔道を知り始めたのは太田中学校(旧制)に入学してからだ。当時の中等学校は、武道が正科で、柔道が制道のいすれかを選択しなければならなかった時代で、腕白

私が柔道を知り始めたのは太田中学校(旧制)に入学してからだ。当時の中等学校は、武道が正科で、柔道が制道のいすれかを選択しなければならなかった時代で、腕白



左肩を少いからせられた得意のポーズで道場通いした先生の姿は、あのお目に焼きついている。

柔道を通じて、私は多くのことを学んだ。それは、技術だけでなく、精神力の鍛錬、そして、仲間との絆を深めることだ。

柔道を通じて、私は多くのことを学んだ。それは、技術だけでなく、精神力の鍛錬、そして、仲間との絆を深めることだ。

柔道を通じて、私は多くのことを学んだ。それは、技術だけでなく、精神力の鍛錬、そして、仲間との絆を深めることだ。

柔道を通じて、私は多くのことを学んだ。それは、技術だけでなく、精神力の鍛錬、そして、仲間との絆を深めることだ。

柔道を通じて、私は多くのことを学んだ。それは、技術だけでなく、精神力の鍛錬、そして、仲間との絆を深めることだ。

柔道を通じて、私は多くのことを学んだ。それは、技術だけでなく、精神力の鍛錬、そして、仲間との絆を深めることだ。

柔道を通じて、私は多くのことを学んだ。それは、技術だけでなく、精神力の鍛錬、そして、仲間との絆を深めることだ。

広いコース・洗練された指導員・少ない経費で早い合格
大型・普通・軽四輪・自動二輪

伊勢崎中央自動車教習所

取締役社長 松島 佑治

伊勢崎市連取町1040 TEL (0270) 25-2080・4960

じんろくは！ 柴崎道場

楽しみながらする柔道を

国道17号線の坂東橋を渡って西へ五百メートルほど来た所に志道館柔道場がある。ここの半田は川市内とは言葉、まわりには桑畑がいろいろある農村地帯。その中にクリム色のしずくしずくな建物がある。これは指導者の研究を怠らぬ人たちの指導法を研究して建てた。二階建て、総面積二千坪、昭和43年に柴崎道場が暫くして退職された際田道場をこわして新築した。ここの多分になると近隣の子供たちが畑の間をぬって集まってくる。「自分からやろうと志しな者のみか成し得る。」というこころで志道館という道場名をつけた。そしてこれはまだ若き日からの館長の熱世の心がまぎれでもあった。

館長柴崎太郎八段はかつて警視庁丸の内警察署、東京高裁、最高裁、検察庁等の柔道師範を歴任された。試合歴も昭和八年の全国刑務官大会個人優勝を初め数々ある。しかし柴崎館長は自分の厳しかった練習をそのまま子供たちに仕込まない。「自分は好きだったから続けて来た。しかし、今もそのままでの練習方法を踏襲しては若し者には受け入れられない。柔道は楽しいものである。練習は楽しみながらやるもの。練習は楽しみながらやるもの。」

道場の歴史は古く、創立は昭和25年、二階建ての母屋の一階の一部をふち抜いて作った。当時は暫くの間、体力が下向きになると同時にしぼんでしまう柔道ではだめだ。工夫が足りないという。現に先生は38歳で全日本選手権の東京予選で一位になっている。「年齢に応じて柔道の内容も練習方法も変えていくべきだ。若者男女だれでもできるような方法を考えていかなければならない。高齢者になってやめてしまうのはまちがった柔道であるし、柔道の効用が身についたとは言えない。」とおっしゃる。「現今の修行者は投げられることを嫌うが登の固さも、因かも知らない。」と目下発泡スチロールを入れた畳を研究中である。柴崎館長はその昔は陸上競技の選手だった。短距離を得意とし、四百メートルで早大会へ出場したこともあった。柔道教師になってからは剣道の勉強も始めた。極の形を演じるのに刀を取っても握り方がまるで違ってはいない人もあるという。剣道の方もたちまち上達し昭和32年には五段になった。

老若男女誰もが楽しめる柔道。現在の柔道は力まかせの剛道が横行しているがこんな状態が続くといすれば柔道も亡びてしまう。柔道は柔道も亡びてしまう。柔道は柔道も亡びてしまう。柔道は柔道も亡びてしまう。



フランス人柔道教師ブロンパス氏夫妻を迎えて

暑中稽古皆勤者

群馬県柔道連盟本部の暑中稽古は八月十九日から五日間、前橋の県武道館で開催された。皆勤者は次の二十四名、カッコ内は支部

- 一 中島淳吉(伊)
- 二 森英樹(伊)
- 三 佐藤準太郎(前)
- 四 鈴木元一(前)
- 五 権沢光雄(前)
- 六 石倉貞幸(前)
- 七 林二郎(吾)
- 八 岩本昭太郎(前)
- 九 栗原流(前)
- 一〇 北沢広司(前)
- 一一 町田保則(前)
- 一二 福田利直(前)
- 一三 大藤忠昭(前)
- 一四 周東正夫(前)
- 一五 野口成入(前)
- 一六 阿部章(前)
- 一七 伊藤利市(前)
- 一八 能登和夫(前)
- 一九 以下全日前橋
- 二〇 藤崎晴郎、片桐盛夫、桑原文男
- 二一 安松角平、茂木守
- 二二 少年 安松元

桜井道場 三度目の全国優勝

全日本少年武道練成大会 第六回全日本少年武道練成大会二回戦は七月二十七日(日)、東京日本武道館に日本各地から千名以上の選手を集めて開催された。本県から出場した桜井道場は中学生の部第二会場に出場、圧倒的な強さを発揮し一回、第四回に続き三度目の全国優勝の偉業を成しとげた。浅沼道場も健闘し五位に輝いた。

一回戦 桜井道場 3-1 修道館 (岐阜)

二回戦 桜井道場 4-1 日上市柔道少年団(茨城)

三回戦 桜井道場 4-1 池田町柔道少年団(岐阜)

四回戦 桜井道場 5-0 久保田道場(神奈川)



小中学生とも 沼田が優勝 県スポーツ少年団大会 第十回群馬県スポーツ少年団大会は八月十一、十二時半から群馬県武道館において開催された。参加団体は小学生の部が六団体、中学生の部は十団体。成績は次の通り。

故、関口前会長の一週忌に憶う

伊藤頭道

故人と、六十有余年の友人としての立場から、去来する走馬燈の一駒を記述してみたいと思えます。昨年、六月二十六日午前零時四十五分七十四歳にして逝去せられた故人の、早くも一週忌を迎えるに際し、痛惜、哀悼の念を新たにす者であります。

故人は、六十有余年の友人としての立場から、去来する走馬燈の一駒を記述してみたいと思えます。昨年、六月二十六日午前零時四十五分七十四歳にして逝去せられた故人の、早くも一週忌を迎えるに際し、痛惜、哀悼の念を新たにす者であります。

故人は、六十有余年の友人としての立場から、去来する走馬燈の一駒を記述してみたいと思えます。昨年、六月二十六日午前零時四十五分七十四歳にして逝去せられた故人の、早くも一週忌を迎えるに際し、痛惜、哀悼の念を新たにす者であります。

故人は、又、学生時代の後半、四谷の上毛育英舎の寮長でもありましたが、その頃、食堂に飯柔道場を創設せられ、自ら柔道衣で実地の指導に当たられておりました。私もその熱意に動かされて、稽古に参加したことを、今でも記憶しております。故人はその後、学校の練習で、膝を傷められましたが、育英舎柔道部の練習は長く続いて参りました。

当時、群馬の柔道界は、不幸にも二分されて、正義感の強い故人は、日夜心痛されておりましたが、学校の休暇を利用して、強かったという文ではなく、その代から、偉大なるご恩父孝五郎先生の厳しい指導があり、加うる

あります。将来の統一を前提としたこのオルグ活動も、今は昔、懐かしい思い出となりました。かくして、後日一本化になり、柔道連盟が創設されたのも、故人の偉業の一つといふべきでありましょう。

これを要するに、群馬柔道の開祖、創業の恩人は、ご恩父、孝五郎先生であり、これを完成されたのは、故人の偉功といふべきであります。

このような、厳しい修練連続の日々を持たれた故人の行路にも、宴会などで、興いたれば、手拭、あねさんかぶり、赤襟姿で、どじようすくい演説するという、人間味豊かな一面があったことは懐かしい極みであります。

ここに、故人の一週忌に際し、在天の英霊に対し、心より追悼申し上げるとともに、故人生前の心を心として、関口恒五郎前会長を中核とする県柔道連盟の飛躍的発展向上の為に微力を尽すであろうことを、堅くお誓い申し上げます。

(群馬県柔道連盟相談役)

訂正

ぐんま柔道 第10号「私と柔道」の記事中に執筆者が「川島泰一」となっていました。「川島泰一」氏の誤りです。お詫びして訂正いたします。

編集後記

58年の「群馬同体」が確定した。その頃には現在のような得点競争ではなく、いすれにしても普及と強化はこの道に携わっている者全体の責任である。最近の学校柔道部の先細りについては、新井

内科・外科・整形外科

鶴谷病院

佐波郡境町大字百々421 TEL 4-0670

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 前橋市文京町二丁目14-12
 柳谷勝之宅
 電話 0272-21-5409

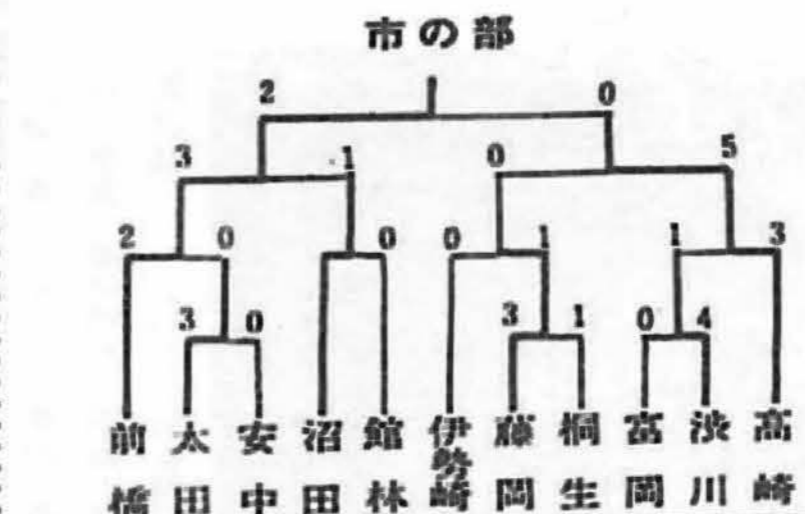
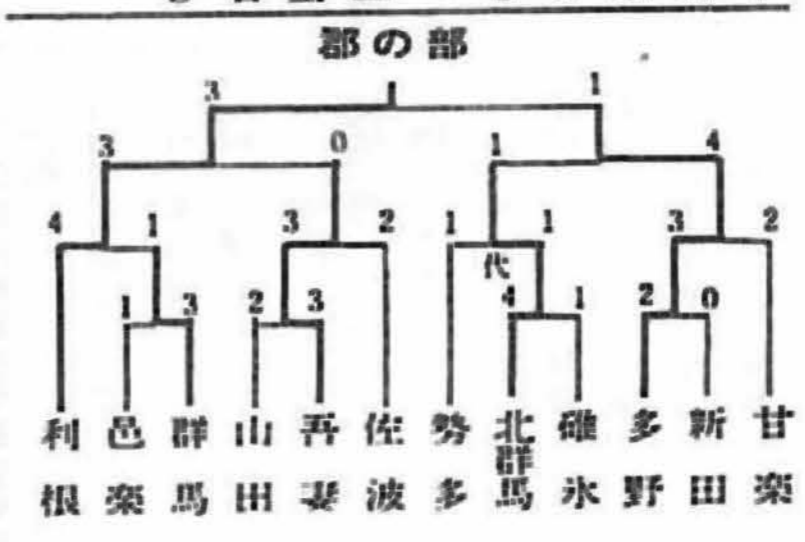
ぐんま柔道

高納師範遺訓
 柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し、斯道の神髄を体得する事である。さうして是によつて己を補益するが柔道の修業の究意の目的である。

第十二回 県民体育大会

第11回県民体育大会は十一月四日、県武道館において開催された。市の部では今年も前橋が強く必死に闘いながら高崎を振り切って優勝した。市の部では利根郡が断然の強さを発揮し、通算十一回の優勝を果たした。

県民体育大会は高校生、教員、一般の五名編成で試合をする。が教員の部の選手を出すのに各郡市とも苦勞しており、欠場するところもある。この大会は郡と市が別々に行なわれ、全試合が二十一日合なので二会場で行うと短時間で終わってしまう。せつかくの県民大会がわずかに三時間で終わってしまうのは残念だ。中学校の試合も各地で行われ、その実力もわかってきていることだし、一般の選手が二名というのでも少なすぎる。中学生一名と一般二名を加え、合計七名の選手で試合すればもっとともしよみのある試合になるだろう。



今年で第十六回にあたる群馬県警察一般合同柔道大会は、十月十三日午前八時三十分から午後四時まで、県武道館において行われた。

団体の編成は、各警察署単位に二チーム、計十九チームとし、これを二部二部に分けて、各予選リーグ及び決勝リーグ戦により順位までを決定した。

団体戦成績は別表のとおり。

○全勝賞受賞者
 伊勢崎 警察官 深津三郎
 吾妻 一般 宮崎 繁

また、この大会において、初め

今年度は、警察大会と切り離して別の日に開催したため、試合はリーグで発表していた。中学生による個人試合があったため、観戦者も多勢であった。(鈴木)



群馬県警察一般合同柔道大会

一部予選リーグ		二部予選リーグ	
組	対戦	組	対戦
1	利根 0 1 15 3	1	碓氷 0 4 35 4
2	邑栗 1 2 20 2	2	北群 1 3 21 3
3	群馬 2 8 72 1	3	多野 2 9 84 2
4	山田 0 1 10 3	4	新田 3 9 87 1
5	吾妻 2 6 60 1	5	高崎 1 5 50 1
6	佐波 1 6 60 2	6	勢多 1 5 44 2
7	勢多 1 5 42 2	7	桐生 0 3 30 3
8	北群 0 3 27 3	8	富岡 2 4 40 1
9	碓氷 2 9 87 1	9	浪川 2 4 40 1
10	群馬 1 5 39 2	10	高崎 2 4 32 1
11	山田 2 7 65 1	11	碓氷 0 1 10 3
12	吾妻 0 4 32 3	12	北群 1 2 20 2
13	佐波 1 5 39 2	13	碓氷 2 4 32 1
14	勢多 2 7 65 1	14	北群 0 1 10 3
15	北群 0 4 32 3	15	碓氷 1 2 20 2



第一回群馬県柔道連盟大会は十一月一日(日)、県武道館において開催された。これは県内の柔道界を賑わすための二年一度の大会を企画したもので、県内の十数郡市、十一チームが参加した。

柔道連盟には散発的に好選手がいるが、いずれも支部単位で試合に参加しており、出場選手のレベルは初めて、柔道連盟大会は全国規模ではいくつもの実力チーム間で行われているが、県内の試合は各県とも難しいところであるが、本県では底辺補充の意味で選抜あげて取り組み実現にこぎつけた。プログラム編成後、いくつかの団体から申込みがあり、来年まで待つこともあったが、今年は大きく発展するもよう。実力にはいくつもの格

東京三洋が優勝

したが後援選手がなくなり残念だった。予選リーグ

◇一組
 一位 東京三洋A
 二位 日立製作所高崎工場
 三位 高木建設

◇二組
 一位 キリンビール高崎工場
 二位 富沢整形外科病院

群馬県実業団柔道大会

三位 柏井建設
 二位 藤産業
 一位 王子製鉄群馬工場
 二位 神戶生絲
 三位 東京三洋B
 四位 東京電力群馬支店
 五位 明電電氣

準決勝
 一位 東京電力群馬支店
 二位 明電電氣
 三位 東京三洋B
 四位 東京電力群馬支店

県下高校新人戦

総じて今年の新人戦は各校とも力不足がめだつた。農大 高を除くと、三位のレベルは数年前のベスト六位から八位ぐらいのところか。二、二年部の過激化が急速に進み、選手、補員の七人を出すのに苦慮する学校が多くなつてきたのが最大の原因だろう。試合に申込みをしなから欠場した学校が四校あったのは遺憾である。

◇準々決勝(上段が勝ち)

農大 1-1 前橋商
 (代表戦)

高崎商 3-1 前橋工
 高崎 2-1 前橋工
 育英 2-2 利根商
 (内容差)

◇準決勝

農大 1-3 高崎商
 育英 1-0 高崎

◇決勝

農大 3-1 育英
 高崎 横四方商 大沢
 田野 合志校 町田
 関 小内刈り 成瀬
 清水 優勝勝ち 塩原
 平井 引分け 星野

群馬県接骨師会
太田新田支部

群馬県議会議員
荒 牧 栄 吉
 新田郡新田町大516
 TEL 02765(6)0337

国体 久びきの三回戦!

一般、静岡、沖縄に勝つ

三日目の一般の部ではよく健闘し久しぶり三回戦に進出した。一回戦 不戦勝

- 第二十九回国民体育大会は十月二十一日から三日間茨城県日立市日立商業高校において開催された。初日の高校の部では本県は岐阜県と対戦。三対一で惨敗した。二
- 一回戦
群馬 1-1 3 岐阜
1 藤原明 上四方尚 高橋①
1 堀江英也 合せ技 堀①
- 二回戦
群馬 2-1 1 静岡
3 糸井義一 引分け 堀川③
3 岡東正夫 内股 村松②
4 堀田利直 引分け 並森②
⑤ 岩本昭太郎 合せ技 宮崎②
④ 大藤忠昭 内股 高田⑤
- 三回戦
群馬 1-0 3 沖縄
2 糸井 引分け 興漢②
③ 岡東 優勝勝ち 新垣③
4 堀田 引分け 石垣③
5 岩本 引分け 浦崎⑤
4 大藤 引分け 伊志嶺④
- 四回戦
群馬 0-1 3 大阪
3 糸井 引分け 梶原①
3 岡東 引分け 藤原⑤
4 堀田 優勝勝ち 谷野③
5 岩本 内股 西村⑤
4 大藤 私技有り下村④



湯浅副会長叙勲祝賀会

群馬県柔道連盟の副会長湯浅太郎八段(73才)の勲五等瑞宝章の叙勲祝賀会が十一月一日(日)午前十時から高崎市の高崎神社において開かれた。この日の出席者は各界の名士が二百名を超え、中曾根連盟大臣(代理)浜名一雄県体協会長の挨拶が述べられた。湯浅副会長は昭和二十四年に本県柔道連盟結成と同時に指導部長に就任、以後県柔道連盟会長、関東柔道特別審判員、県体協理事長、県柔道連盟審判員等を歴任、長年の功績が認められたもの。昭和二十七年自宅に開設した道場は門下二、四百名を超え、ドイツ、カナダへ指導者を派遣している。写真は、湯浅の洋子さんが花束を贈る湯浅副会長。

関東警察柔道大会

昭和四十九年度関東警察柔道大会は九月十六日、日本武道館において行われた。参加チームはA組が警視庁、神奈川県、千葉県、東京都、群馬県、栃木県、茨城県、新潟県、群馬県、山梨県の十二チーム。A、B組ともに団体リーグ戦で行われた。群馬はB組一班に出場し、勝一敗の成績でB組の三位に終わった。この大会のA組優勝は警視庁、B組優勝は埼玉であった。今年度初めて十五歳級で九名試合という方式をつたが、群馬のような選手層のうすい県には不利のようである。(鈴木)

群馬 ① 2 茨城
群馬 ② 2 埼玉
群馬 ③ 2 埼玉

本県の選手
岩本昭太郎五段 町田保則四段
大藤忠昭四段 田代忠男二段
野口成人二段 片桐盛吉二段

全国警察柔道大会

今年度全国警察柔道大会は、十月十九日、日本武道館において北は北海道、南は沖縄県まで全県参加で行われた。本県は、二部(四十チーム)団体トーナメント戦に出場し、初戦で群馬と対戦した。群馬 3-1 群馬
引分け 群馬
引分け 群馬
引分け 群馬
引分け 群馬
引分け 群馬

栃木県が圧勝

第五回群馬・栃木県親善大会

第五回群馬・栃木県親善大会は過去成績(勝)のあとをうけて十一月十七日、宇都宮市作新学院柔道場において行われた。この日はフォード大統領の来日の警備のため両県とも警察が出場できなかった。群馬は一段の前半まで対等に戦ったが後半からうすれ始め、十一対六という予想外の大差で敗れた。

① 山岸彦彦(利)内股 関中①
② 清水二彦(高)優勝 関安①
③ 大沢哲夫(北)引分け 福田①
④ 原沢研祐(利)背負技有小川①
⑤ 藤原正明(勝)引分け 山川①
⑥ 堀江英也(利)送技絞木衣①
⑦ 大沢均(前)引分け 佐藤①
⑧ 丸橋和重(勝)優勝 藤木衣①
⑨ 二本木幹夫(高)引分け 柳田②
⑩ 渡辺進(高)優勝 坪山②

① 山田宏男(勝)大外刈 川島②
② 白石豊樹(前)背負投 菊地②
③ 須田広美(勝)送足私木自決②
④ 入沢拓夫(勝)送足私木自決②
⑤ 鈴木正明(前)引分け 佐藤②
⑥ 鈴木正明(前)引分け 佐藤②
⑦ 大内裕(利)大内刈 藤島③
⑧ 水井善治(高)引分け 前田③
⑨ 三島廣行(勝)横四方固内③
⑩ 三川雄吉(伊)引分け 菅沼③

① 佐藤隆(高)成田④
② 橋本幸男(桐)横四方固岸④
③ 藤田強二(高)背負投下和田④
④ 4 藤田強二(高)背負投下和田④
⑤ 4 藤田強二(高)背負投下和田④
⑥ 4 藤田強二(高)背負投下和田④
⑦ 4 藤田強二(高)背負投下和田④
⑧ 4 藤田強二(高)背負投下和田④
⑨ 4 藤田強二(高)背負投下和田④
⑩ 4 藤田強二(高)背負投下和田④

沼田中学が優勝

県下中学校新人柔道大会

- 第一回県下中学校新人柔道大会は十一月十日、県武道館で開催された。各地区代表が全県は出そろわなかつたが参加校は二十四校(三校)との予選リーグのあとトーナメント戦を行い、沼田中学が優勝した。(上から、一、二、三、位の順)
- 沼田 沼田北 万場
一組
二組
三組
四組
五組
六組
七組
八組
九組
十組
十一組
十二組
十三組
十四組
十五組
十六組
十七組
十八組
十九組
二十組
二十一組
二十二組
二十三組
二十四組

勢ぞろいした出場者

年未慣例の群馬県柔道連盟対東北柔道専門学校対抗柔道試合は十一月八日(日)午後一時半から県武道館で開催された。東北柔道チームは十一月一日以来栃木、群馬、茨城、高知、徳島、香川、三重と対戦し二勝四敗の成績。歴戦の疲れも見せず八対三で全群馬の優勝を奪った。本県は初段に今年の高橋の団体選手、二段には県警の主力選手を配して臨んだだけにこの予想外の大敗には大きなショックを受けた。東北柔道の選手はほとんどが高校卒業後一、二年でこちらの方が経験はかなり上のはず。二点の得点のうち二点を高校生が得点し、一般の得点があるに一点のところが問題だ。今年も団体でこそ三回戦に進んだものの、先日の対栃木戦に十一対六で敗れ、今回また八対三の大差で敗れたことは本県としては、強化委員会を設け、積極的に選手強化策を実施しているだけに問題だ。敗因を徹底的に究明していかねばならない。

全群馬 3-1 東北柔道
1 大沢 引分け 2 藤村
1 大沢 前高橋方面②小堤

① 原沢・上武 引分け 2 藤井
② 原沢・利高 小外刈り吉川
③ 堀江・ 優勝勝ち 佐久間
④ 藤原・ 背負投 吉永
⑤ 白石・ 引分け 2 吉村
⑥ 藤原・ 引分け ⑦ 阿部
⑧ 野口・ 引分け ⑨ 角田
⑩ 2 片桐・ 優勝勝ち ⑪ 宮原
⑫ 藤原・ 大内刈り小堤
⑬ ⑭ 代・ 優勝勝ち ⑮ 木下
⑯ 3 水井・ 高田 引分け ⑰ 高田
⑱ 3 藤田・ 東海大 ⑲ 3 松田
⑳ 3 藤原・ 引分け ㉑ 藤原
㉒ 3 藤原・ 引分け ㉓ 藤原
㉔ 3 藤原・ 引分け ㉕ 藤原
㉖ 3 藤原・ 引分け ㉗ 藤原
㉘ 3 藤原・ 引分け ㉙ 藤原
㉚ 3 藤原・ 引分け ㉛ 藤原
㉜ 3 藤原・ 引分け ㉝ 藤原
㉞ 3 藤原・ 引分け ㉟ 藤原
㊱ 3 藤原・ 引分け ㊲ 藤原
㊳ 3 藤原・ 引分け ㊴ 藤原
㊵ 3 藤原・ 引分け ㊶ 藤原
㊷ 3 藤原・ 引分け ㊸ 藤原
㊹ 3 藤原・ 引分け ㊺ 藤原

柔連北群馬澁川支部

支部長	6 段	関小島	久恒	一夫
副支部長	6 段	竹田	恒教	雄三
	6 段	田内	昭正	晴行
	5 段	崎	洋	
	4 段	柴		
事務局	5 段			

澁川市半田1108の2 柴崎道場内 電話 2-2085

総合建設業並に生産販売

加藤土建一級建築士事務所

源加藤土建株式会社

取締役社長 加藤 源 治

本社 澁川市半田2803 TEL (02792) (2)2151 (大代表)

軽井沢の奥座敷 浅間高原 寿の郷

高級分譲別荘地

寿産業株式会社

社長 加藤クニ子

本社 澁川市半田2803 電話 (02792) (2)1710 (代)

群馬事務所 吾妻郡高崎町大前1763 電話 浅間高原 (02798) (6)2811 (代)

大前事務所 吾妻郡高崎町大前字細原2076 電話 浅間高原 (02798) (6)2815

对栃木親善試合に参加して

桜井 弘

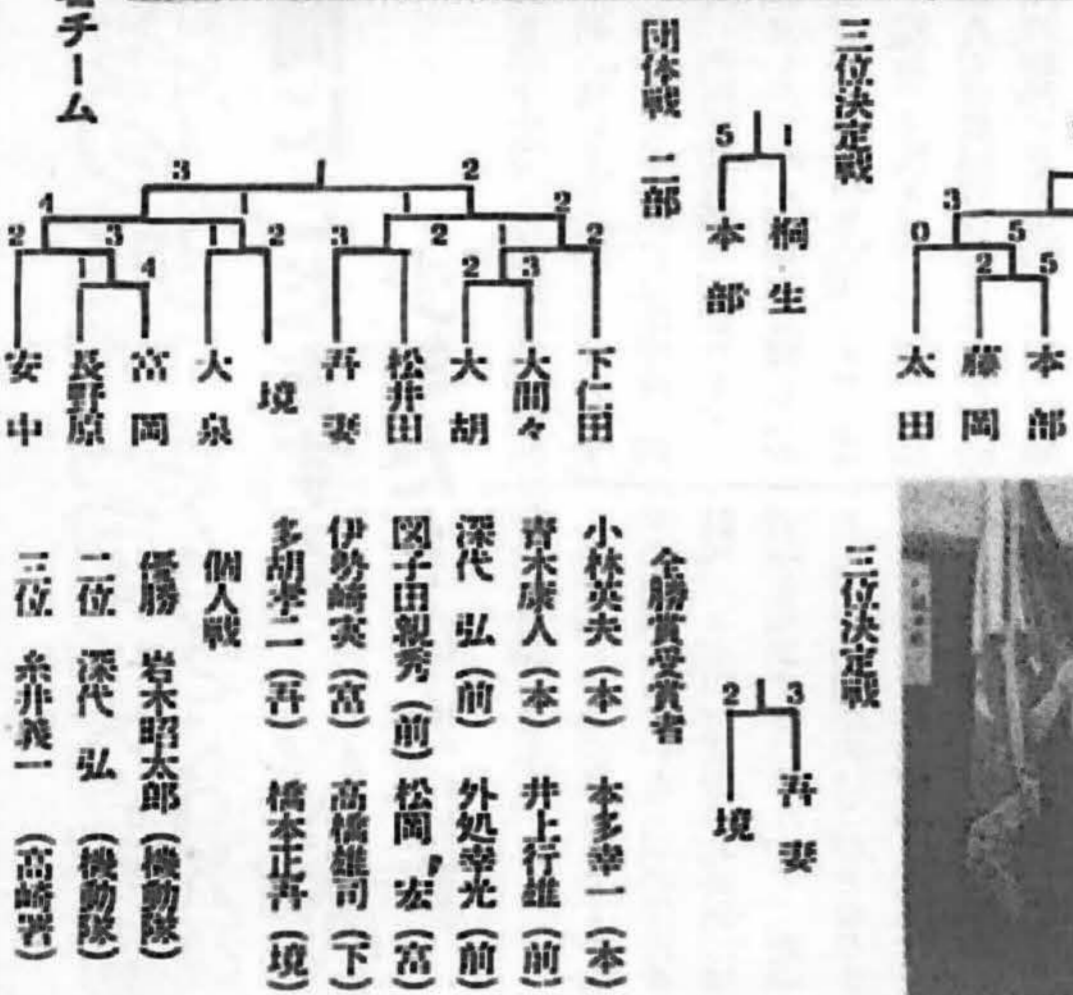
素晴らしい友情と闘争
十一月十七日(日)宇都宮市庁
新学苑武道館において行われた栃
木・群馬柔道大会は小雨降る
肌寒い日にもかかわらず選手一同
元気に試合に臨みました。参加し
た選手一人として情熱あふま
らぬ活躍を見せました。そして
引率され敵地宇都宮に乗り込み
ました。日頃県内の高校、一般の
大会で戦っていた選手諸君もこ
の日は明るい表情で試合に臨
み、光景が車中からこちらで見
受けられました。何となく今日
の共通の敵は栃木県勢なのだ。最
近行われた県民大会、民衆大会等
であんなに嬉しい奴だった各支部の
選手達がこの日はこんなにもい
とおしく、親しく思われるのには思
いもありません。それだけ選手
の士気が高揚したのです。役員
の士気もまた高揚した。役員

群馬県警察柔道大会

昭和四十九年度群馬
県警察柔道大会は、警
察法施行二十周年を記
念して、九月十六日(金)
午前八時三十分から午
後四時までの間、県武
道館において行われた。
団体戦は、県本部
警察学校及び各警察署
単位とし、一部十二団
体、一部十団体制でト
ーナメント戦により行な
った。



前列は表彰を受ける前橋選手チーム



三位決定戦
桐生 1
本郷 5
三位決定戦
下田 2
大間々 2
大胡 2
松井田 2
吾妻 2
境 2
大泉 2
富岡 2
長野原 2
安中 2
全勝受賞者
小林英夫(本郷) 本多幸一(本郷)
青木康人(本郷) 井上行雄(前橋)
深代 弘(前橋) 外池孝光(前橋)
岡子由規(前橋) 松岡 宏(前橋)
伊勢崎実(富岡) 高橋雄司(下田)
多胡孝一(吾妻) 橋本正典(境)
個人戦
優勝 岩本昭太郎(機動隊)
二位 深代 弘(機動隊)
三位 赤井 一(富岡)

先手から選手団に飲み物やつ
みの差し入れがあり、呑むほどに役
員 選手が胸襟を開き愉快に語り
合いました。高校生グループも日
頃の仇敵が肩を並べて歓談して
いる様子はまるで仲良し旅行のよう
でした。桐生の乗りにあつた間の
間に一緒に食べた差し入れの歌その
味はまた格別で、寒風の吹くプラ
ットホームを苦にならず、選手、
役員が一体になれたとつくづく感
じました。今日は対県試合の場合
には前日に役員選手が一室に泊り
込みチームワーク良く試合に臨め
るという精神の団結と発展が図
れるものと感じました。また県選
手団のマークの着用も望みます。
当日はフォート大統領の警備のた
め警察の選手が参加でき
なかつたのは残念でしたが、とも
あれ久しぶりに愉快な観戦柔道大
会でありました。
(群馬県選手団主将)

私と柔道
秋原 哲夫
今から二十年前、吉井中学校に
入学した時の私は、最初、野球部
に所属していた。ところが、先輩の
勧めでやっていた柔道部の練習を
見る度に魅かれてゆき、ついに柔
道部に転部した。小学校以来、
教師を相手にする習慣がなかった
私は、とにかく体を無性に動かす
たかつたのだに違いない。部長は、
数学の担当先生であつた。先生は
練習の大切を指導され、又柔
道の心を指導しながら教えて下
さつた。入部しての我々は、先
生に愛をもたれて教わらうに來る
日を来る日も送られた。それで
私は、一度も柔道をやめようと
は思わなかつた。あの頃の充実感
あふれる確けは今でも忘れられな
い。初めての試合は、藤岡の八幡
様の大会であつた。境内で行われ
非常に沢山の観客が居り、私は
あがつてしまふ足が地につかない
ような状態であつた。相手は同じ
群馬時代

群馬県高段者大会
第一回県高段者大会は九月一
日、県武道館で開催。今年は五段
二十四人六段六人の選手が参加し
た。高段者になると年齢も高くな
り、最年少は前橋の大島哲也五段
の三十才。当然試合に出場する回
数も少なくなる。往年の腕を揮舞す
る機会も少い。したがつて出場す
る選手はほりきりようほいたした
もので、お祭り気分はみじんもな
く真剣そのもの。背汗をかいての
奮闘に観衆も惜しみない拍手を送
つた。
上段が勝ち(数字は年輪)
五段の部
堀川 伊三 引分け 大島 哲也
金田 賢三 合せ技 栗原 前四
産原 賢三 四方固 小山 桐三
石井 賢三 扱い 田村 吾三
横沢 賢三 釣込腰 柴崎 浩三
木村 賢三 大外刈 田中 伊三
中島 賢三 四方固 藤重 前四
常規 伊三 引分け 林 吾三
堀田 伊三 四方固 湯淺 高四
△小島五年の部(48)

二年生であり、理よく一本勝ちを
おさめられた。あの時の嬉しきは、
格別であつた。中学二年生の時は、
多野部大会で圧倒的な勝利をおさ
め、群馬県大会に出かけた。県
大会では敗戦を喫した。その時
は大きなショックを受けた。つま
り自分の技を以て試合のかけ引き
の未熟さを感じ知らされたのであ
つた。
クラス対抗の選手
昭和三十三年高崎高校に入学し
た。その時から、文学により大きな興味
を持ち始めた。柔道は、正確に
入部しての我々は、先
生に愛をもたれて教わらうに來る
日を来る日も送られた。それで
私は、一度も柔道をやめようと
は思わなかつた。あの頃の充実感
あふれる確けは今でも忘れられな
い。初めての試合は、藤岡の八幡
様の大会であつた。境内で行われ
非常に沢山の観客が居り、私は
あがつてしまふ足が地につかない
ような状態であつた。相手は同じ
群馬時代

- 原口 健三(高四) 神宮 洪一(田島)
- 牛込 高三(引分け) 鎌塚 高三(田島)
- 藤井 前四(跳腰) 藤山 藤三(田島)
- △六段の部
- 鈴木 前四(引分け) 宮沢 前四(田島)
- 北沢 賢三(体落し) 山下 高四(田島)
- 佐藤 前四(四方固) 光山 伊三(田島)
- △道場連合会大会
- 群馬県道場連合会大会、群馬
県道場少年団主催の第十二回柔
道大会は九月十五日に県武道館に
おいて進行。県下十九道場から四
四五名の精鋭が集つた。
各級入賞者は次のとおり。
△小島五年の部(40)
- 一位 清水宏明(四)
- 二位 南正正樹(四)
- 三位 飯野圭一(湯淺)
- 四位 飯塚純也(新井)
- △小島五年の部(46)
- 一位 星野 隆(四)
- 二位 吉原秀志(桜井)
- 三位 寺沢保夫(桜井)
- 四位 石橋雅夫(富沢)
- △小島五年の部(48)
- 一位 佐藤 幸(桜井)
- 二位 船橋 武(桜井)
- 三位 青山 隆二(桜井)
- 四位 新井 康雄(永井)
- △初段の部(51)
- 一位 大沢 均(田島)
- 二位 清水 一彦(桜井)
- 三位 清水 昭巳(石井)
- 四位 石田 武(永井)
- △二段の部(20)
- 一位 渡辺 進(桜井)
- 二位 須田広美(富沢)
- 三位 松井 善二(高沢)
- 四位 小泉 伸一(田島)
- △三段の部(20)
- 一位 大島 裕(富沢)
- 二位 新井 善三(柴崎)
- 三位 永井 興治(湯淺)
- 四位 茂木 義幸(田島)

今度登山、スキーに夢中になり、
それ七月中旬の東日本医科大学に
一年時は殆ど柔道はやらなかつた。
二年生になると、同級生に数
人がいて柔道をした事があるとい
う者が居り共に入部した。その頃
は、藤原先生、竹田先生によく精
進していた。夏山、冬山登山等の
夏山、冬山登山等の練習員などを
し、スキー、登山が主となつた。
練習には、上級生はがして余ら
ないとなかなか勝てなくなつて
り出て来られず、七人位の人数で
する事が多かった。専門に移つて
からの最大の行事は東日本医療大
学大会であつた。それも私の台
頭でなかなか好成绩を上げる事が
出来なかつた。専門に移つた時
は、私が主役となつた。練習の中
に、部長の小川先生、戸部教授を
輩だつた。練習では、その年の
代表決定戦で負けたが、非常に満
足を大会であつた。その時の主手
に、同級の川上君(現今市にて開
き、柔道も強いつけて来た。私の
兄弟、飯野君(現群馬)、等が居つ
た。好きなもので細々と続けて来た。
私がまだ下級生の時の合宿は、上
り学、下り学は多く、私の大きな
心臓に自由奔放であり、夜中に飲
んで帰つた先輩におこされたり、仁
科先生とキリスト教の集いに出か
けたり、戸上先輩がもつて来たじ
やがいのをゆで、各教授の所に
持つて行き、かわりにカッパを多
量に買つた。

△二段の部(20)
一位 大島 裕(富沢)
二位 新井 善三(柴崎)
三位 永井 興治(湯淺)
四位 茂木 義幸(田島)

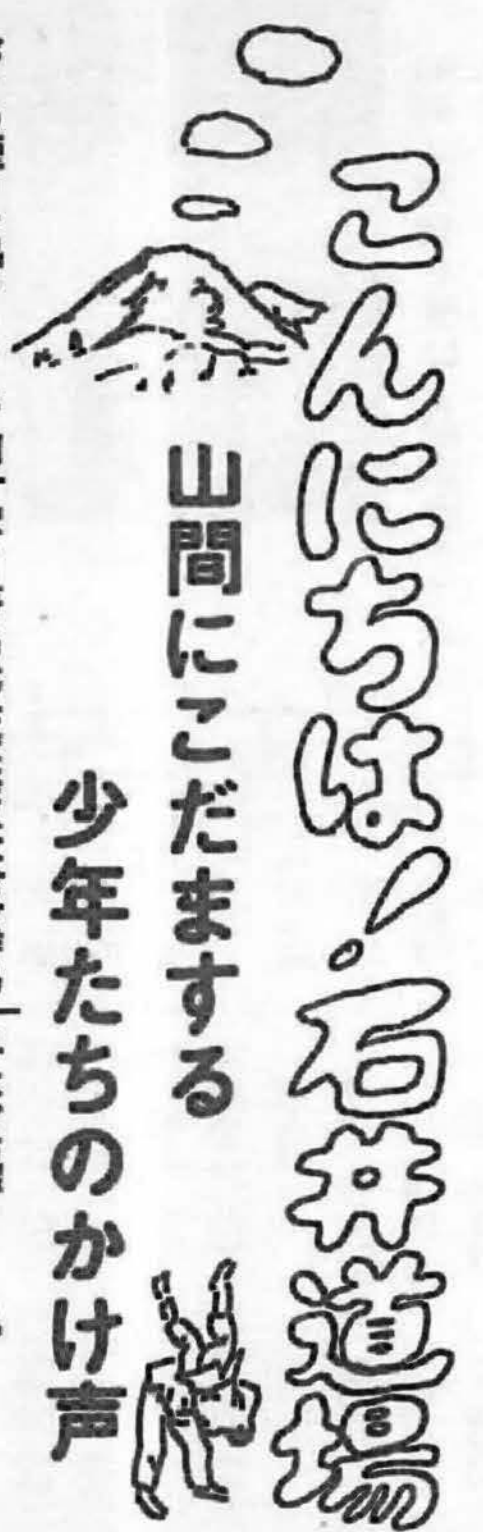
植沢君全国三位
全日本学生柔道選手権
大会
第一回全日本学生柔道選手
権大会別試合は十一月一日大阪府
立体育館で全国各地区の代表百十
二選手を集めて開催された。前橋
商業高校出身、中央大学三年の植
沢博之君は体重を五キロ減量して
軽量級に出場、よく闘つた。三位に
食いこんだ。植沢君は昭和四十五
年、前橋商業高校三年の時にイ
ンターハイにおいて中量級で五位
になつて居る。
軽量級(68kg未満)
準々決勝
①植沢博之 逆足払い 嶋田 2
準決勝
植沢博之 優勢勝ち 八反田 2
(天理)



秋原 哲夫

土木・舗装・設計・施行
関水土木建築株式会社
取締役社長 齋藤 実
群馬県渋川市2093番地 ☎ 02792(2)1182

骨接院
八段 関 亀太郎
六段 関 久一
渋川市下之町1945番地 ☎ 02792(2)3540



山間にこだまする 少年たちのかけ声

タバコの煙を吹きながら、開けた窓からは、冷たい冬の空気が、ずいぶん山間に来たものだと感じる。



校舎裏山で柔道大会で群馬師範に次いで優勝させています。当時の教員の中には田中政一、段、内田正吉、長谷川等が居ります。

沼田高校が優勝 定時制県選手権大会 第十九回県下定時制高校柔道選手権大会は九月二十一日に県武道館で開催された。

各地の柔道熱さかん 前橋市民柔道大会 昭和四十九年の前橋市民スポーツ祭柔道大会は十月十六日(日)県武道館において開催された。

桜井道場二十五周年記念大会 高崎市桜井町の順徳桜井道場二段の投形、篠田強一四段の十人抜き、幼雅園、小学生の試合が十一日午後七時より同道場において開かれた。

高橋孝作さん 一苦勞さま!! 高橋孝作さんは群馬銀行を退職後、群馬連の事務局長として長いこと勤められてきた高橋孝作さん(写真)が四十九年九月二十日付で退職された。

編集後記 昔には不景気が吹きまわって、クリスマスケーキをなかなか買えなかった。道場連合大会は毎年のことながら大盛況だ。58年の群馬連の選手もあの中からは出ることにまわがいない。あの大盛況の火を途中で消さないようみんなを考えていこう(新井)

上州藪塚温泉 室田館 室田ホテル 取締役社長 室田直忠 TEL 027778-2711(代)

日石プロパン、石油、ガス石油器具 ガス配管工事、その他固形燃料 総合燃料 群馬燃料株式会社 太田市新島町220-1番地 電話 太田0276(45)6158(代)

発行所 群馬県柔道連盟
発行人 関口 恒五郎
編集室
勢多郡富士見村時沢 546
新井礼次郎
電話 027288・3147

ぐんま柔道

高納師範遺訓
柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し、斯道に神を随伴する事である。さうして是によつて己を補益するが柔道修業の究極の目的である。

昭和50年度行事予定表

Table with columns for Date (期日), Event Name (行事名), Location (会場), and Venue (会場). Lists various martial arts tournaments and training sessions throughout the year.

関口恒五郎先生遺徳保持会
群馬県柔道連盟其の関口杯支部
対抗柔道大会は四月二十日午後一時から前橋、県武道館において行われた。昨年Bブロックにおいて最下位になり、Cブロック落ちした桐生支部が奮起一番一六〇点の大差得点をして初優勝を飾った。総合一位はこれまた昨年Aブロックにおいて一点も得点できずBブロック落ちした高崎が今回は一四七点得点して関口大権を得た。



総合優勝の桐生支部



選手宣誓をする周東選手 (前橋)

桐生支部が総合優勝
大権は高崎支部
関口杯支部対抗柔道大会

も井出、佐藤のベテランに頼って、今春県警機動隊から桐生署へ転勤あり、後継者に若手の藤があるよになつた岩木井段の健闘があげられた。桐生支部の総合優勝は、一れよう。

Three tables showing tournament results for C Block, B Block, and A Block, including names of participants and their respective scores or rankings.

県チャンピオンは永井三段
星野三段に優勢勝ち
群馬県柔道選手権

昭和五十年度の群馬県柔道選手権大会は三月九日、午後一時から県武道館で行われ、永井興治三段(高崎)が初の県選手権者になつた。試合は十五人が出場し、これを四ブロックに分けてリーグ戦を行つた。昨年の優勝者大橋忠昭四段(桐生)が予選で落ちる番狂わせがあり、決勝リーグは永井、周東、星野、碓井の争いとなつた。永井と星野が共に二勝一敗で同点となり、優勝決定戦の末、永井が優勢で勝つた。試合はむしろ星野が攻勢にたが永井の固い守りを攻めきれず自滅する場面が多かつた。この数年警察勢に独占されて



写真左は永井、右は星野選手

- List of winners and runners-up for various weight classes: 一位 永井、甘菜 二勝一分; 二位 大橋、碓井 一勝一分; 三位 佐藤、太田 一勝一敗一分; 四位 石橋、勢多 三敗.

貴方の愛車の相談役に
株式会社 正田卯平商店
代表取締役 正田 文男
館林市本町3丁目1-7
02767-2-2216(代)

量表・敷物・日用品・雑貨
株式会社 石沢商店
卸部 沼田市上原町1697 TEL (3)0110
小売部 沼田市下之町1024 TEL (2)2237

前橋商四年ぶりの優勝 個人は大沢哲夫選手

群馬県高等学校総合体育大会

第10回県高等学校総合体育大会は五月十七、八の両日、県武道館において開催された。十七日の個人戦では大沢哲夫選手(前橋商)が優勝、団体戦では前橋商が四年ぶり、通算七回目の優勝を果たした。

個人戦は三強のうち、神尾(前橋商)が予選フロッグの準々決勝で清水(農大二)に敗退したが他の二強が順当に決勝戦で対戦、大沢均選手(育英)があせり気味にかけた。大沢は背負い込みを大沢哲夫選手がわずかに返して優勢勝ちした。

団体戦では昨年の優勝校育英は準々決勝で前橋商と対戦、二対二の内容負けは惜しかった。利根商も準決勝で前橋商に敗戦、副将まで四人連続引分け。別のフロッグにいたならばとくやまれる。

この準決勝戦において珍らしく兄弟選手が対戦した。兄の大沢哲夫選手は前橋商二年、昨年の学年別大会に優勝、団体にも出場し、前日の個人戦の覇者、弟の光選手は利根商二年、90キロ、弟の方が体重で若干勝るがキャリアでは兄の方が数段上。この試合は結局引分けであった。というところは兄弟の作戦勝ちというところか。決勝戦は三対〇であったが五差ほどの差はない。総じて今大会では選手たちのまぶさめがなかった。重い体重をぶつけ合うだけで切れ味がまったくない。その中で個人戦で五位になつた松本選手(桐上)は左右の内またと移り腰がうまく印象的であった。

この試合の結果、個人戦の三位までと、団体戦の上位四校を敗者復活戦で勝ち残つた前橋工と育英高の二校が六月七、八日に山梨県甲府市で行われる関東大会に本県代表として出場する資格を得た。

個人戦

一位 大沢哲夫 (前橋商)

二位 大沢均 (育英)

三位 清水芳 (農大二)

四位 大野正行 (新島)

五位 松本雄二 (桐上)

六位 清水照己 (榛名)

団体戦

一位 前橋商

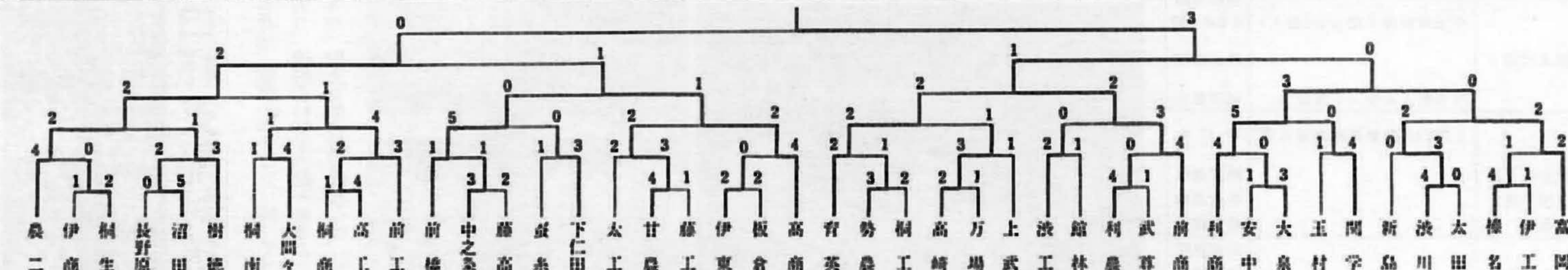
二位 農大一

三位 利根商

四位 高崎商業



計量風景



第2回群馬県実業団柔道大会

期日 11月30日
会場 県武道館
参加人員 選手5名、補欠1名
参加資格 県内所在の事業所の従業員

積極的な参加を求む!!

- 昨年の参加団体
- 東京三洋 日立製作所高崎工場
 - 高木建設 キリンビール高崎工場
 - 柏井建設 富沢整形外科病院
 - 森産業 王子製鉄群馬工場
 - 神戸生絲 東京電力群馬支店
 - 明星電気
- 申込みは本部または支部へ

群馬県柔道連盟 役員決まる

50年4月〜52年3月

会長 関口恒五郎
副会長 湯淺林太郎
理事 田島行一

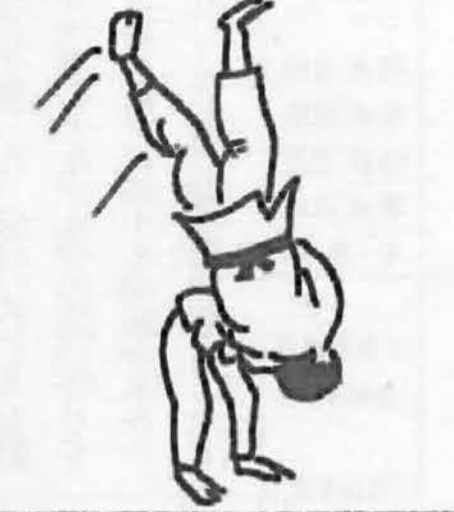
副理事長 山岸孝一
常任理事(会長指定による) 柴崎松太郎・藤井一司
常任理事(会長指定による) 高沢貞一・関野隆雄
常任理事(会長指定による) 石井 国雄・荒井 國義
須田 信夫・小野貞義
富川喜一郎
常任理事(団体代表) 大塚有範(大空)
今井孝造(高体連)
高山 明(中体連)
鈴木元一(警察)
湯淺林太郎(道場連合会)
山口 智(支部長会)

常任理事(委員長) 部長 柳澤勝之 山口智 中島淳吉
委員 新井礼次郎
委員長(副委員長) 〇は委員長
高崎商業推進委員会
〇関口恒五郎 湯淺林太郎
強化委員会
柳澤勝之 井出昌明 角屋清司
審判委員会
〇山口智 藤原樹 高山明

- ◆ 部長・副部長(〇は部長)
- 庶務部 〇中島淳吉 佐藤雄太郎
 - 会計部 〇藤原樹 岸 宏
 - 審判部 〇関口孝義 荒井國義
 - 指導部 〇鈴木元一 横沢光雄
 - 普及部 〇柳井 弘 栗原伝二郎
 - 広報部 〇新井礼次郎 井浦康彦
 - 牛込洋浩 石井清一
- ◆ 支部長
- 前橋 大島由安
 - 佐波・伊勢崎 藤原樹
 - 群馬 岸 宏
 - 勢多 北爪隆雄
 - 北群馬・渋川 関久一
 - 利根・沼田 石沢頼之助
 - 吾妻 浜口孝男
 - 高崎 松本大五郎
 - 碓氷・安中 大島慶二
 - 多野・藤岡 山口 智
 - 甘楽・高岡 今井孝造
 - 桐生・山田 清水芳雄
 - 新田・太田 大塚昭二
 - 邑楽・館林 正田文男
 - 山田 長谷金八
 - 相模 田中良三
 - 小島友治部 水井孝雄
 - 伊勢崎部 水井孝雄
 - 警部 小野里光明 羽島治良松
 - 真下永水

金子(小・六)が優勝 吉田(中・二)は二位

東京近県柔道大会



年連優勝し、中学一年の部に出場した吉田直樹選手(前橋四中)は二位に入賞した。吉田君は昨年の県中学生総体において二年生ながら個人優勝している。

またこの大会に鈴木元一六段と北爪隆雄六段が固形の演技に出演し、好評を得た。審判員として参加した田島敏隆五段(前橋)も優秀審判員として表彰を受けた。

◆ 小学五年の部
一回戦 石岡和泰 内股 〇染谷・神

◆ 小学六年の部
決勝戦 〇金子尚人 合せ技 月岡・東京(前橋・群馬附属・田島道場)

◆ 中学一年の部
一回戦 岸 健治 大外返し 〇小林・東

◆ 前橋一中・田島道場
決勝戦 〇吉田直樹 合せ技 〇藤原・千

◆ 初段の部
二回戦 神尾雅敏 内股 〇土子・茨城(前橋商)

◆ 二段の部
一回戦 堀川栄一 優勢勝ち 〇金田・静

◆ 三段の部
一回戦 〇武藤立美 巴投げ 伊藤・

◆ 四段の部
一回戦 〇田島敏隆 優勢勝ち 後藤・神

◆ 五段の部
一回戦 〇田中 武 けさ固め 〇佐藤・東

◆ 六段の部
一回戦 〇栗原 洗 約込み腰(那須)・

◆ 七段の部
一回戦 〇林部 不戦勝 〇三浦・高城

◆ 八段の部
一回戦 〇堀田 平 引分け 八木・堀井

◆ 九段の部
一回戦 〇新井 次男 優勢勝ち 〇渡辺・千

◆ 十段の部
一回戦 〇原口 市 〇荒井・東

◆ 十一段の部
一回戦 〇田島好美 不戦勝 〇細川・

◆ 十二段の部
一回戦 〇常見和民 体落し 横田・千

◆ 十三段の部
一回戦 〇内山 幸二郎 引分け 菊地・堀井

◆ 十四段の部
一回戦 〇橋本 光雄 けさ固め 〇楠・東

◆ 十五段の部
一回戦 〇鈴木元一 引分け 諏訪間・神

◆ 十六段の部
一回戦 〇北爪隆雄 背負投 〇小口・長野

◆ 十七段の部
一回戦 〇佐藤 大朗 引分け 藤谷・福岡

◆ 十八段の部
一回戦 〇松島 一郎 〇飯島・東

◆ 十九段の部
一回戦 〇須藤 次男 けさ固め 〇北山・東

◆ 二十段の部
一回戦 〇光山 武吉 引分け 今瀬・茨

◆ 二十一級
一回戦 〇中島淳吉 優勢勝ち 〇千葉・高城

◆ 二十二級
一回戦 〇丹羽 文雄 不戦勝 尾内・柳本

◆ 二十三級
一回戦 〇高沢 貞一 巴投げ 藤島・栗本

郷土にみどり
家庭に花を

金具屋種苗店

沼田市中 町店 電話(2)2274
沼田市東原新町店 電話(2)2326

お菓子と喫茶とお食事の店

(株) 荒木屋

須田 信夫

沼田市上之町 840

本 店(2)2034
売 店(2)4665
レストラン(3)2370

和やかに伝達講習 九十人が受講

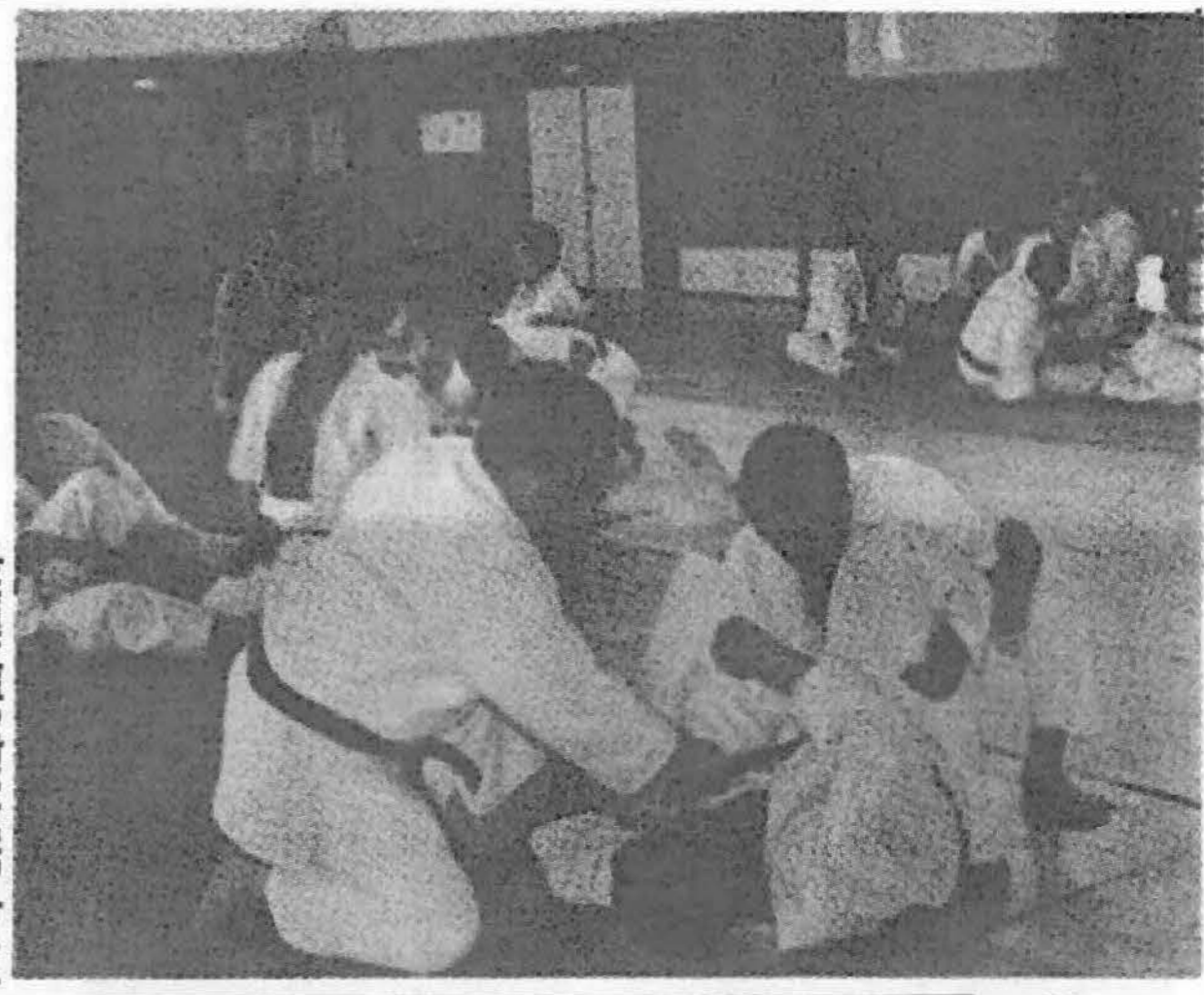
県柔連主催 指導者講習会

県柔連主催の指導者講習会は五月十一日(日)、午前九時半から県武道館において開催された。これは去る三月十六日から二十九日まで武道館において行われた全柔連主催の全国指導者講習会の伝達講習で本県から受講した鈴木元一六段、橋沢光雄六段、石倉貞幸五段(いずれも県警)が講師を担当した。

午前中は鈴木講師の事故防止、安全指導法、トレーニング法、午後は鈴木講師の審判法、橋沢講師の投げ技の基本、石倉講師の固め技の応用が行われた。今年の全日本選手権において適用された「国際審判法」や「固め技の応用」に人気があった。これだけ盛り沢山の内容をこなすにはもつと時間(日数)を増すか、内容を精選するかしなければ無理があり、おさるりになってしまふまいがある。受講者は各支部からよく参加し、九十名余のぼった。

県柔連主催の指導者講習会は五月十一日(日)、午前九時半から県武道館において開催された。これは去る三月十六日から二十九日まで武道館において行われた全柔連主催の全国指導者講習会の伝達講習で本県から受講した鈴木元一六段、橋沢光雄六段、石倉貞幸五段(いずれも県警)が講師を担当した。

午前中は鈴木講師の事故防止、安全指導法、トレーニング法、午後は鈴木講師の審判法、橋沢講師の投げ技の基本、石倉講師の固め技の応用が行われた。今年の全日本選手権において適用された「国際審判法」や「固め技の応用」に人気があった。これだけ盛り沢山の内容をこなすにはもつと時間(日数)を増すか、内容を精選するかしなければ無理があり、おさるりになってしまふまいがある。受講者は各支部からよく参加し、九十名余のぼった。



私と柔道 冬木金雄

実生活に活かす「先手必勝」

昭和十七年高崎高校へ入学と同時に、柔道部に入部し、学校とは大分離れた高崎公園内の武道館で、放課後の二時間ほどを練習に励んだ。中学時代は野球をしてきたが、高崎高校の柔道部には、中学時代の先輩が多数おり、その人達の勧めもあり、自分でも、武徳館の先輩達が柔道衣を丸めて肩にかついで通る姿にあこがれていたのでもあろう、その場で入部の手続を済ましてしまった。

当時の三年生には橋水先賢(伊勢崎)、中西弘之(段)、鈴木元一(先賢)、橋沢光雄(六段)、石倉貞幸(五段)等が、福水先賢には自身の練習だけを一週間やらされた。初めて柔道の技らしいものをかけたのが左の大腰のようもので、これが不思議によく決った。他のスポーツはみな右ききだが、柔道に関しては左ききで左打ちでかまなかった。初めの一年間は武徳館で練習をし、二年になってから学校に新しく道場ができ、また、新しく今井孝蔵先生をお迎えした。当時はまだ若かった今井先生の跳躍等の大技を目のあたりにし、柔道とは面白いものだと思った。

権威を保っている。大学は法政院へ入ったが、ここでも柔道部に入部し、当時の師範は松本一先生だった。あつてなかったことが、松本先生は高校の今井先生の先生でもあった。

大空軍の時に、講道館で行われた別荘選手権大会に二段の部に出場した。松本君も群から出場していた。両者が二回戦を勝ち残った。準々決勝で顔を合わせる組合せだったが、惜しくも私が二回戦で敗退し、講道館の高々出身者同士の対戦は実現しなかった。

学習院大学時代には、大学の大会で全日本級の技能者だった伊藤五郎先生がほとんど毎日道場へ顔をみせ、少しでもたんだ練習をしていこうと、練習後よく座談を組まれたものだ。

私は、高校、大学と卒業後の何年間と前後約十年間を柔道を学んだが、今考えても高校時代の三年間が一番身についた時期だと思つた。私の試合に対するモットーは「先手必勝」こと、つまり、私の方から何の技をしかける前に負けるくらいにやしく、あつ味の悪いことはなかった。今でもそのように試合を時々思い出し、あの時に先に技をかけていたら勝つていたらかも知れないと思つたことがある。このモットーは実生活においても私の生活信条として生かしてきている。精神修養等の難かしいことはともかく、練習で汗を流したあとの爽快な気分は、柔道ならではのものです。

現住所 高崎市下小橋町
職業 冬木工業(株)
常務取締役
三十九才

昭和50年の国体柔道競技要項(抜粋)

1 期 日

10月27日	少年男子・成年男子教員
10月28日	成年男子教員・成年男子一般
10月29日	成年男子一般

2 会場 三重県名張市県立名張高校体育館

3 競技種別 種目 参加人員

種別	種目	監督	選手	参加都道府県数	参加人員
成年男子	一般	1	5	47	564
	教員		3	47	
少年男子		1	3	47	

注 少年男子の監督は教員の選手が兼ねる

4 参加資格

- 成年男子 昭和32年4月1日以前に生れた者
- 少年男子 昭和32年4月2日以降に生れた者
- 成年男子一般 従来と同じ
- 成年男子教員
- 少年男子 体重63キロ以下、75キロ以下、無差別



社員旅行中の筆者(左から二人め)

周東四段ら優勝 県下段別選手権大会

- 昭和五十年の県段別選手権大会は五月十六日、県武道館において開催された。この大会は、昨年の参加者が二十七名、昨年は五十一名、今年が六十六名と年々増加しているのは喜ばしい傾向である。
- 初段の部(出場者21名)
 - 一位 神尾雅敏(勢多)
 - 二位 大谷浩夫(北群馬)
 - 三位 大谷均(前橋)
 - 四位 吉田豊(高崎)
 - 五位 片桐盛夫(原野)
 - 六位 藤崎晴助(原野)
 - 二段の部(出場者13名)
 - 一位 片桐盛夫(原野)
 - 二位 藤崎晴助(原野)
 - 三段の部(出場者19名)
 - 一位 永井典治(高岡)
 - 二位 佐藤 亨(太田)
 - 三位 西川留吉(高岡)
 - 四位 野口成人(原野)
 - 四段の部(出場者12名)
 - 一位 周東正夫(原野)
 - 二位 浜 道久(邑楽)
 - 三位 磯井良一(甘菜)
 - 四位 阿部 章(前橋)
 - 五段の部(出場者1名)
 - 一位 越塚雄雄(邑楽)

話題の選手

小林政憲君 滑川高一年

勢多郡北橋中出身。学年別大会で優勝。なんと今組んでいううちに優勝してしまつた。一八七センチ、95キロの体にものをいせられた。学校ではまた在校生にはかなわない。ちつとも欲がない。負けのあたりまでだと思つて

いる。トレーニングも今はまだ仲間についていけない。大外刈の内股、左の足を伸ばせば、秋に本場を代表する大物になることはまちがいない。



豊田修君 前橋工業機械科二年

豊田四出身。学年別大会の決勝では二〇キロも上の前橋商田子大内刈返して一瞬のうちに破つた。右の体落し、背負いが得意だが、左の体落しはため息を吐きながら、一六三センチ、58キロと小兵ながら勝勢助のよきは抜群だ。す青年である。



金子尚人君 群文附属中一年

よくもこれだけ大きくなつたものだ。小学校を卒業する時にはすでに、身長が一七五、体重五キロあった。同級生と並ぶとまさにおとなと子ども。柔道は小学四年部に入った。何でも経験して費用をから始めた。五年、六年と順進。身につけるのが目的だ。

田島先生に大外刈りの指導を受ける金子君

邑楽郡体育振興会

会長 奈良種介
副会長 小島森次
田嶋良島
川嶋島正英
牧島武藤
武藤正英

館林市体育振興会

会長 岩上泰治
副会長 木村純夫
谷田利三郎
松島光太郎
柔道部長 松島一郎

ごんにちは！ 関道場

月あかりで練習

禁止令中も閉館せず

渋川を中心とした内を著く北閉館しに続けていた。相馬が原...

関道場の創立は昭和二年五月にさかのぼる。同所に警察署を...

終戦後の一時期、柔道は米軍により禁止された。しかしこの時...



藍綬褒章を受章... 祝賀会における会長ご夫妻... 祝賀会に出席した関係者...

昇段者... 七段 (5057) 北川 健次 (勢多) 警復師... 六段 (50112) 石沢 頼之助 (沼田) 商店主...

昭和五十年強化指定選手団... 一級 (前) 藤田 純也 (藤岡) 高 22... 二級 (前) 大沢 均 (青葉) 年・重...

果す雪辱の(育英)大沢... 二年は磯田 一年は小林... 県高校学年別選手権... 大沢が準決勝、決勝で...

私もファンです... 隆旗大二さん... 私、柔道に二階級の観望席の一隅に、いつもひっそりと観戦して...

支部分別昇段者名... 前橋 162 新太 67... 利沼 114 確安 54... 高崎 113 桐生 54... 北沢 104 吾妻 50... 佐伊 90 甘富 45... 勢多 79 群馬 41... 邑館 71 山田 7... 多藤 67

美九里柔道教室 開設記念大会... 美九里柔道教室開設一周年記念大会は、今年一月十一日、午後一時より、美九里小學校講堂において開かれた。同教室は地域の少年の心身の健全育成と余暇の善用を目的として昨年二月に開設されたもので、支部分長や高橋生が中心となって練習をすすめてきた。大会はこの一年間の成果を披露するもので、役員、親戚、父兄が合わせて二百二十名余にのぼった。(指導部員報告)

編集後記... 読者の「生の声」がほしい。柔道をする人、観る人の生の声をどんどん掲載して、生き生きとした新聞にしていきたい。必然的に活気にあふれた通欄になるっていくだろう。野球やサッカーのように茶の間の話題になるような柔道にしていきたい。「協力」を。

群馬県柔道連盟 邑楽・館林支部... 建築設計施工 角屋工業株式会社... 支部分長 正松 田文 男... 副支部分長 松島 一郎 次... 指導部長 関原 中 里 悟

発行所 群馬県柔道連盟
 発行人 関口 恒五郎
 編集室
 勢多郡高士見村時沢 546
 新井礼次郎
 電話 027288・3147

ぐんま柔道

嘉納師範遺訓
 柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し、断道の神髓を体得する事である。さうして是によつて己を補強するが柔道修業の究竟の目的である。

国体選手決まる 教員の部は初出場

昭和五十一年の国体柔道競技は十月十七、十八、十九日の三日間、群馬県高松体育館において開催される。これに先だつて、本県代表を決める予選が七月十三日と八月十日の両日県武道館において行われた。

少年の部は今年から関東ブロック予選を経て参加できるが、体重制になり、重、中、軽の各級一人、従来の五人制に比べ、一人減となり、特に重量級の選手にとつては残念な制度。軽量の決勝は前橋南、年同士の対戦となり、インターハイに出場した前橋南が時間切れまきまきでポイントを得られ、今度名前を消した。

中量級はインターハイに五位に入賞した小川(前橋南)が準決勝で敗れ、決勝戦では本県の古原が高松の背負投げに耐えつき、判定で敗れた。古原は関東高校相撲大会の軽量級で昨年度一位、今年度優勝の活躍を選手たちが組み分けで上巻があるように、重量級の決勝は神尾が大派手な背負投げでまさか判定をものにした。

教員の部は、昨年度まで関東ブロック予選があり、都七校中、チ



少年の部

軽量級(63kg未満)
 一位 今成克之(前橋南)
 二位 諸田幸一(前橋南)
 三位 高橋孝雄(有英)
 四位 後藤修三(太田工)
 五位 中量級(63kg/75kg)
 一位 高橋利明(高崎高)
 二位 吉原成哲(高崎高)
 三位 林有(利根高)
 四位 小川広明(前橋南)
 五位 無差別級



教員の部

一位 神尾雅敏(前橋南)
 二位 大沢均(有英)
 三位 大沢哲夫(前橋南)
 四位 清水芳(農大二)
 五位 藤井良一(日形中)
 六位 藤田正明(前橋南)
 七位 佐藤勇夫(利根高)
 八位 佐藤勇夫(前橋南)
 九位 塚田実(前橋南)
 十位 塚田純也(藤岡高)
 十一位 永井敏明(中之条高)
 十二位 松本邦夫(前橋南)

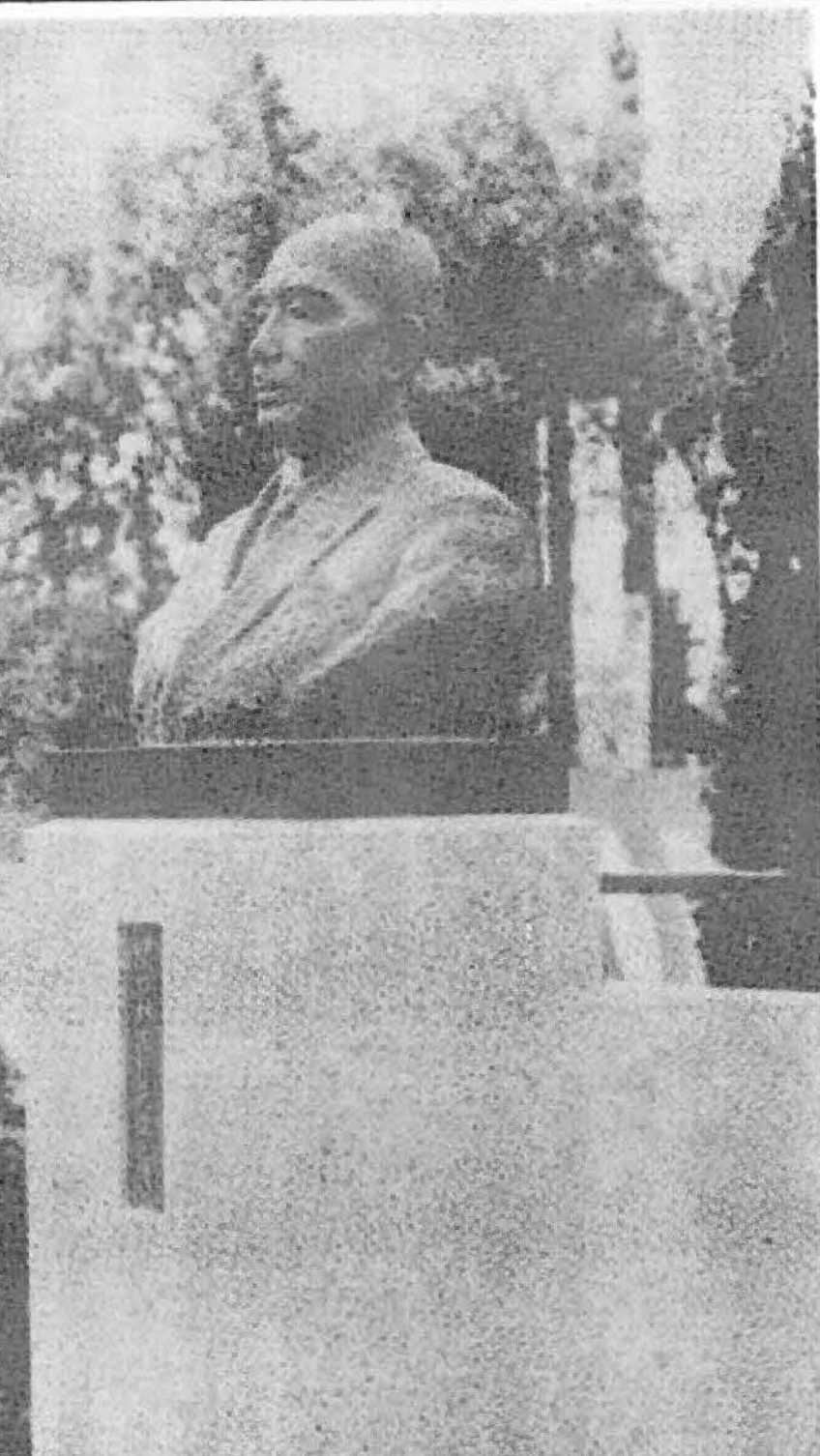
国体選手紹介

一般の部

余井義三 24才 軽量級
 高崎警察勤務、44年全国高松大会三位、国体通算六回、連続五回出場、前橋南卒
 藤田正明 25才 軽中量級
 県警機動隊勤務、41年全国高松大会軽中量級五位、48年関東警察大会軽中量級優勝、国体通算七回出場、前橋南卒
 原沢 武四郎 25才 中量級
 県警機動隊勤務、48年無差別級で国体出場、各種警察大会に出場、利根高卒
 星野政三 23才 重量級
 ナショナル木村勤務、43・44・45年関東個人戦に連続三回出場、44年全国大会出場、47・48・49年全国大会出場、48年世界選手権優勝、50年国体出場、利根高卒、専修大卒

高松の部

軽量級(63kg未満)
 一位 藤井良一(日形中)
 二位 相馬利幸(利根高)
 三位 渡部文雄(利根高)
 四位 周東正夫(前橋南)
 五位 佐藤幸(太田工)
 六位 桃川修二(邑楽)
 七位 原沢 武(前橋南)
 八位 藤岡晴明(前橋南)
 九位 藤田利政(前橋南)
 十位 星野政三(利根高)
 十一位 町田保則(前橋南)
 十二位 野口成人(前橋南)
 十三位 永井典治(富岡)
 十四位 町田保則(前橋南)
 十五位 佐藤幸(太田工)
 十六位 石沢洋市(沼田)



関口前会長の胸像完成

群馬県柔道連盟の会長関口恒五郎先生は、胸像は本年度高松院賞にあり、つゆの晴れ間のカンカ五郎先生の胸像の除幕式は同日先生賞の分限治氏作の銅製、スポンサーの関口恒五郎先生に建てられ、午後一時から前橋市若神町、県立ホールセンター敷地内において行われ、この日は関口前会長の同窓生も参加した。

百三十九人が皆勤

群馬県柔道連盟(関口恒五郎会長)主催の暑中稽古は八月十八日から二十一日までの五日間、県武道館において行われた。今年は例年より時間を一時間早し、夜八時から十時までとした。この稽古が皆勤者として、参加者は昨年の倍を超え、五日間の延べ参加人員は八七八名、一日平均一八〇名のにぎやかな稽古が行われた。稽古は有段者と少年・女子部とに分かれ、有段者はさらに形の練習組と団体選手を中心とする強化練習組、一般練習組とに分かれ、まさに汗を流すようになり、かきで、熱気がムンムンの五日間だった。二十一日の最終日には皆勤者二九三名が田島行一県柔道連盟会長から、賞状と賞品のメダルを授与された。

写真説明

上段 町田 星野 佐藤 藤田 原沢 藤井 周東 余井 神尾 高橋 今成

下段 神尾 高橋 今成

群馬県柔道連盟の会長関口恒五郎先生は、胸像は本年度高松院賞にあり、つゆの晴れ間のカンカ五郎先生の胸像の除幕式は同日先生賞の分限治氏作の銅製、スポンサーの関口恒五郎先生に建てられ、午後一時から前橋市若神町、県立ホールセンター敷地内において行われ、この日は関口前会長の同窓生も参加した。

今年の特徴は前橋市外の参加者が多く、それらがそろって皆勤したことだ。それぞれの地区の指導者に連れられた少年たちの参加がめだつた。あこがれの県武道館で試合をするのは柔道少年団と道場連合会との大会だけだが、ここで練習できるとあって少年たちは勇躍して参加した。親子連れの参加者も多く、新町の原保一郎氏(県柔道連盟及部部長)、ご夫

武田観光KK
 社長 武田 弘

東軽井沢パークランド
 大自然の中の日本一フィールドアスレチック
 全長5km×60の楽しい種目
 入場料—大人 700円 子供 500円

宿泊施設
 林間宿舎・貸別荘・バンガロー・旅館
 ドライブイン御本陣
 運動施設
 太陽の大プール・テニスコート9面

おぎのや
 電話(027395) 2311(代)

◇磯部保養センター 厨房部
 電話 0273-85-6323

◇おぎのやサービスステーション (ガソリンスタンド)
 電話 02739-5-2132

◇パピヨン・フロラ (スナック)
 電話 02739-5-2332

峠の釜めし
 ドライブイン
 電話(027395) 2431
 碓氷温泉あたご荘(027395) 2011

風味
 ゴルフ練習所完備
 展望風呂オーブン

前橋商が優勝

個人は大沢、小川、諸田

全国高校大会県予選

第25回群馬県高等学校柔道選手権大会... 個人戦は...

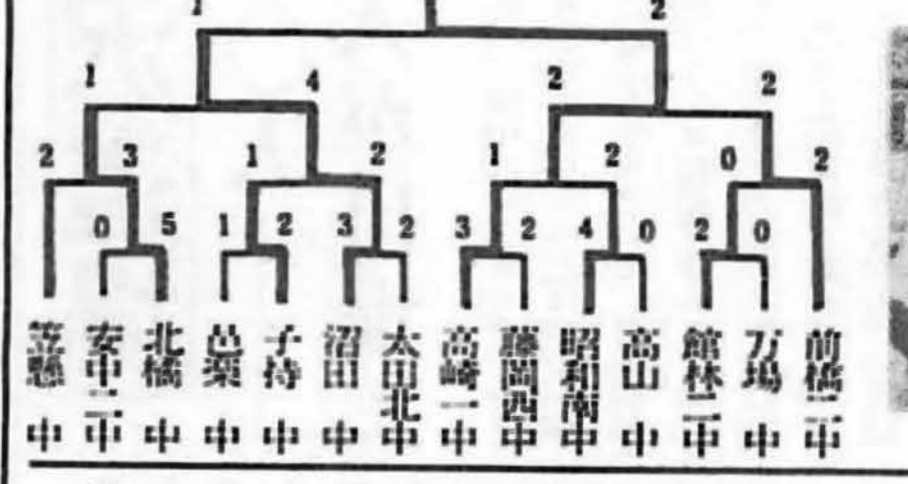
- 優勝 小川正則 (前橋商)
二位 高橋利明 (高崎商)
三位 石原元次 (桐生商)
...
重賞級
優勝 大沢均 (育英)
...
定時制、通信制
全国大会予選

昭和中学校(利根)が優勝

個人は吉田・小林 県下中学総体

昭和五十一年の県下中学校総体大会は八月四・五の両日、前橋県武道館において開催された。

- 優勝 吉田(前橋商)と一八四七、百キロの巨体を利して勝ち抜いた小林(育英)の間で争われたが、互いに極めて手が...



中興級(出場85名)
優勝 小川正則 (前橋商)
二位 高橋利明 (高崎商)
三位 石原元次 (桐生商)
...
重賞級
優勝 大沢均 (育英)
...
定時制、通信制
全国大会予選

私と柔道

私と柔道は、既、治五郎先生は母の湯が好きな度、古くを過ぎ、今もお湯で、抱きかかると前にして、未だの念しきである。

関 亀 太 郎

この人についてはまた機会を改めて記したい。この中の一人、下郷の羽鳥光四郎先生は、明治六年生、現在市の選挙管理...



代、今の文
京区に情報
ケ原があつ
た。昔古終
って帰道
遊び人風の
若者数人に
おそれて
志、青木勇太郎、高橋義治、柳谷
勝彦、遠山武史、横沢寛彦、田上
孝家、金子高明、島田涉
新町
栗原龍代子、栗原志緒美、丹羽政
利、丹羽弘之、高橋勝、坂本勝己
菅野伸一、川瀬一成、金井康広
金子忠、柏崎修、川瀬秀明、野村
寛也、藤井武志、岩丸高明、榎山
隆行、蜂須賀秀幸、高沢武樹
横名町
中島光宏、高橋博、戸村正明、中
出、つた人々も多々ある。群馬県
人もたのしい次第であります。
...
前橋 関 亀 太郎
後援 関 亀 太郎

暑中稽古者

- 少年部
前橋 関 亀 太郎
後援 関 亀 太郎
中興級
優勝 小川正則 (前橋商)
...
重賞級
優勝 大沢均 (育英)
...
定時制、通信制
全国大会予選

中国料理

赤城飯店

麵類・飯類・単菜各種
前場役見富士線大川一
電話 027288・2582

高級ニットウェア製造

さくらニット株式会社

本社 東京都墨田区亀沢2-5-9
TEL 東京03(625)7411(代)
工場 群馬県安中市板鼻2-1-1
TEL 0273(82)2311(代)

発行所 群馬県柔道連盟
発行人 関口 恒五郎
編集室 勢多郡富士見村時沢 546
新井礼次郎
電話 027288・3147

ぐんま柔道

日鉄、東京三洋を下す

第二回県下柔道大会は十一月三日県武道館が開かれた。昨年の第一回は五人一チームの団体戦だけだったが、今年からは三人一チームの団体戦と年齢別三階級の個人戦が加わった。

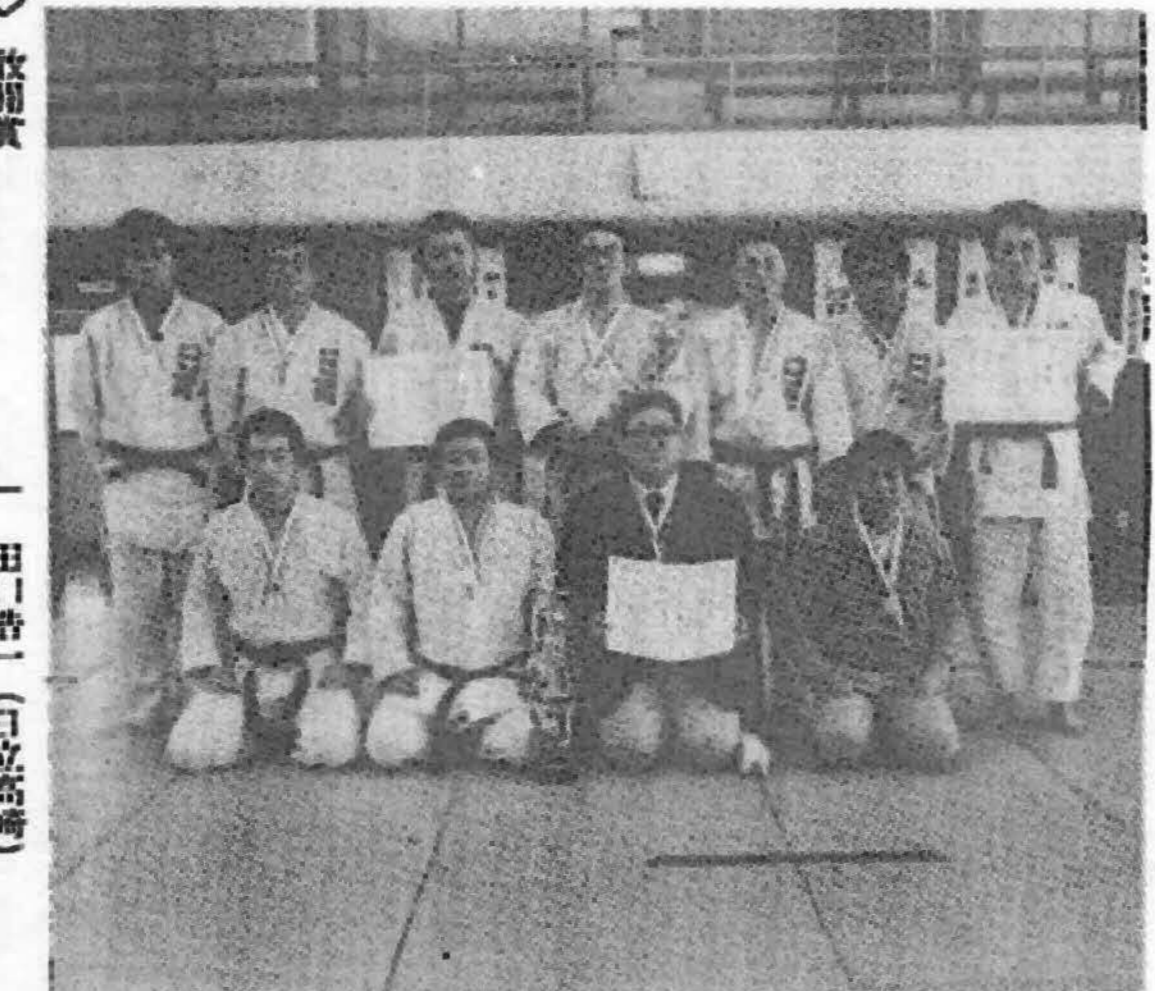
前橋、吾妻が優勝
警察一般合同大会
第十七回の警察一般合同柔道大会(群馬県警察本部、群馬県柔道連盟主催)は十月四日、県武道館において開催された。

日鉄カーテンが取り初優勝。二部では予想どおり関口病院(渋谷)が優勝した。個人戦は三歳未満では青藤三郎が断然強く、三十歳未満では池田五段が篠田四段を僅差で敗って優勝した。

前橋商が優勝
二位は上武一高
県下高校新人戦
第二十三回県下高校新人柔道大会は十一月二十三日、県武道館において行われた。

- 日鉄カーテン 二勝九点
二位 東電前橋支店 一勝四点
三位 藤産業 〇勝二点
準決勝
決勝 トーナメント
東電三洋 三十一 東電群馬支店
日鉄 二二二 高沢整形外科
(代表戦で日鉄の勝ち)

- 前橋商 二勝九点
二位 上武一高 一勝四点
三位 桐生 〇勝二点
準決勝
決勝 トーナメント
前橋商 二二二 上武一高
(代表戦で前橋商の勝ち)



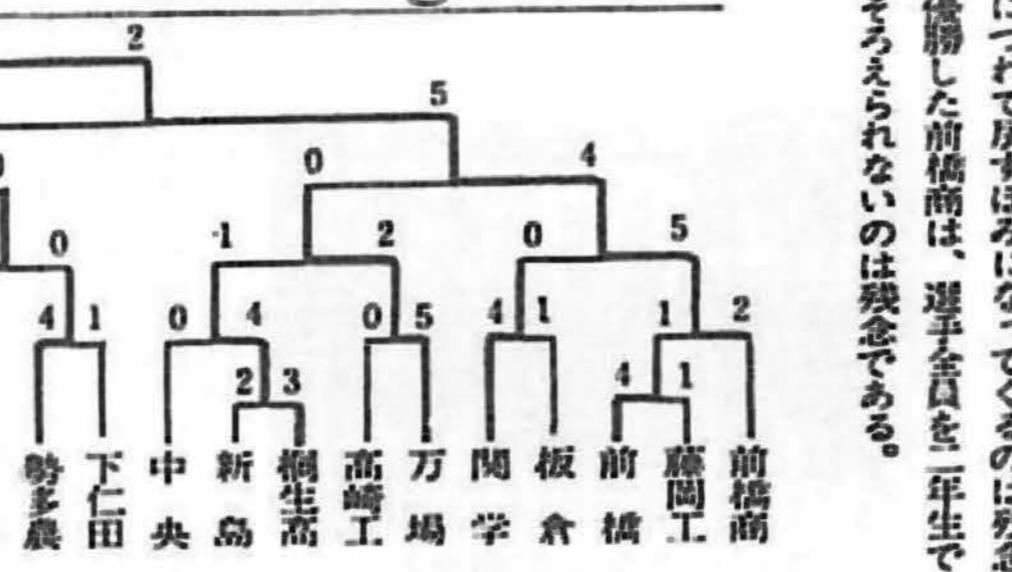
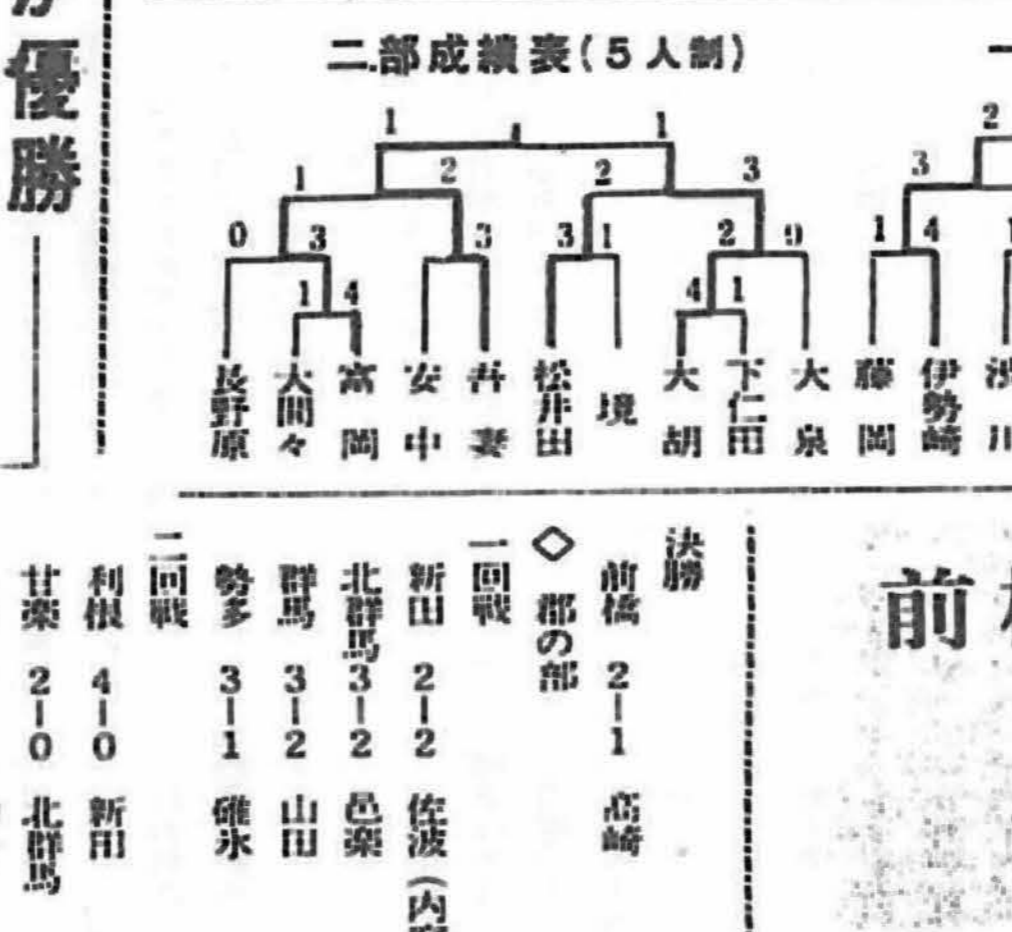
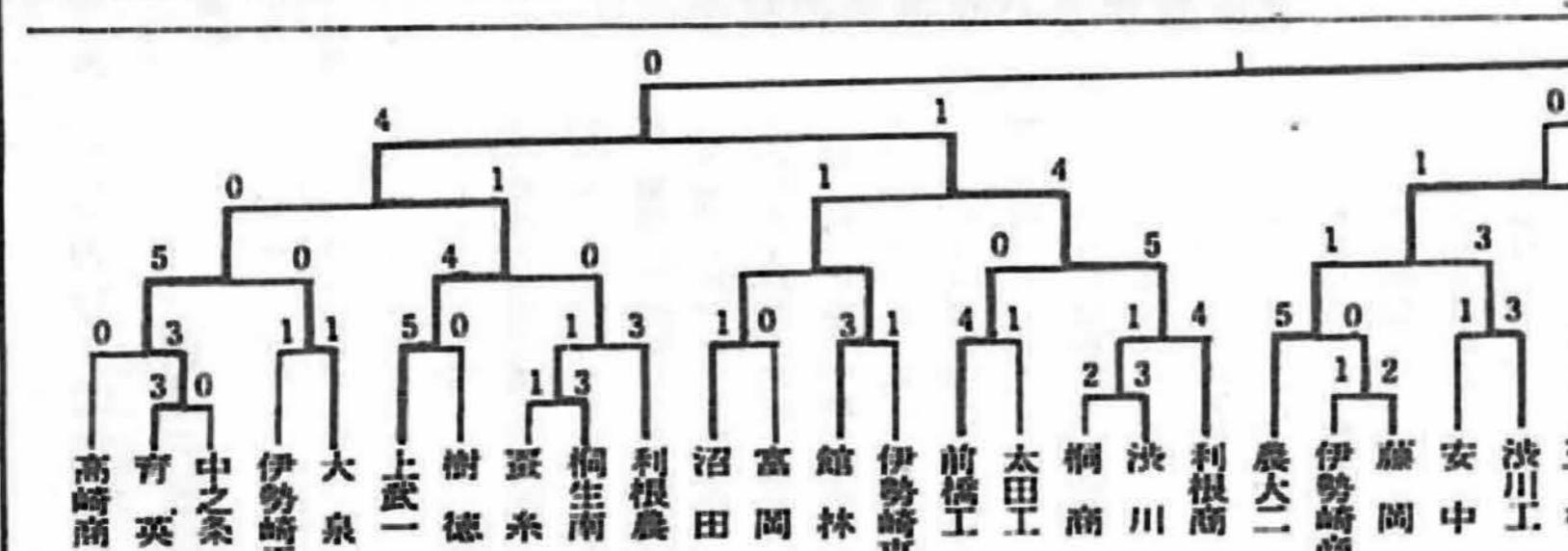
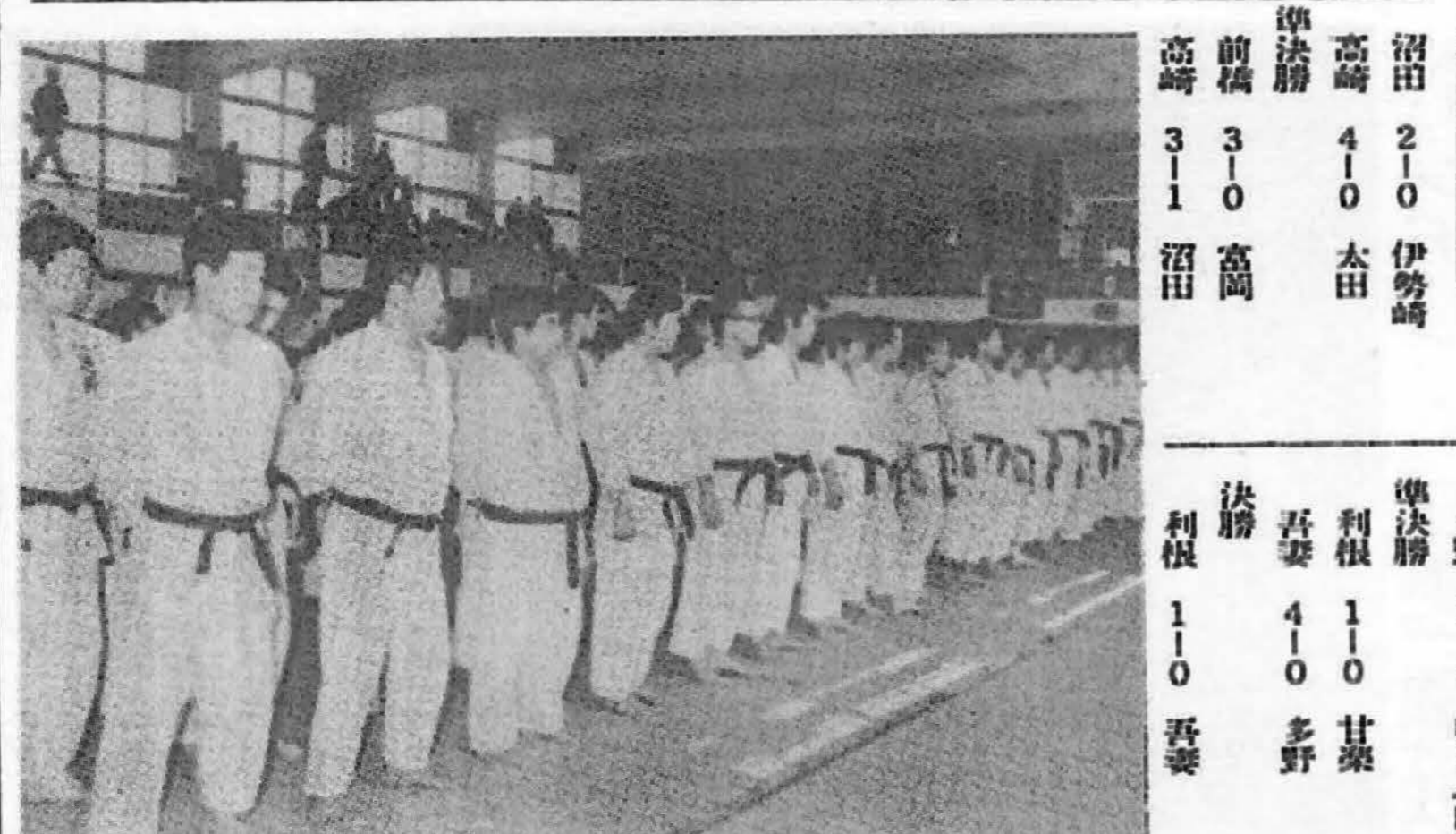
写真上段は一部、下段は二部優勝チーム

嘉納師範遺訓
柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修業は攻撃防禦の練習に由りて身体精神を鍛錬修業し斯道の神髓を体得する事である。さうして是によつて己を補益するが柔道修業の究極の目的である。

- 日鉄 二一〇 東電三洋
団体二部 予選リーグ

- 戸坂正雄(前橋関口整形外科)
徳田強一(キリンビール)
高木武司(明星電気)
井出昌明(関口病院)
桜井 弘(桜井接骨院)
市川彰男(東京三洋)

- 市部 上段が勝ち
一回戦
二回戦



細野接骨院
前橋市南町3丁目19~10
電話 0272・23・3355(代)

大島接骨院
前橋市城東町1~16~11
電話 0272・31・2476

世界ハンガリー・群馬の柔道

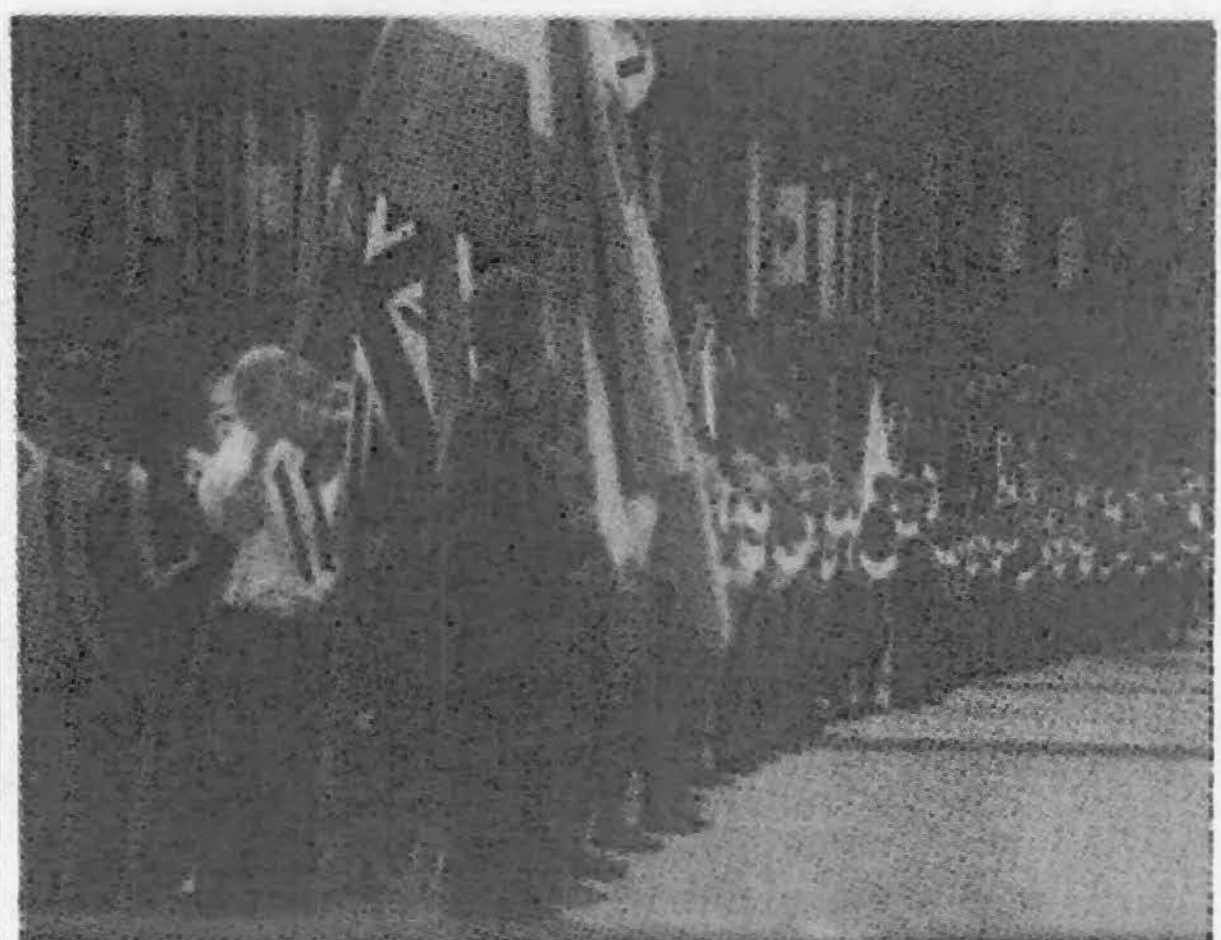
群馬県柔道連盟広報部長 新井礼次郎

第九回世界柔道選手権大会は、十月二十三日、二十五日にオーストリアの首都ウィーンで開かれた。その後日本選手団はハンガリー柔道連盟に招待されて親善試合をした。この期間選手団の随員として行動を共にしてきたので見聞の結果を報告する。

六階級中四階級に優勝

十月十七日夜、羽田発のKLM機にはオランダの英雄、ヘーシンク氏も乗り合わせた。彼も日本選手団の何人かとは顔見知りとみえて「ゲンキ？」などと声をかけ合っていたがその後は互いに無言。かつて第三回の世界選手権、東京オリンピックで日本陣営が苦杯を喫せられた相手だ。当然日本選手も何か感じるころがあるだろう。しかしあいさつのは何の話しもない。ヘーシンク氏にしてみても何回もの来日で日本語も話せるだろうし、英語も話せるだろう。今回の世界選手権の予想でも聞いてみようと思っただが日本選手に気がなしてやめた。「われわれは日本代表選手、当然世界の王者の座がまわってくるはずだ。かつての勝者におもむく必要はない。」そう考へて沈黙を守っているのだろう。「私はそう考へた。しかし、それは当らなかつた。あとで選手に聞いてみると彼はもはや柔道人ではなかつた。敵が心の対象外だ。」のだ。

それにしては機中のこの静けさはどうしたのだらう。相づく強化合宿で気心は充分知りあっているはずなのに。アムステルダムまで



世界選手権大会の開会式風景

四階級優勝、十二選手、十一選手が入賞したことになる。しかし、問題なく優勝したのは軽量級と中量級だけであらう。重量級の決勝は遠藤対ノビコフ(ソ連)は遠藤がノビコフに大外刈りで「効果」を二本取られたあとノビコフが消極的になり攻めず「注意」を取られたので遠藤自身の攻めによる勝利ではなかつた。無差別級優勝の上

背負い、日本を制す

試合を技の面から見ていくと、背負いをできないものは勝ち残れないことを痛感した。軽量の者が背負いをするのはもちろんであるが、重量級でも背負いのできるものではない。背負いのできる選手は、遠藤選手が優勝したのも背負いがあったからこそである。準決勝で北朝鮮の巨漢バク(二メートル一五、一五〇キロ)を二階級のうちに背負いで倒した。バクにこれだけの勝ち方ができるのは世界でも遠藤だけであらう。決勝でノビコフに判定勝ちしたのも遠藤の背負いを警戒して彼が消極的になったためである。遠藤選手は遠藤選手に言われたとおりである。六階級、十階級の決勝で北朝鮮のバクを背負いで倒したから救われたんですよ。もしあがなければ、軽量級で南が二階級、中量級で藤が三階級したのも強力な背負いを持っていたからである。南は決勝の対戦相手バクより、藤は原よりも低い姿勢からの背負いを制した。

ポイント柔道を要す

審判規定も回から大きく変わった。技の効き目が「効果」、「有効」、「技あり」、「一本」と四段階の判定になった。しかし判定基準が細分化されたためにこれを使いこなせず当然「技あり」にしてよい場面なのに「効果」と判定したケースもいくつあった。どうしても辛い判定になりがちだ。「反則」、「注意」、「警告」、「反則負け」に分れ、一五秒も攻めずにいるとたちまち反則をとられてしまう。この方法だと、じっくり構えてチャンスをつか

村を「回戦」でソ連の強豪チヨロシビリに後帯を取られて投げられ「技あり」を取られた。国内の審判では「一本」と言われても仕方なかつた。しかしその直後に四方で取り返したのにはさすがである。二宮の準決勝、対ロレンツ(東独)戦も判定の旗は紅白に分れるくらい互角の戦いだった



遠藤選手とバク選手の試合

なければいけぬ。日本もこれから国際大会で勝つたためには好むと好まざるにかかわらずこのポイント柔道を取り入れなければならぬ。この審判規定はヨーロッパ諸国を中心としたヨーロッパ諸国の多数意見により決定したとい

うことだが、この案に実力をもて抗議するには、もはや日本と西欧の柔道の実力の差は接近している。日本が第12回中量級、軽量級は今までは、日本にとっでは自身の階級だった。世界選手権でタイトルを失ったのは、もう一回が初めてだ。

十月二十八日に、ハンガリーのブダペストにあるクルチヤノク競技場で行われた親善試合は、この国で行なわれた初めての日本代表選手との試合で、前入賞も上々であった。二人取の円形競技場には、はいりきれない人がさらに二千八百人いたという。入場料は約三百円。全試合をテレビで収録し、あとで、時間ものにして放映する。日本選手のうちが二人を除き、十八人で延べ十八試合を行った。結果、一勝一引分け。しかし内容を詳細に見ていくと、けっこう数に表れたような大勝ではない。前回の世界選手権の重量級のチャンピオンで、今回は三位の高木選手はバルガとの試合で判定を失った。バルガに低い一本背負いで攻め続けられ、反撃のチャンスをつかめないでいるうちに、「指導」の反則を犯され、時間が終わってしまった。世界選手権中量級三連覇という前人未踏の快挙をなした遠藤の試合も、六分の試合で五分四分秒までは「効果」を取られて負けていたが、最後にようやく背負いで「有効」を取り

ハンガリーの柔道と群馬の柔道。今回の全ハンガリーの選手、サポー・フェレンツ、コラル・フェレンツ、サポー・ミハイ、バルガ・イムレの四人がスパルタクス柔道クラブに属し、一昨年夏群馬県柔道連盟の招待で来日し、講道館、習志野で練習したあと、群馬の各地でも試合をしていった。その時の全群馬との試合は五人で三勝一引分けで群馬が勝った。スパルタクスチームは今夏も来日し、一昨年同様じゅう分に練習を積んで帰った。いうなればハンガリーの強化には群馬も一役買っているといえる。

ハンガリーのレベルはヨーロッパではやっとならぬに仲間入りし、総体の個人優勝者で群馬でもその名をなじみである。ハンガリーのレベルはヨーロッパではやっとならぬに仲間入りし、総体の個人優勝者で群馬でもその名をなじみである。ハンガリーのレベルはヨーロッパではやっとならぬに仲間入りし、総体の個人優勝者で群馬でもその名をなじみである。



スパルタクスの面々と

製造 各種 配合飼料 各種 化成分肥料

印の優秀品で郷土に奉仕する

関東化成工業株式会社

群馬県大間々町東武線赤城駅前 TEL.(02777)(3)2311(代)

技術と品質を誇る

- 星野の小麦粉
- マルポシ印乾麺
- 即席麺類

星野物産株式会社

本社・工場 群馬県山田郡大間々町2458-2 <東武線赤城駅前> TEL.(02777)3-3333(代表)

三重国体

一般は三回戦に進出 少年、教員の部は一回で敗退

第二十回国民体育大会は十月二十六日、七、八日に三重県名張高校体育館において開催された。本県勢は健闘したが少年、教員とも一回戦で敗退、一般は周東が昨年同様三回戦まで勝ち進んだがエイトの壁は厚く、今年も打ち破れなかった。

少年の部 一回戦 群馬 0-12 大分 初今成克之 引分け 2 奈須博幸 2 高橋利明 上四方 園 ② 兼利幸則 2 神尾雅敏 内股 ② 黒石剛士 教員の部 一回戦 不戦勝 群馬 0-13 大分 4 藤井良一 合せ技 ④ 山田次光 4 藤田正明 払い腰 ⑤ 妻島憲一 5 佐藤勇夫 ⑤ 山中一 一般の部 一回戦 不戦勝 群馬 1-0 若手

群馬県立盲学校が優勝 関東盲学校柔道大会 多山して。 (高山明) 群馬県立盲学校は十一月十六日に関東地区の盲学校五校が参加して県武道において開催された。 午前の団体リーグ戦では、地元群馬県立盲学校が四戦全勝して優勝した。午後は個人戦で二十八選手によるトーナメント戦で神奈川県立平塚盲学校の宮城一郎が僚友の長山選手を破って優勝した。 団体戦の群馬の優勝は、黒帯四名をそろえた自信とチームワークのたまものと思われる。個人戦のエイトに進出した選手はさすがに試合運びもよく、技の内容も多彩で、視力障害をほとんど感じさせなかった。しいて不自然さを見出すとすれば、試合の始まり、あるいは途中で相手と組む際に腕を伸ばして相手を手探りで求めるような仕草で、見る人の目頭を熱くさせるものがあった。

群馬大学が全勝優勝 北関東五大学対抗

第二十三回北関東五大学対抗柔道大会は十一月二十四日、午前七時から、県武道館において開催された。参加は北関東の五国公立大学で、各大学十三人選手制でリーグ戦を行った結果、群馬大学が四戦全勝して優勝した。 群馬大学の選手構成は工学部一名、教育学部四名残りが教育学部である。従来の選手は教育学部が主流を占めていたが、この年は医学部が選手の大半を占めている。 同大学は年に数回合宿練習を積み重ね、確実な力をつけてきている。来年前橋で行われる関東甲信越地区大学大会でも三回の優勝の可能性が濃厚になってきた。

群馬県警察大会 関東警察大会

昭和五十年度の関東警察大会は九月十一日、東京の日本武道館において開催された。本県警察は団体リーグに進出し、予選リーグに善戦したが決勝戦においては皇宮警察に敗れた。何となくも警察と対戦、団体二位の成績をおさめた。 本県の成績及び出場者は次のとおりであった。(鈴木元一)

- 1 重五段 岩本昭太郎 31歳 10 軽四段 周東 正夫 26歳
2 重四段 町田 保則 28 11 軽三段 糸井 義一 23
3 重三段 田代 忠男 25 12 軽二段 山菅 達夫 22
4 重二段 小島 一夫 21 13 重二段 山梨 新樹
5 中四段 原沢 利直 27 14 中四段 原沢 武 26
6 中三段 藤崎 晴郎 22 15 中三段 桑原 文男 23
7 中二段 藤崎 晴郎 22 16 中二段 桑原 文男 23
8 中二段 藤崎 晴郎 22 17 中二段 桑原 文男 23
9 中二段 藤崎 晴郎 22 18 中二段 桑原 文男 23

東北柔道に内容負け 対東北柔道専親善試合

本年最後の公式試合、対東北柔道の一戦を戦い、六対六の同点ながら専親善試合は十一月七日、県武道館において行われた。前半高校生勢は、後半糸井、周東らの本年の一般の国体選手活躍により六対五と逆転したが副将の池田が不覚



国体を見て

県柔道連盟強化委員長 柳谷 勝之 強化委員会を代表して井出、池田氏と私の三人が視察に行った。 田代氏と私の三人が視察に行った。 強化委員会は「強さ」と「うまさ」の選手権であり、従来の日本選手はこの両者を持って世界を制覇してきた。しかし、今回の審判規定の改正で「強さ」が「うまさ」を制するようになっていくだろう。

全国警察 柔道大会

昭和五十年全国警察柔道大会は十月十五日、東京の日本武道館において行われ、本県警察は二回戦に山口県と対戦し、同点で代表戦二回の末惜敗した。(鈴木元一)

大國意識だけでは勝てない

国内において、ニュースだけを読んで日本選手が国際大会で負けると憤慨する人は多い。しかし、今や世界柔道の加勢は93カ国に及ぶ現状である。そのほとんどが日本同様強化練習を怠っていない。国によっては柔道をする文化が職業に近い国もある。なるほど

スバルタダの友情に感激

フタバタダの四日間、スバルタダの面々が非常に親切にしてくれた。彼らは今回の日本選手団の中にも知人はいた。しかし、口チムドクター(群馬県柔道連盟)と私が群馬から来たという点で非常な歓迎であった。群馬県とは親戚のつもりでいるらしい。もちろん私も彼の精いっぱいのおもてなしに感激した。

少ない飼料で大きな利益 最良の卵質・粒よりのMサイズ卵を生みつづけるレイヤー H&N ニックチック 群馬県経済連指定孵化場 東毛畜産興業株式会社 代表取締役 星野竹司 群馬県大間々町大字大間々2391 干376-01 TEL (02777)2-2721(代)

まごころこめて作る老舗の味 甘いごあいさつに 三和屋のお菓子を 藤岡市5丁目電話02742(2)0003番

永井三段らが優勝

柔道場連合会大会

群馬県柔道場連合会主催、群馬県柔道連盟、群馬県接骨師会後援の第二十二回柔道大会は九月十四日(日)、正午から群馬県武道館において開催された。

参加者は県下の十七道場代表の小学校二年から青年三段の部までの十一階級、四六二名、例年のことながら、さしもの広い武道館もこの日はかりはチビッコのすさまじいばかりの声と観客席を埋めつくしたババ、ママなどの家族ぐるみの声援でわかえるばかりの大盛況であった。

成績は次のとおり。

◇ 小学一年の部(参加者54名) 優勝 星野 悟(前橋・田島) 二位 阿部 浩(高崎・松井) 三位 田島隆行(前橋・田島) 四位 福田知行(相生・石原)	◇ 小学二年の部(55) 優勝 清水宏明(前橋・田島) 二位 岡田雄英(高崎・湯浅) 三位 松本和弘(高崎・松井) 四位 南雲正樹(前橋・田島) 五位 小学四年の部(71) 優勝 石川雅明(玉村・石川) 二位 星野 隆(前橋・田島) 三位 八邊和義(桐生・草薙) 四位 吉野典明(前橋・田島)	◇ 小学五年の部(73) 優勝 新井隆義(前橋・田島) 二位 佐藤達也(前橋・田島) 三位 金井 浩(前橋・高沢) 四位 村田晶幸(前橋・田島)	◇ 小学六年の部(67) 優勝 坂井 伸(前橋・田島) 二位 角田泰太(玉村・石川) 三位 岡田 茂(高崎・松井) 四位 山田一彦(前橋・田島)	◇ 中学一年の部(34) 優勝 金子高人(前橋・田島) 二位 内山一弘(桐生・道土館) 三位 村田健一(前橋・田島) 四位 松下隆浩(高崎・湯浅)	◇ 中学二年の部(29) 優勝 岸 健治(前橋・田島) 二位 佐藤哲夫() 三位 金谷義保() 四位 木村孝夫(桐生・道土館)	◇ 中学三年の部(14) 優勝 吉田直樹(前橋・田島) 二位 今成信司(前橋・田島) 三位 小安弘行(高崎・新井) 四位 片貝健二(前橋・田島)	◇ 青年初段の部(32) 優勝 堀原正之(前橋・田島) 二位 野野野知夫() 三位 井野正彦(前橋・高沢) 四位 清水一彦(高崎・松井)	◇ 青年二段の部(16) 優勝 大沢 均(前橋・田島) 二位 大沢哲夫(前橋・田島) 三位 田子義信() 四位 高橋 浩()	◇ 青年三段の部(17) 優勝 永井興次(高崎・湯浅) 二位 平井 敦(前橋・田島) 三位 岡 知巳() 四位 新井三三(前橋・田島)
--	---	--	--	---	---	--	---	--	--

沼田中が二連勝

県下中学校新人大会

第二回県中学校新人柔道大会は十一月九日、前橋、県武道館において開催された。各地区予選を勝ち抜いた四十校が駒を競ったが北毛勢が強く上位を占めた。中でも沼田中がまとまりのよきを發揮、危げなく二連勝を飾った。

決勝トーナメント

一回戦
 吉井・多 3-1 昭利東・利
 高山・吾 3-0 下仁田東・甘
 沼田・沼 3-1 二・前
 昭利南・利 2-1 大胡・勢
 子供・北 4-0 一・前
 沼田・沼 3-0 西・藤

二回戦
 高山・吾 3-2 吉井・多
 沼田・沼 4-0 中央・群
 子持・北 2-0 昭利南・利
 箕野・群 2-1 沼田・沼

準決勝
 沼田 3-1 高山
 子持 2-0 箕野
 沼田 3-2 子持

ぐんまはぐんま村道場

スキンシップを大事に

練習計画は自分たちの手で

今回は柔道少年団の活動を中心として、最近著々と実績をあげ、県下でもユニークな存在として知られる群馬県柔道場を訪ねた。

この道場の正式名称は「群馬村道場」であり、明治小学校の前であり、小学校の古い本造校舎の二教室分を使用し、七十畳の畳敷きつめたいかにも青少年の鍛錬の場にふさわしく、落ちついて賢い剛健な気風をたたきだしている。光熱費や維持管理費等はもちろん村当局の負担である。

この道場の生い立ちを古く大正時代までさかのぼり、明治村の青年補習学校の有志が小学校に畳敷き積古をしたことに始まる。

前は特に指導者がいたわけではなくが青年たちが互いに切磋琢磨して技を磨き合った。戦時中、一時中断のやむなきに至るが、昭和二十一年に猪俣高美氏、初代の吉岡村長で今は故人の笹沢竹男氏等を中心として五十嵐三四七、萩原藤太郎、神宮七郎、大森吉五郎等の諸氏がすすんだ世祖を襲い、青少年の



健全育成には柔道を通してというくわを焼失する等幾多の苦勞をきたし、昭和二十年明治村と駒寄村が合併し、両村を流れる吉岡川を村名に北群馬郡吉岡村が誕生した。前記笹沢氏が初代村長に就任し、これを機に旧駒寄村の有志も加えて新たに吉岡柔道会として発足し、会長に五十嵐三四七、福会長に萩原藤太郎、大塚泰一(前村道場)岡氏、その他の役員に栗田義雄(現村道場)、高橋義一、神宮七郎氏等を加えて名実ともに今日の吉岡道場の姿が完成した。

昭和二十九年柔道少年団を設立し、團長に神宮七郎氏が就任、爾來年ごとに隆盛の一途をたどり、この中から有英高校の新井信夫先生をはじめ県高柔道界の第一人者大沢哲夫(前橋)が生まれ、この柔道少年団の選手で固めた吉岡中学校が兄弟団体、個人とも圧倒的な強さを発揮した。この時の選手が現在県内の各高校で中堅選手として活躍している。いわく個人優勝の五十嵐正高(前高)、三位の高橋浩(高々)、田子義信(前高)、大沢光(利根)、哲夫の弟、馬場浩(前高)、中島紀明(前上)、中島次男等である。その他村内在住の有段者は百二十名余にのぼる。

現在の道場の練習は柔道少年団を中心として三十名の小学生が月、金の週三日寒風をもとめせず第二の大沢、五十嵐をめざして頑張っている。この道場の指導方針は危険防止を最重点に、薬しみながら強くなる柔道を心がけている。とは柔道少年団の副團長

◇ 一回戦 沼田 3-1 高山 子持 2-0 箕野 沼田 3-2 子持	飯野和仁、渋谷直人、代田博之、市川社一郎 ◇ 小学校一年の部 阿部浩、石原康一、茂原大助、芝原忍 ◇ 小学校三年の部 小宮三三郎	高崎市民体育大会 本年の高崎市市民大会は五十一年十一月十六日、午前八時三十分から高崎市立体育館において開催された。参加者は約三百名、各階級の入賞者は下記の通り。 上から順に、一、二、三位(二名) ◇ 幼年の部(幼稚園、保育園) 山口芳夫、鎌塚正志、細村正勝、大前剛 ◇ 小学校一年の部 飯野和仁、渋谷直人、代田博之、市川社一郎 ◇ 小学校二年の部 阿部浩、石原康一、茂原大助、芝原忍 ◇ 小学校三年の部 小宮三三郎	横本知高、菅原友之、根岸健 ◇ 中学一年の部 中島忠幸、羽島仁、野口善之 ◇ 中学二年の部 明石鉄男、早川正義、小比木盛孝 ◇ 中学三年の部 島田清博、中村功、寺岡啓介 ◇ 高校初段者の部 定形伸博、和田修一 ◇ 高校有段者の部 関川善行、都築信宜、齋藤伸一 北群馬・渋川・勢多 市町村対抗柔道大会 恒例の北群馬・渋川・勢多市町村対抗柔道大会は十一月二十四日、渋川高校体育館において行われた。 優勝 赤城村 二位 古巻 三位 北橋村、吉岡村B 赤城チームは鳴村昭彦監督のもとによくまとまり、木暮治一主将以下全員がばりのある試合を行ない、十年ぶりに優勝した。木暮治一(赤城)、新井三三(古巻)、斎藤正巳(渋川)、大沢哲夫(吉岡)等の選手の活躍がめだつた。 (山本孝夫) 定期開催柔道大会 九月二日 県武道館 一位 沼田高校 二位 前橋商業 三位 太田高校 四位 中之条高 五位 鐘林高校
--	--	---	---

利根郡が優勝

群馬県青年祭大会

群馬県青年祭大会、群馬県教育委員会、前橋市教育委員会共催の群馬県青年祭大会は九月十八日、県武道館において開催された。参加は四郡市でリーグ戦の結果利根郡が優勝した。

この大会で利根の相馬正人選手、前橋の鈴木正明選手の両名は小柄ながらよく健闘し技巧派ぶりを発揮した。

毎年のことながら、この大会は伊勢崎佐波中学校高校大会、伊勢崎市教委、佐波郡教育委員会連絡協議会、伊勢崎市体育協会、群馬県柔道連盟佐波伊勢崎支部共催、毎日新聞社後援の第15回伊勢崎佐波地区中学校柔道大会は十一月十六日(日)正午より市役所内の社会体育館で中学生一〇一、高校生十四名の参加のもとに行われた。各学年の入賞者は次のとおり(上から順に一、二、三位)

◇ 中学校一年の部
 一位 利根郡
 二位 太田市
 三位 前橋市
 四位 群馬郡

◇ 女子が優勝
 境町柔道教室大会
 佐波郡境町では、町教委の指導で柔道教室をたいへん理想的に運営しているが、十一月二十三日柔道教室開始一周年記念柔道大会を境小学校で開いた。参加は小学生61、中学生15名、小学生は男女の体力差がほとんどないところから男女混成で試合したところ女子の参加者が16名もあつた。このうち小学生三、四年の部に出場した使河原代子さん、須田真代さんの二名が男子をなぎ倒して見事一、二位を獲得した。末頼もしい限りと町中のもつぱらの評判。光山インフレと不況で水枯しがこのほか冷たい。しかしいつかまた好機がくるだろう。その日のためにからだを鍛えてごう。牛込

横山接骨院

前橋市勝沢町477の1
電話 0272・31・8789

田島接骨院

前橋市上増田町 566
電話 0272・66・1450